

**柏市子ども・子育て支援事業計画策定
に係るニーズ調査**

報 告 書

平成26年4月

柏 市

目 次

I.	調査概要	1
1.	調査目的	3
2.	調査設計	3
3.	配布・回収結果	4
II.	子ども・子育て支援に関するニーズ調査	5
1.	居住地について	7
2.	子どもと家族の状況について	9
3.	子育てに係る意識や環境などについて	15
4.	保護者の就労状況について	33
5.	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	41
6.	地域の子育て支援事業の利用状況等について	55
7.	休日等の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について	63
8.	病気の際の対応について	66
9.	不定期の教育・保育事業等の利用について	74
10.	放課後の過ごし方について	80
11.	育児休業の取得状況などについて	86
12.	子育てあるいは子育て支援全般について	95
III.	放課後の過ごし方に関する調査	97
IV.	調査票	109

I. 調查概要

I. 調査概要

1. 調査目的

本業務は、子ども・子育て支援法第61条に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画である「(仮称) 柏市子ども・子育て支援事業計画」(以下「事業計画」という。)の策定に向けて、子ども・子育て支援に係る利用希望等を把握するため実施したものの。

2. 調査設計

- (1) 調査地域……柏市全域
- (2) 調査対象

表 I-1 調査対象者

調査票種別	対象者 (回答者はそれぞれの保護者)
子ども・子育て支援に関するニーズ調査	未就学児 (6歳未満) の子ども
放課後の過ごし方に関する調査	現在こどもルームを使用している小学校3年生

- (3) 標本抽出……住民基本台帳からの等間隔無作為抽出
- (4) 調査方法

表 I-2 調査方法

調査票種別	調査方法
子ども・子育て支援に関するニーズ調査	郵送配布・郵送回収
放課後の過ごし方に関する調査	こどもルームにて配布・回収

- (5) 調査期間……平成24年11月中旬～12月2日 (月)
(※調査期間後に郵送回収した調査票については、できるかぎり調査に反映させた)
- (6) 調査機関……株式会社 サンビーム

3. 配布・回収結果

表 I-3 配布・回収結果

調査票種別	配布数 (a)	回収数 (b)	有効票数 (c)	有効回収率 (c/a)
子ども・子育て支援に関するニーズ調査	5,000	2,306	2,297	45.9%
放課後の過ごし方に関する調査	477	336	335	70.2%

注 有効票数 (c)は、回収票のうち、白票を除いた票数

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

1. 居住地域について

問1 お住まいの地域の郵便番号をご記入ください。

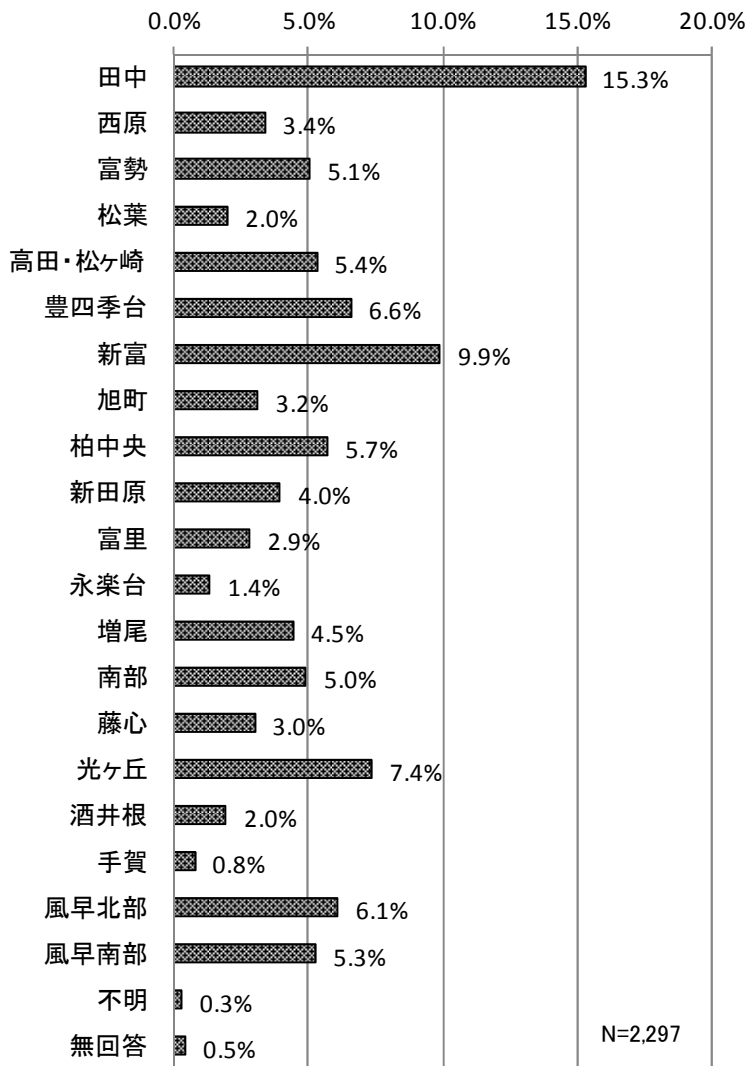
277- □□□□ または

270- □□□□

調査票に記入された居住地の郵便番号より、20地区に分類・整理した。

回答者の割合が最多なのは田中地区で、全体の15.3%を占める。以下、新富（9.9%）、光ヶ丘（7.4%）、豊四季台（6.6%）、風早北部（6.1%）、柏中央（5.7%）、高田・松ヶ崎（5.4%）、風早南部（5.3%）、富勢（5.1%）、南部（5.0%）の各地区が5%以上となっている。

これを、0～5歳児の人口比と比較（図 II-2参照）すると、概ね人口構成を反映した結果となっている。



選択肢	回答数	構成比
田中	352	15.3%
西原	79	3.4%
富勢	117	5.1%
松葉	47	2.0%
高田・松ヶ崎	123	5.4%
豊四季台	152	6.6%
新富	228	9.9%
旭町	73	3.2%
柏中央	132	5.7%
新田原	92	4.0%
富里	66	2.9%
永楽台	32	1.4%
増尾	103	4.5%
南部	114	5.0%
藤心	70	3.0%
光ヶ丘	170	7.4%
酒井根	46	2.0%
手賀	19	0.8%
風早北部	141	6.1%
風早南部	122	5.3%
不明	8	0.3%
無回答	11	0.5%
計	2,297	100.0%

図 II-1 回答者の居住地（20地区分類）

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

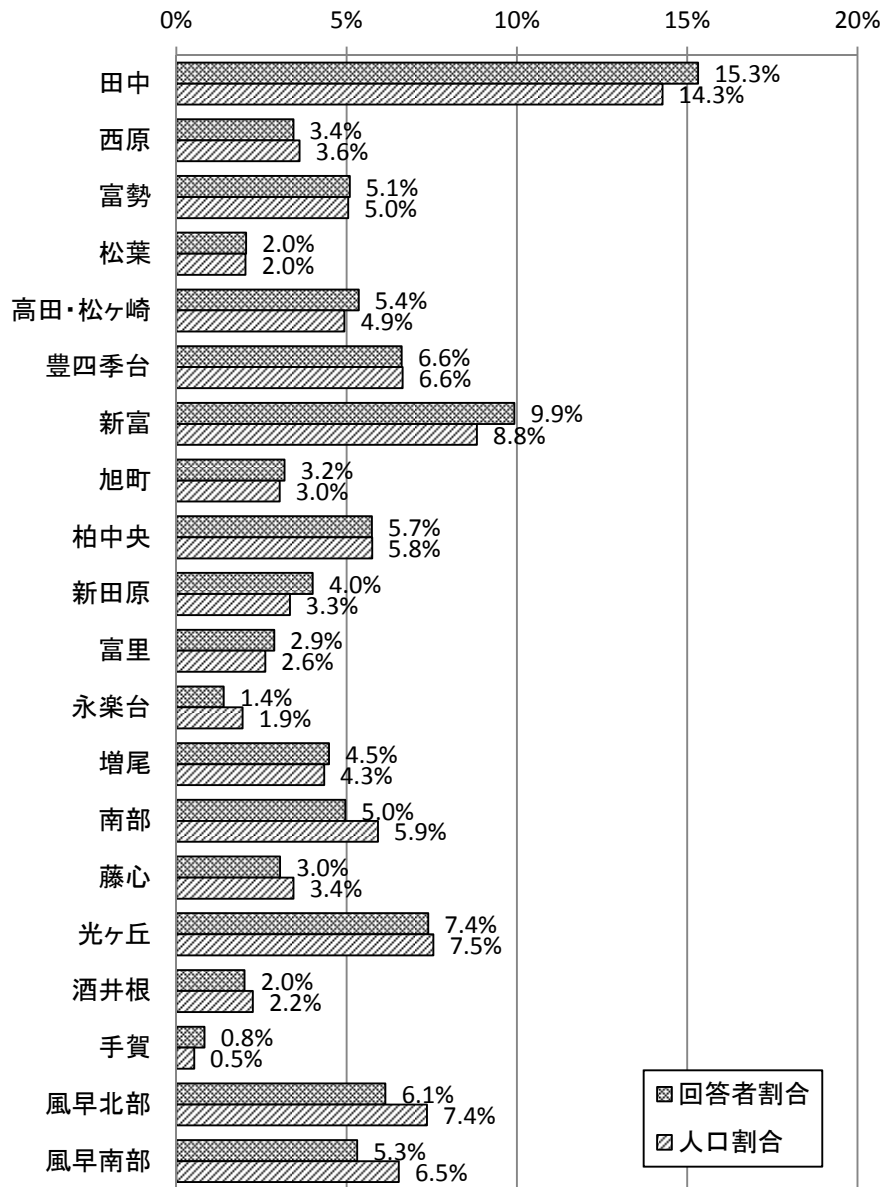


図 Ⅱ-2 回答者の居住地別構成比と未就学児人口構成比の比較

2. 子どもと家族の状況について

問2

宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。

平成 年 月生まれ

0～5歳については概ね均等であるが、0歳と2歳がともに17.4%で最も多い。0～2歳と3～5歳とで分けてみると、0～2歳が51%を、3～5歳が48%を占めている。

地区別にみると、西原、松葉、富里、風早北部などは0～2歳の割合が市全体に比べてやや低いが、大勢において大幅な差異は見られない。

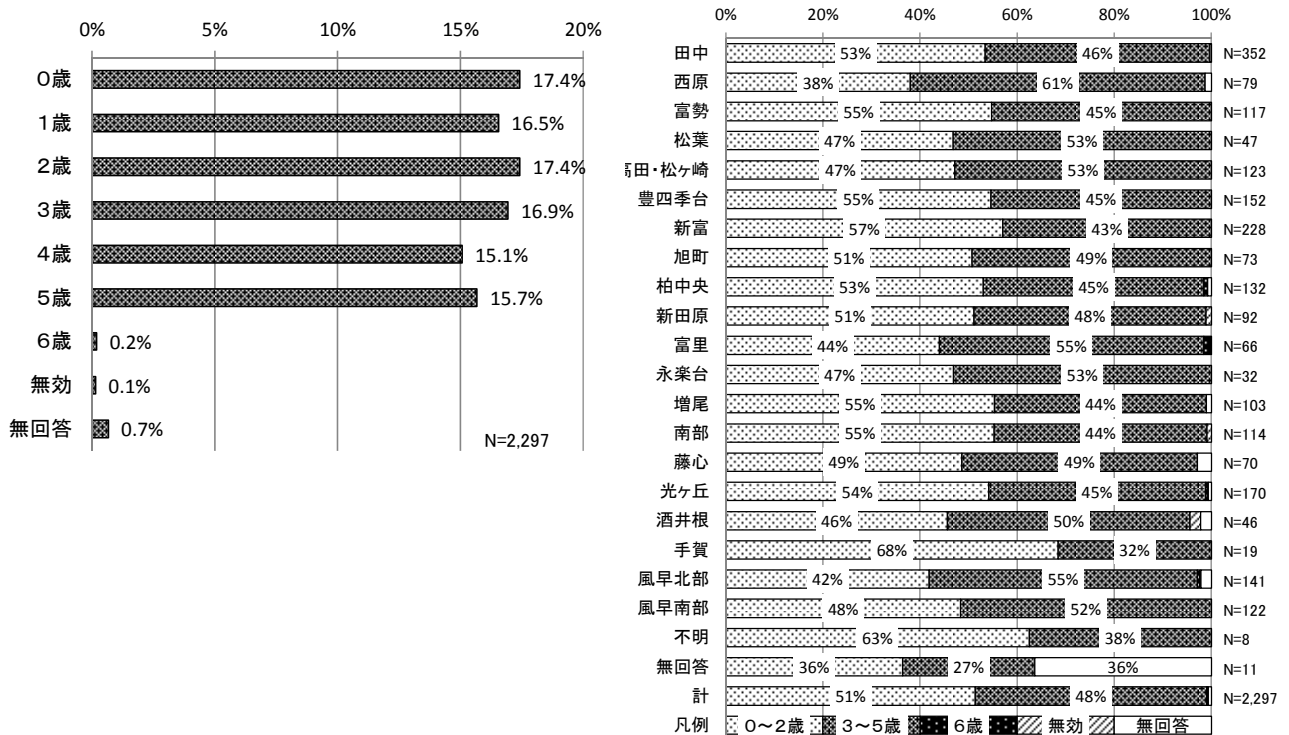


図 II-3 宛名の子どもの年齢

II. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

問3

宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだいの数 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ

きょうだい数は、宛名の子どもを含め2人が45%、1人が39%で、1人または2人で全体の8割以上を占めている。

また、末子年齢については、0～2歳が61.7%を占めている。なお、宛名の子どもの年齢（図II-3）との比較では、0～2歳が増え、3～5歳が減っており、3～5歳の子どもに年少のきょうだいが一定数いることを示している。

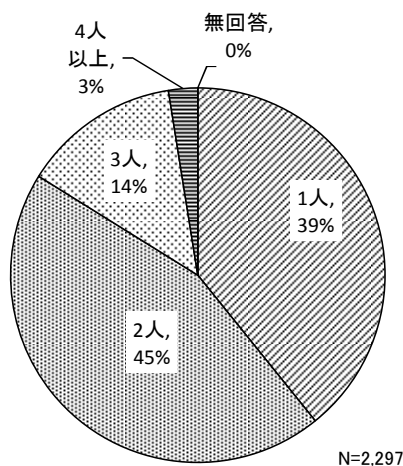


図 II-4 きょうだいの数

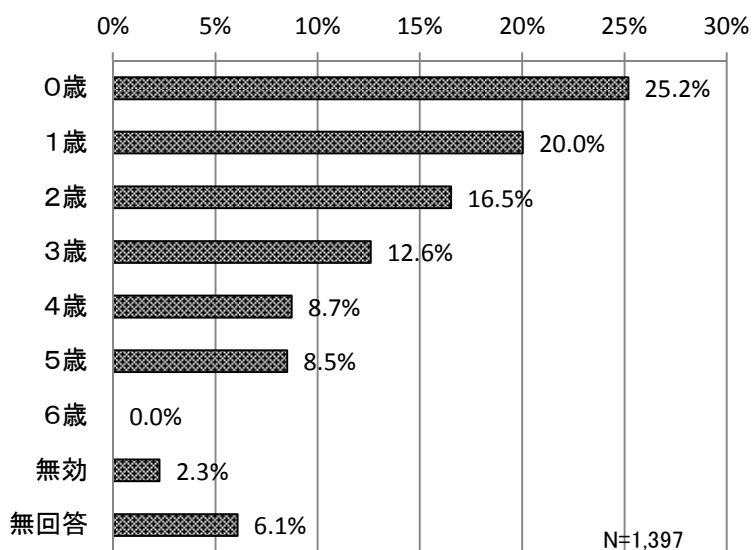


図 II-5 末子の年齢

2. 子どもと家族の状況について

宛名の子どもの年齢別にみると、2歳以上の場合にきょうだい2人以上となる割合が高くなっている。

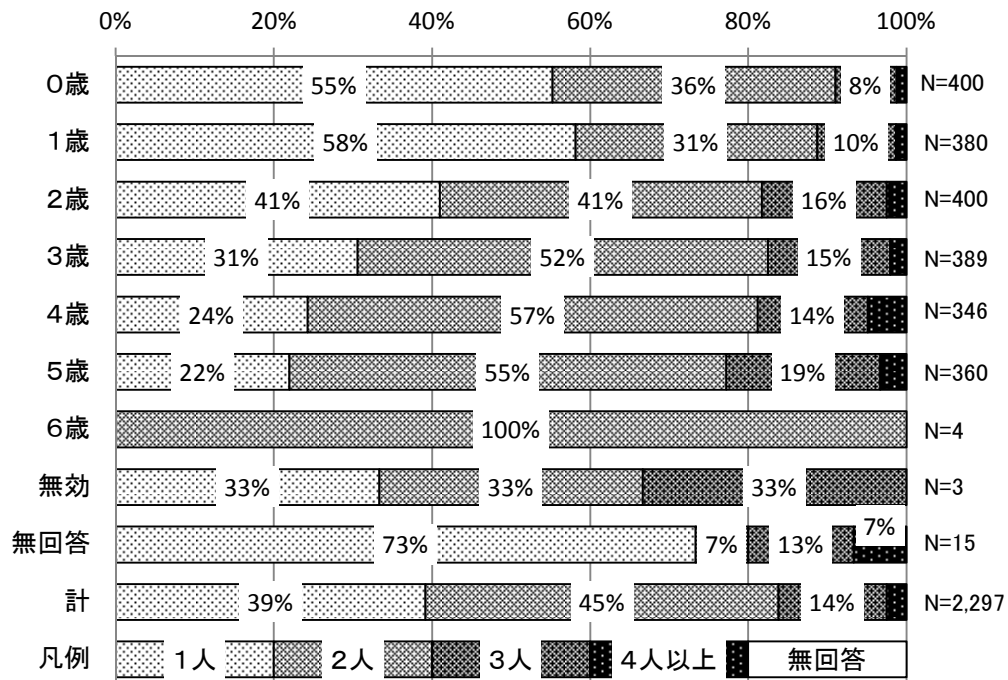


図 II-6 こどもの年齢別（問2）きょうだいの数

問6

宛名のお子さんの祖父母等の親族の居住についてお答えください。
(当てはまる番号1つに○)

1. 祖父母等の親族と同居している(二世帯・同一敷地内住宅の居住を含む)
2. 祖父母等の親族が近く(概ね30分以内程度で行き来できる範囲)に住んでいる
3. その他()

「祖父母等の親族と同居している」は11%であるが、「祖父母等の親族が近くに住んでいる」は50%となっている。

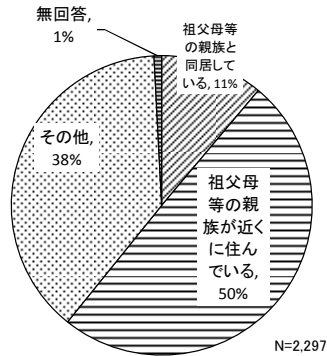


図 II-9 親族等との同居状況

これを配偶者の有無別にみると、配偶者がいない家庭では、配偶者がいる家庭に比べて祖父母等の親族との同居割合が非常に高く、配偶者がいる場合の9.8%に対し44.2%と、34.4ポイントの差がある。

表 II-1 配偶者有無別親族との同居状況

	祖父母等の親族と同居している	祖父母等の親族が近くに住んでいる	その他	無回答
配偶者がいる	9.8%	50.3%	39.2%	0.7%
配偶者がいない	44.2%	34.9%	19.8%	1.2%

問7

宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(当てはまる番号1つに○)

1. 父母ともに
2. 主に母親
3. 主に父親
4. 主に祖父母
5. その他()

「父母ともに」とする回答は46%に対し、「主に母親」が52%となっており、母親主体が父母ともにとする回答を6ポイント上回っている。

「その他」は、父母と祖父母、母と祖母などの意見が見られたが、「幼稚園」、「保育園」という回答も各1件見られた。

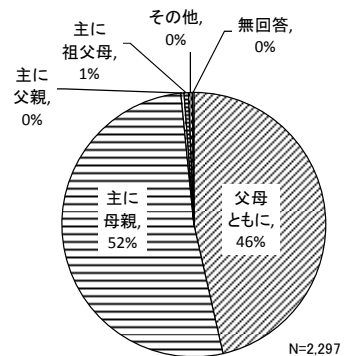


図 II-10 主な子育て担当

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

問8

ご家庭の経済状況についてお答えください。(当てはまる番号1つに○)

- | | | |
|--------------|-----------|-------------|
| 1. とても安定している | 2. 安定している | 3. まあまあ暮らせる |
| 4. 苦しい | 5. とても苦しい | |

「安定している」が41%で、「とても安定している」の5%と合わせて半数弱が安定していると答えている。

一方、「まあまあ暮らせる」という回答も39%あるほか、「苦しい」、「とても苦しい」を合わせて14%の人が苦しいとしている。

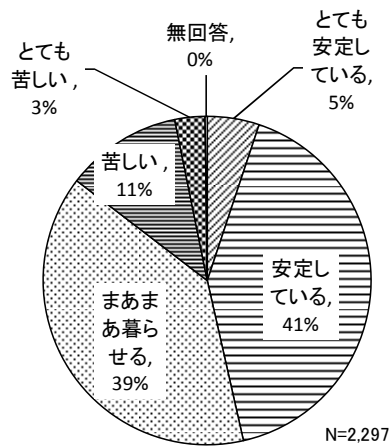


図 Ⅱ- 11 家庭の経済状況

3. 子育てに係る意識や環境などについて

問9

子育て(教育を含む)に係る意識等についてお答えください。(当てはまる番号1つに○)

(1) 子育てでいらいらすることはありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. どちらともいえない 4. あまりない 5. 全くない

「よくある」の26%と「ときどきある」の56%をあわせて、82%の人が子育てにおいて何らかの苛立ちをおぼえている。

一方、苛立ちがないとする人は、「あまりない」の10%と「全くない」の1%をあわせて11%である。

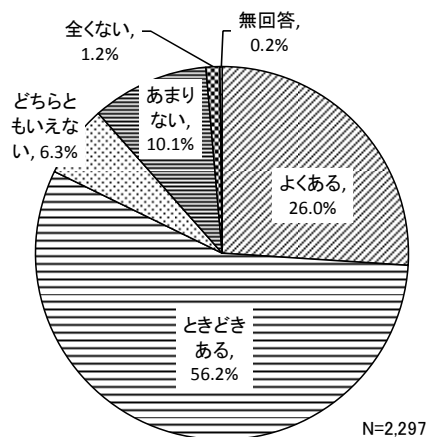


図 II-12 子育てでいらいらすること

宛名の子どもの年齢別にみると、0歳から3歳にかけては子どもの年齢が大きくなるにつれて「よくある」とする回答が増え、3歳が34%で最も高くなる。また、1歳と2歳の間で増加幅が大きい。

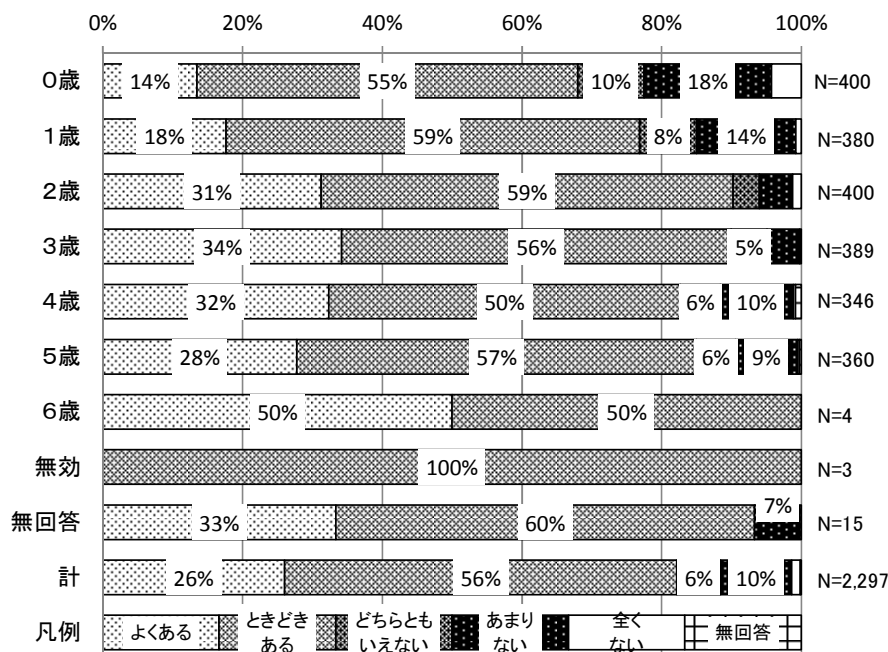
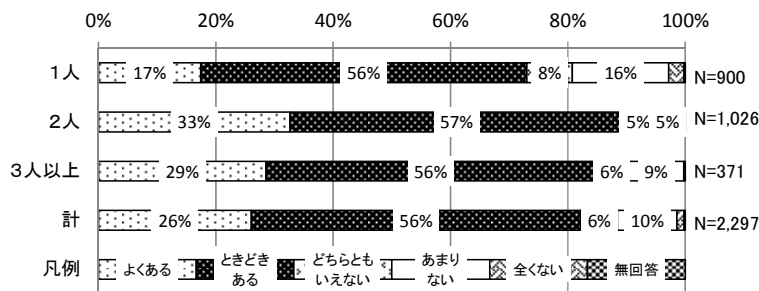


図 II-13 子どもの年齢別子育てでいらいらすること

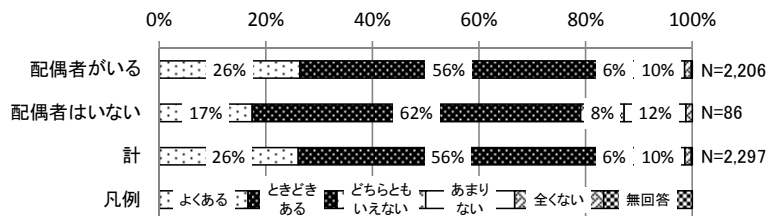
Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

きょうだいの数別にみると、1人の場合と2人以上の場合とで差があり、2人以上の方がいらいらすることが「よくある」とする回答が多くなっている。



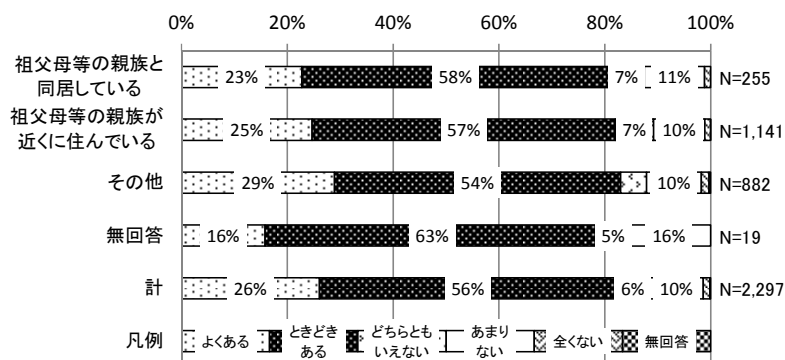
図Ⅱ-14 きょうだいの数別子育てでいらいらすること

配偶者の有無別にみると、配偶者は「いない」とする人の方がいらいらすることが「よくある」とする回答の割合が低くなっている。



図Ⅱ-15 配偶者の有無別子育てでいらいらすること

親族との同居状況別にみると、大きな差は見られない。



図Ⅱ-16 親族との同居状況別子育てでいらいらすること

3. 子育てに係る意識や環境などについて

主な子育て担当の別にみても、大きな差は見られないが、「主に祖父母」と答えた人の場合は、いらいらすることが「よくある」、「ときどきある」の割合が低くなっている。

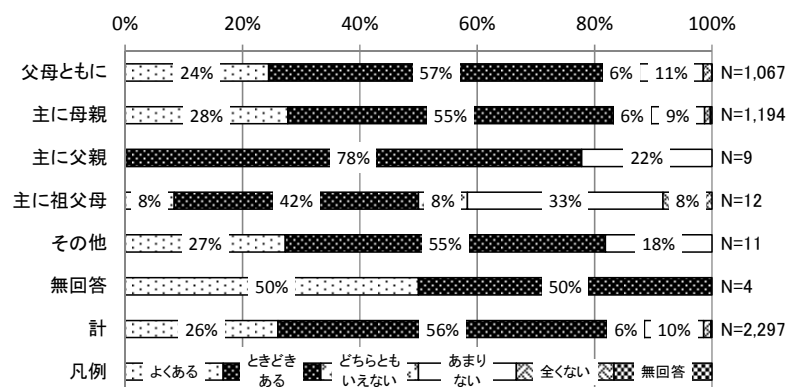


図 II-17 主な教育担当別子育てでいらいらすること

家計状況の別にみると、いらいらすることが「よくある」、「ときどきある」の割合は、「とても安定している」が最も低く、以降、「安定している」、「まあまあ暮らせる」、「苦しい」、「とても苦しい」と状況が悪くなるにしたがって高くなっている。

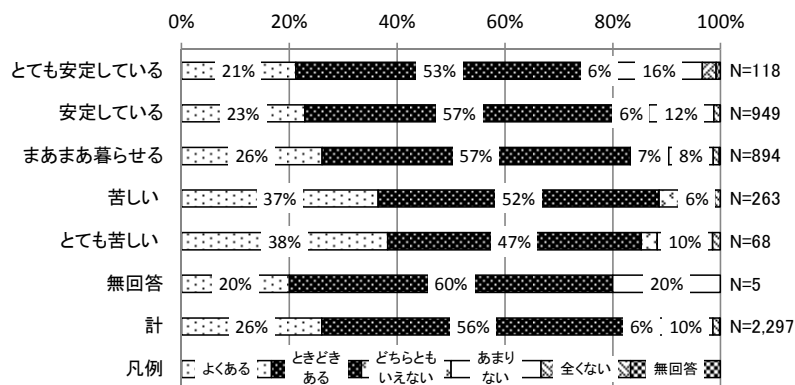


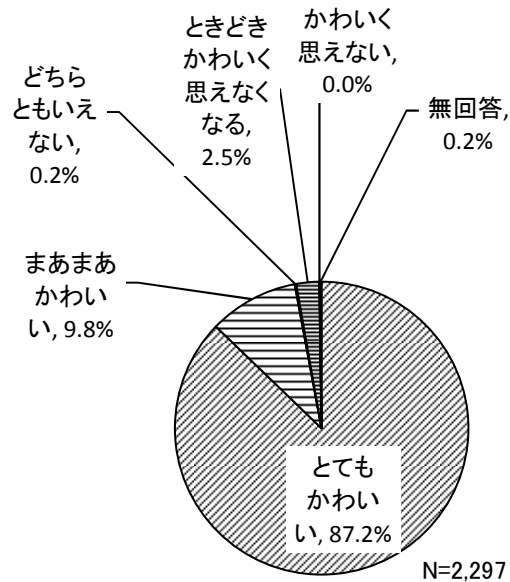
図 II-18 家計状況別別子育てでいらいらすること

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

(2) お子さんをかわいいと思いますか。

- | | | |
|-------------------|-------------|--------------|
| 1. とてもかわいい | 2. まあまあかわいい | 3. どちらともいえない |
| 4. ときどきかわいく思えなくなる | 5. かわいく思えない | |

「とてもかわいい」という回答が87%を占め、「まあまあかわいい」の10%を合わせると、97%の人がかわいいと感じているが、「ときどきかわいく思えなくなる」という回答も3%ある。



図Ⅱ-19 子どもはかわいいか

(3) 子育ては楽しいですか。

1. 楽しい 2. 楽しいと感じることのほうが多い
 3. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい
 4. 辛いと感じることのほうが多い 5. 辛い

「楽しい」が28%、「楽しいと感じることのほうが多い」が52%で、あわせて80%の人が概して子育てを楽しんでいる。「辛いと感じることのほうが多い」は2%である。

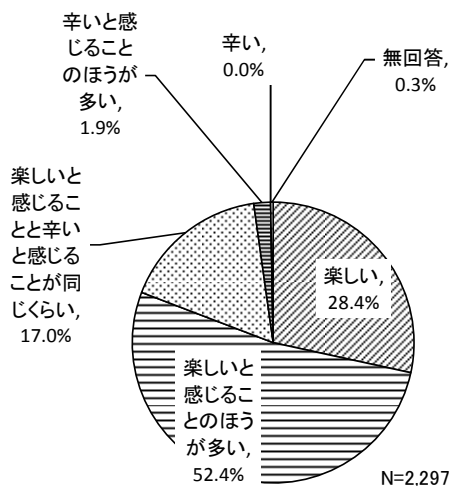


図 II-20 子育ては楽しいか

宛名の子どもの年齢別にみると、0歳から3歳にかけて、「楽しい」とする人の割合が下がる傾向が見られ、子育てでいろいろすること（問9(1)）が「よくある」という答えが最も多かった3歳で最も低くなっている。

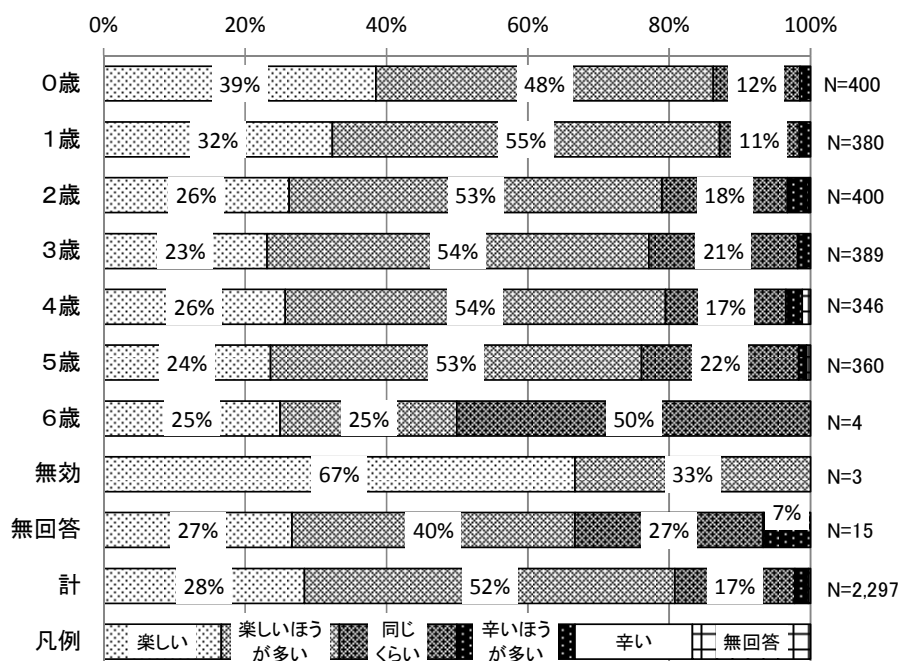


図 II-21 子どもの年齢別子育ての楽しさ

II. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

きょうだいの数別にみると、1人の場合に子育ては「楽しい」とする人の割合がやや高く、2人ではこの割合が最も低く、「辛いことの方が多い」の割合が最も高くなっている。

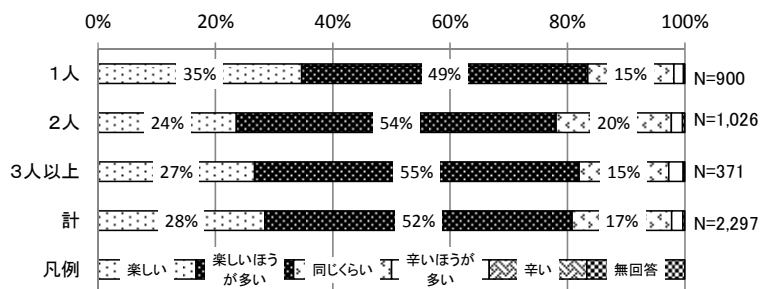


図 II-22 きょうだいの数別子育ての楽しさ

配偶者の有無別でみた場合には、差はほとんど見られない。

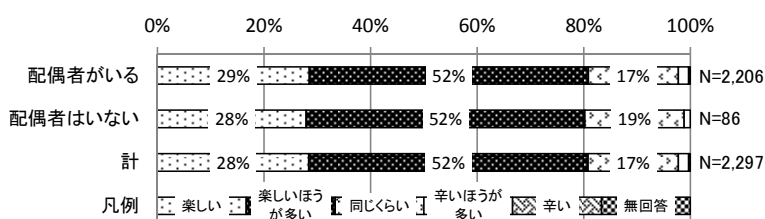


図 II-23 配偶者有無別子育ての楽しさ

親族との同居状況別でみた場合にも、差はほとんど見られない。

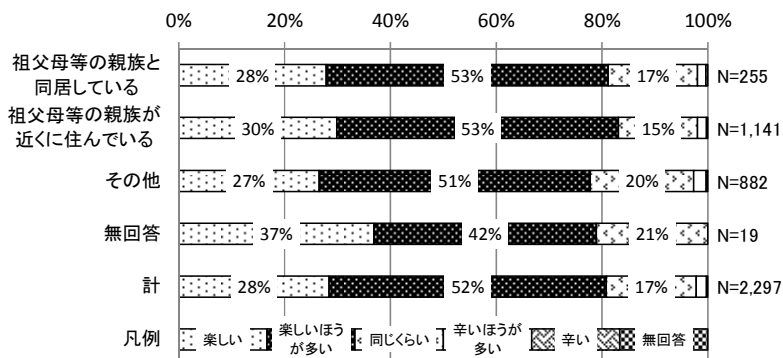


図 II-24 親族との同居状況別子育ての楽しさ

主な子育ての分担をみると、「主に父親」と答えた人が子育ては「楽しい」、「楽しい方が多い」とする割合が高く、「父母ともに」の場合を上回っている。「主に母親」と答えた人の場合は子育ては「楽しい」、「楽しい方が多い」の割合がやや下がり、「同じくらい」の割合が高くなっている。

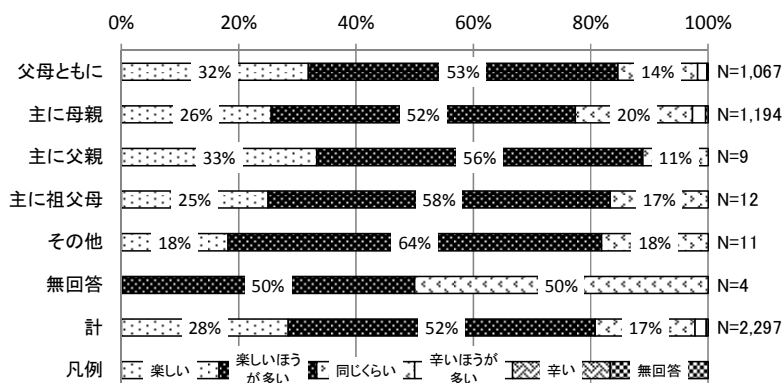


図 II-25 主な教育担当別子育ての楽しさ

3. 子育てに係る意識や環境などについて

(4) 子育てについて努力していることを誰かから認められたいと思うことがありますか。

1. はい 2. どちらともいえぬ 3. いいえ

「はい」の50%に対して「いいえ」は17%であり、認められたいと思う人が半数を占める。

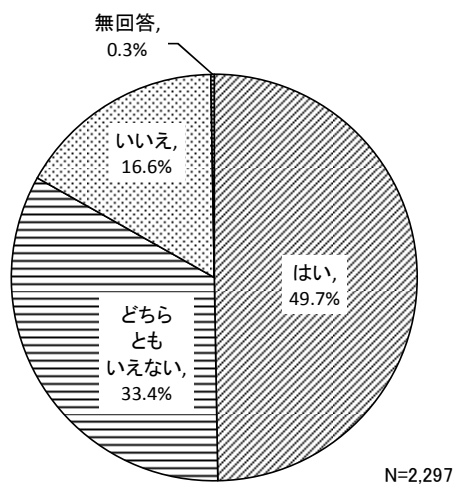


図 II-26 子育てについての努力を認められたいか

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

(5) お子さんを叱るとき、たたくなどしますか。

1. ない 2. ときどきある 3. よくある

「ときどきある」とする人が56%で最も多く、ついで「ない」の39%である。「よくある」とする人は4%である。

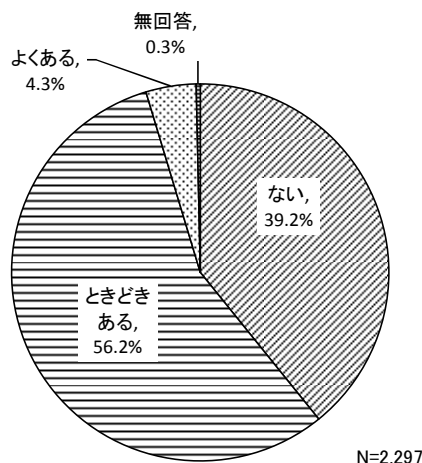


図 II-27 体罰の有無

これを、子育てでいらいらすることがあるか（問9(1)）の別にみると、いらいらすることが「よくある」「ときどきある」とする人は、たたくなどすることが「ときどきある」と答える傾向が強い。

また、子育ては楽しいか（問9(3)）の別にみると、子育てが「楽しい」「楽しいと感じることの方が多い」人はたたくなどすることが「ない」と答える傾向が強い。

表 II-2 子育てでいらいらすること別、子育ての楽しさ別体罰の有無

		(上段：人 下段：%)					(上段：人 下段：%)					
問9(1)	問9(5)	ない	ときどきある	よくある	無回答	計	問9(3)	ない	ときどきある	よくある	無回答	計
よくある		107	416	74	1	598	楽しい	370	269	12	2	653
		17.9	69.6	12.4	0.2	26.0			56.7	41.2	1.8	0.3
ときどきある		495	772	21	2	1,290	楽しいと感じることのほうが多い	430	736	35	2	1,203
		38.4	59.8	1.6	0.2	56.2			35.7	61.2	2.9	0.2
どちらともいえない		87	55	2	0	144	楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい	93	256	41	0	390
		60.4	38.2	1.4	0.0	6.3			23.8	65.6	10.5	0.0
あまりない		185	45	2	1	233	辛いと感じることのほうが多い	6	28	10	0	44
		79.4	19.3	0.9	0.4	10.1			13.6	63.6	22.7	0.0
全くない		26	2	0	0	28	辛い	0	0	0	0	0
		92.9	7.1	0.0	0.0	1.2			0.0	0.0	0.0	0.0
無回答		0	0	0	4	4	無回答	1	1	1	4	7
		0.0	0.0	0.0	100.0	0.2			14.3	14.3	14.3	57.1
計		900	1,290	99	8	2,297	計	900	1,290	99	8	2,297
		39.2	56.2	4.3	0.3	100.0			39.2	56.2	4.3	0.3

3. 子育てに係る意識や環境などについて

(6) 自分のお子さんが生まれる以前に、他の小さい子どもに日常的に触れ合ったり、おむつを替えたりした経験はありましたか。

1. よくあった 2. ときどきあった 3. なかった

「なかった」が61%で過半数を占めている。一方、「よくあった」(14%)と「ときどきあった」の26%をあわせて何らかの経験を有する人は40%である。

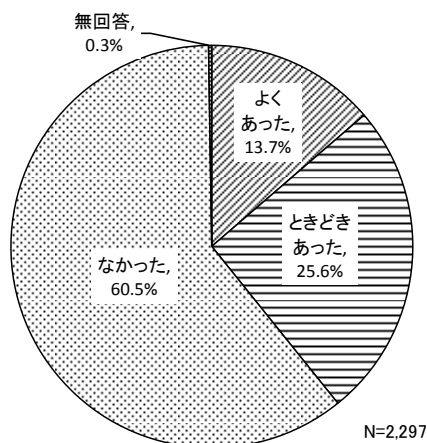


図 II-28 子どもとのふれあい体験有無

これを、子育てでいらいらすることがあるか(問9(1))の別にみると、大きな差は見られない。また、子育ては楽しいか(問9(3))の別にみると、子育てが「辛いと感じることの方が多い」人は、他のこどもに触れる経験が「なかった」と答える傾向が強い。

表 II-3 子育てでいらいらすること別、子育ての楽しさ別他の子どもとのふれあい体験有無

		(上段：人 下段：%)						(上段：人 下段：%)				
問9(1)	問9(6)	よくあった	ときどきあった	なかった	無回答	計	問9(3)	よくあった	ときどきあった	なかった	無回答	計
よくある		76	152	370	0	598	楽しい	132	154	367	0	653
		12.7	25.4	61.9	0.0	26.0		20.2	23.6	56.2	0.0	28.4
ときどきある		169	338	781	2	1,290	楽しいと感じることのほうが多い	136	308	757	2	1,203
		13.1	26.2	60.5	0.2	56.2		11.3	25.6	62.9	0.2	52.4
どちらともいえない		26	35	83	0	144	楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい	45	115	230	0	390
		18.1	24.3	57.6	0.0	6.3		11.5	29.5	59.0	0.0	17.0
あまりない		38	54	141	0	233	辛いと感じることのほうが多い	1	9	34	0	44
		16.3	23.2	60.5	0.0	10.1		2.3	20.5	77.3	0.0	1.9
全くない		5	8	15	0	28	辛い	0	0	0	0	0
		17.9	28.6	53.6	0.0	1.2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答		0	0	0	4	4	無回答	0	1	2	4	7
		0.0	0.0	0.0	100.0	0.2		0.0	14.3	28.6	57.1	0.3
計		314	587	1,390	6	2,297	計	314	587	1,390	6	2,297
		13.7	25.6	60.5	0.3	100.0		13.7	25.6	60.5	0.3	100.0

II. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

(7) 自分のお子さんが生まれる前にイメージしていた子育てと比べ、実際の子育てはhowですか。

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1. イメージどおり | 2. ほぼイメージどおり | 3. どちらともいえない |
| 4. 少し違う | 5. 全然違う | |

「イメージどおり」が3%、「ほぼイメージどおり」が22%で、概ねイメージどおりとする人は全体の25%である。

一方、「少し違う」は19%、「全然違う」は23%あり、差異を感じている人は42%と、イメージどおりの人よりも17ポイント高い。

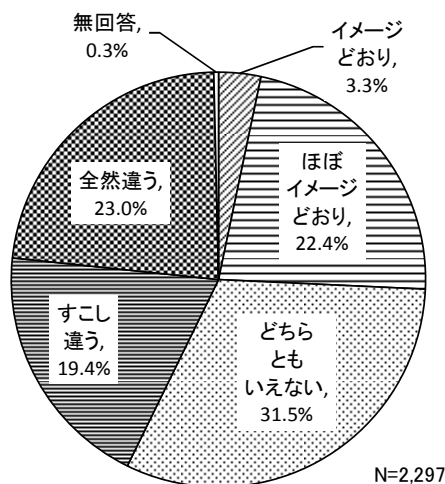


図 II-29 子育てのイメージ

これを、子育てでいらいらすることがあるか(問9(1))の別にみると、いらいらすることが「よくある」とする人は、イメージと「全然違う」と答える傾向が強い。

また、子育ては楽しいか(問9(3))の別にみると、子育てが「辛いと感じることの方が多い」人で、イメージと「全然違う」と答える傾向が強い。

表 II-4 子育てでいらいらすること別、子育ての楽しさ別子育てのイメージ

		(上段：人 下段：%)						
問9(7)	問9(1)	イメージどおり	ほぼイメージどおり	えんちらともい	すこし違う	全然違う	無回答	計
よくある	よくある	10	92	189	111	194	2	598
		1.7	15.4	31.6	18.6	32.4	0.3	26.0
	ときどきある	40	309	420	253	267	1	1,290
		3.1	24.0	32.6	19.6	20.7	0.1	56.2
	どちらともいえない	3	37	52	31	21	0	144
		2.1	25.7	36.1	21.5	14.6	0.0	6.3
あまりない	あまりない	20	68	59	46	39	1	233
		8.6	29.2	25.3	19.7	16.7	0.4	10.1
全くない	全くない	3	9	4	5	7	0	28
		10.7	32.1	14.3	17.9	25.0	0.0	1.2
無回答	無回答	0	0	0	0	0	4	4
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.2
計		76	515	724	446	528	8	2,297
		3.3	22.4	31.5	19.4	23.0	0.3	100.0

		(上段：人 下段：%)						
問9(7)	問9(3)	イメージどおり	ほぼイメージどおり	えんちらともい	すこし違う	全然違う	無回答	計
楽しい	楽しい	51	194	182	107	117	2	653
		7.8	29.7	27.9	16.4	17.9	0.3	28.4
楽しいと感じることのほうが多い	楽しいと感じることのほうが多い	20	277	409	253	244	0	1,203
		1.7	23.0	34.0	21.0	20.3	0.0	52.4
楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい	楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい	4	40	121	80	144	1	390
		1.0	10.3	31.0	20.5	36.9	0.3	17.0
辛いと感じることのほうが多い	辛いと感じることのほうが多い	1	3	11	6	22	1	44
		2.3	6.8	25.0	13.6	50.0	2.3	1.9
辛い	辛い	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	無回答	0	1	1	0	1	4	7
		0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	57.1	0.3
計		76	515	724	446	528	8	2,297
		10.5	22.4	31.5	19.4	23.0	0.3	100.0

問10

子育て(教育を含む)に関する親族や知人等との関係についてお答えください。

(1) 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(当てはまる番号すべてに○)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
 } ↓
子どもをみてくれる親族(当てはまる番号すべてに○)
 1. 配偶者 2. 母方祖父母 3. 父方祖父母 4. その他親族
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる
 5. いずれもない

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が56%で最も多く、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の20%とあわせて、半数以上の人少なくとも緊急時には親族に見てもらえる状況にある。

また、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が4%、「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」が19%で、少なくとも緊急時に友人・知人に見てもらえるとする人は19%である。

一方、「いずれもない」とする人は11%ある。

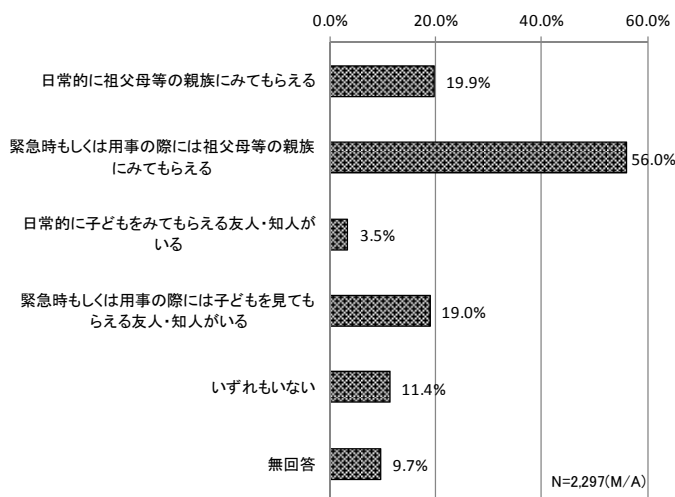


図 II-30 日頃子どもを見てもらえる親族等

面倒を見てもらえる親族は「母方祖父母」が67%で最も多く、「父方祖父母」の37%を30ポイント上回っている。回答者のほとんどが母親であること、普段子どもの面倒を見るのは母親が多いことを鑑みると、血縁関係にある親族の方が頼みやすいであろうことが伺える。

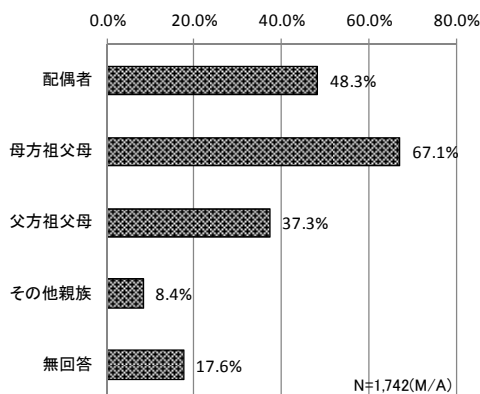


図 II-31 日頃子どもを見てもらえる親族

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

(2) 近所でふだん世間話をしたり、お子さんの話をしたりする人はいますか。
(当てはまる番号1つに○)

1. 数名いる 2. 1～2名いる 3. いない

「数名いる」という人が55%で最も多く、以下、「1～2名いる」27%、「いない」18%の順となっている。

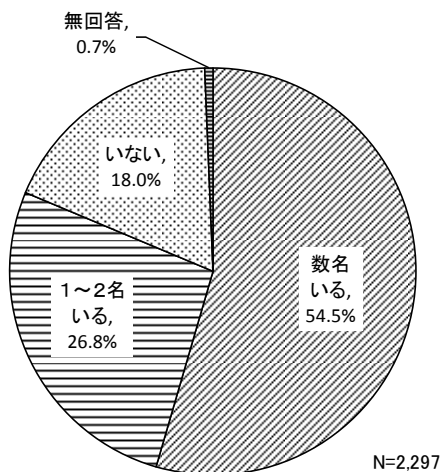


図 II-32 近所の知人等

これをきょうだいの数別にみると、「数名いる」は、きょうだいの数1人（宛名の子どものみ）の場合では42%であるのに対し、2人で62%、3人以上で64%となっており、きょうだいの数が多いほど、世間話等の近所づきあいをする人が多くなる傾向にある。

表 II-5 きょうだいの数別近所の知人等

	数名いる	1～2名いる	いない	無回答
1人	42.2%	30.2%	26.9%	0.7%
2人	61.9%	24.5%	13.0%	0.6%
3人以上	64.1%	25.0%	10.1%	0.8%
計	54.5%	26.8%	18.0%	0.7%

3. 子育てに係る意識や環境などについて

(3) 親子でいっしょに過ごす子育て仲間はいませんか。(当てはまる番号1つに○)

1. 数名いる

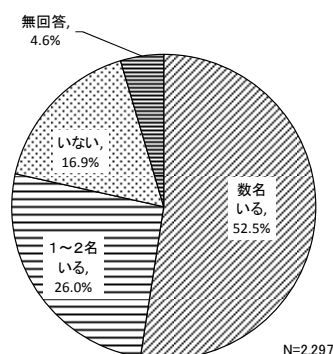
2. 1～2名いる

3. いない

子育て仲間がいて感じるところ(当てはまる番号3つまでに○)

1. 子どもへの関わり方の参考になった
2. 子どものことがわかるようになった
3. 自分の友人ができた
4. 子どもの遊び仲間ができた
5. 人間関係がわずらわしくなった
6. 悩みを共有できて子育てが楽になった
7. 特に自分の子育てには影響しなかった
8. 子育ての情報が得やすくなった
9. その他()

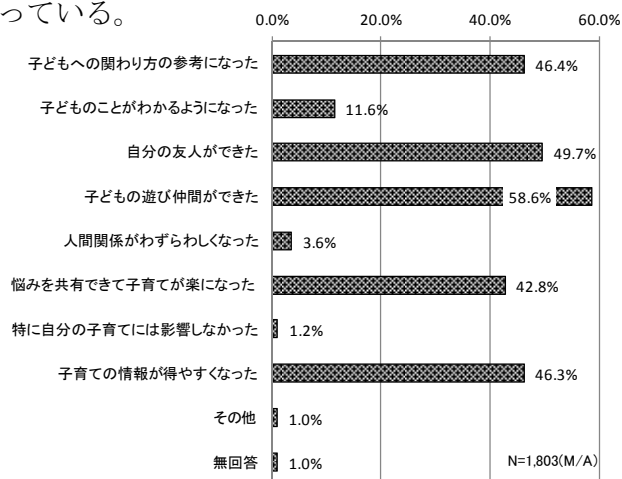
「数名いる」という人が53%で最も多く、以下、「1～2名いる」26%、「いない」17%の順となっている。これをきょうだいの数別にみると、「数名いる」は、きょうだいの数1人(宛名の子どものみ)の場合では46%であるのに対し、2人で57%、3人以上で56%となっており、子ども2人以上だと、子育て仲間も増える傾向にある。



問10(3)	数名いる	1～2名いる	いない	無回答
きょうだい数				
1人	46.3%	29.1%	20.7%	3.9%
2人	56.6%	24.2%	13.9%	5.4%
3人以上	56.3%	23.6%	16.0%	4.1%
計	52.5%	26.0%	16.9%	4.6%

図 II-33 子育て仲間

また、子育て仲間がいて感じる事としては、「子どもの遊び仲間ができた」が59%で最も多く、以下、「自分の友人ができた」50%、「子どもへのかかわり方の参考になった」、「子育ての情報が得やすくなった」ともに46%、「悩みを共有できて子育てが楽になった」43%など肯定的な意見が多くなっている。



その他の内容	回答数	回答割合
ストレスが発散できた	4	0.2%
子供が成長した	3	0.2%
母子ともに友人ができた	2	0.1%
その他	7	0.4%

N=1,803(M/A)

図 II-34 子育て仲間がいて感じる事

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

(4) お子さんといっしょに遊ぶ同年代の子ども(きょうだいを除く。)がいますか。
(当てはまる番号1つに○)

1. 数名いる 2. 1～2名いる 3. いない

「数名いる」が55%で最も多く、以下、「1～2名いる」28%、「いない」16%の順となっている。

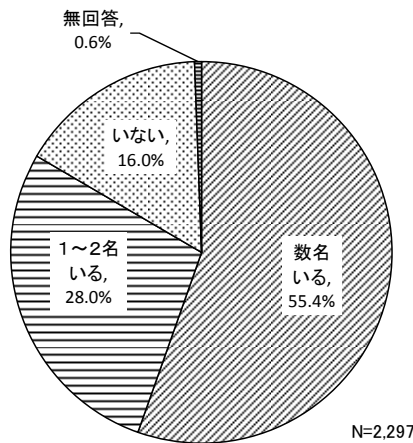


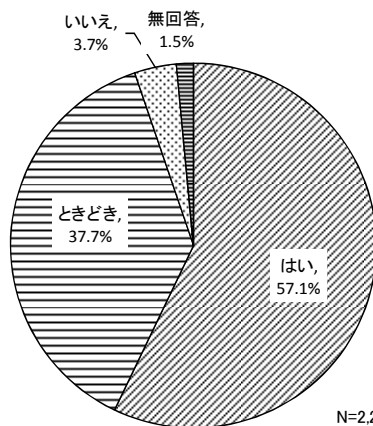
図 Ⅱ- 35 一緒に遊ぶ同世代の子ども

(5) 問5で「1.配偶者がいる」に○をつけた方にうかがいます。子育てのことについて夫婦でよく話合いますか。(当てはまる番号1つに○)

1. はい 2. ときどき 3. いいえ

「はい」が57%、「ときどき」が38%で、9割以上は話し合っている。

これを主な子育て担当別にみると、「父母ともに」の場合には、「はい」が69%、「いいえ」が1%で、「主に母親」の場合よりも話し合いの頻度が高くなっている。また、「主に父親」の場合、「はい」が80%で最も高くなっている。



問10(5)	はい	ときどき	いいえ	無回答
主な教育担当				
父母ともに	68.7%	28.5%	1.4%	1.3%
主に母親	46.3%	46.3%	5.8%	1.7%
主に父親	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
主に祖父母	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
その他	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%
無回答	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
計	57.1%	37.7%	3.7%	1.5%

図 Ⅱ- 36 子育てについての話し合い

3. 子育てに係る意識や環境などについて

問11 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)のことで今まで心配や悩みがありましたか。また、心配や悩みを誰かに相談しましたか。(当てはまる番号1つに○)

1. よくあった

2. ときどきあった

3. あまりなかった

ア. 相談した

イ. 相談しなかった

相談先(当てはまる番号すべてに○)

1. 配偶者 2. 自分の父母 3. 配偶者の父母

4. 自分のきょうだい 5. 配偶者のきょうだい 6. その他親族 7. 友人や知人

8. 近所の人 9. 幼稚園 10. 保育園 11. 保健所

12. こども発達センター 13. 母と子のつどい, 子育てサロン等

14. 子育て支援施設(地域子育て支援センター, 児童センター等)

15. 民生委員・児童委員 16. 柏市民健康づくり推進員

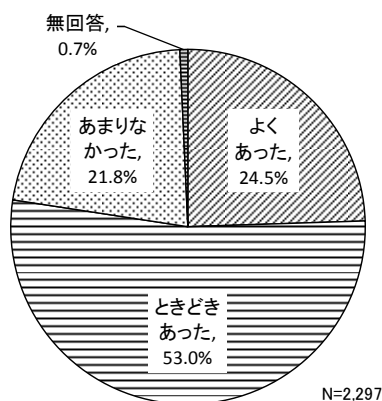
17. かかりつけの医師 18. 市の子育て関連窓口

19. その他()

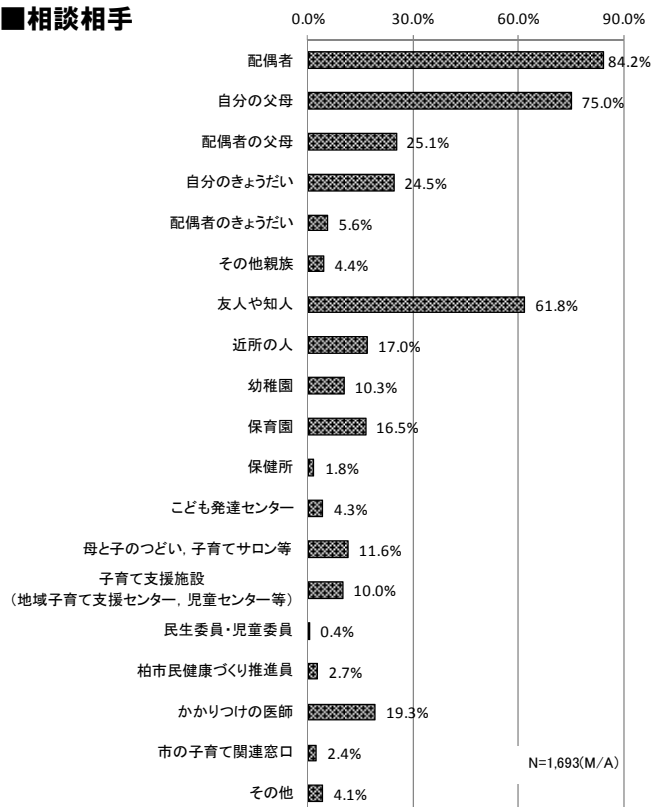
「よくあった」が25%、「ときどきあった」が53%で、78%の人が何らかの心配や悩みがあったと回答している。

この何らかの心配や悩みがあった人のうち、95%の人がそれについて相談しており、相談相手としては「配偶者」84%、「自分の父母」75%、「友人や知人」62%が多くなっている。

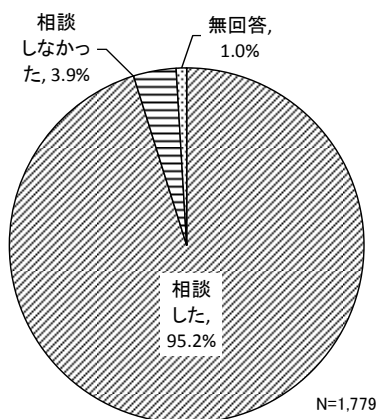
■心配・悩みの有無



■相談相手



■相談の有無



その他の内容	回答数	回答割合
助産師	14	0.8%
ネット・電話相談	10	0.6%
職場関係	9	0.5%
健診	9	0.5%
保健師	5	0.3%
サークル・教室	4	0.2%
病院	2	0.1%
看護師	2	0.1%
その他	14	0.8%

N=1,693(M/A)

図 II-37 子育ての心配・悩み

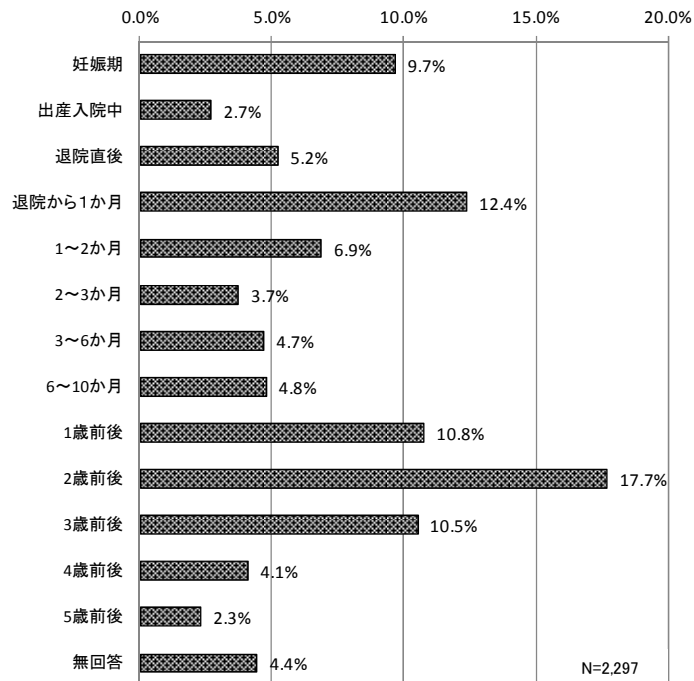
Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

問12

宛名のお子さんの子育て(教育を含む)の中で心配や悩みが大きかった(多かった)時期は、いつでしたか。
(当てはまる番号1つに○)

- | | | | | |
|----------|----------|-----------|------------|----------|
| 1. 妊娠期 | 2. 出産入院中 | 3. 退院直後 | 4. 退院から1か月 | 5. 1～2か月 |
| 6. 2～3か月 | 7. 3～6か月 | 8. 6～10か月 | 9. 1歳前後 | 10. 2歳前後 |
| 11. 3歳前後 | 12. 4歳前後 | 13. 5歳前後 | | |

「2歳前後」が18%で最も多く、ついで「退院から1か月」が12%、「1歳前後」と「3歳前後」がともに11%、「妊娠期」10%などとなっている。



図Ⅱ-38 心配・悩みが大きかった時期

3. 子育てに係る意識や環境などについて

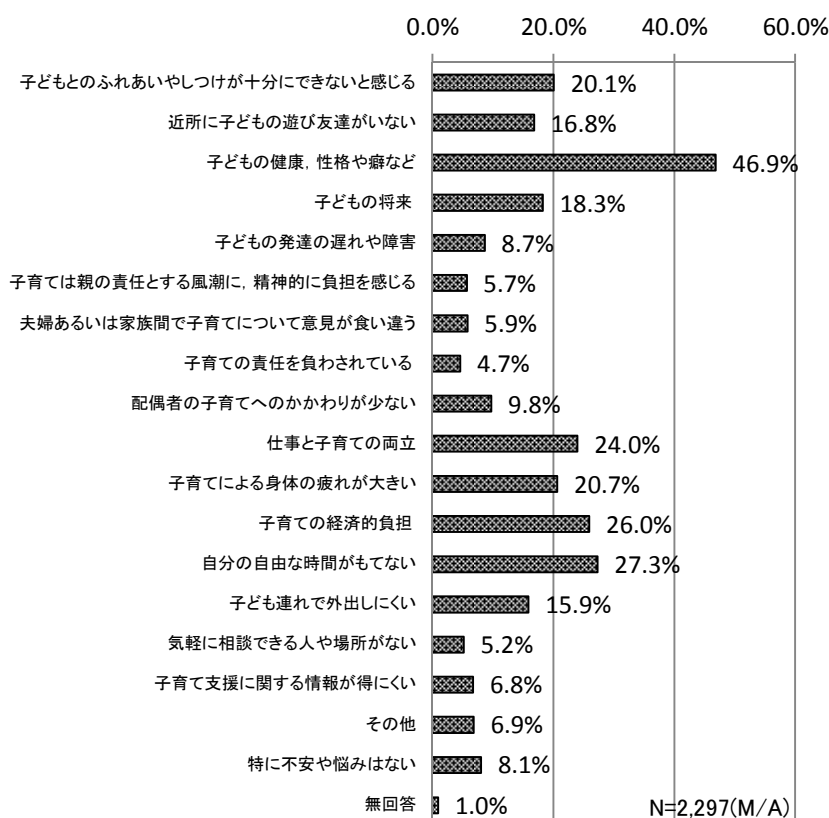
問13

宛名のお子さんの子育て(教育を含む)において、どのような心配や悩みがありますか。
(当てはまる番号すべてに○)

1. 子どもとのふれあいやしつけが十分にできないと感じる
2. 近所に子どもの遊び友達がいない
3. 子どもの健康、性格や癖など
4. 子どもの将来
5. 子どもの発達の遅れや障害
6. 子育ては親の責任とする風潮に、精神的に負担を感じる
7. 夫婦あるいは家族間で子育てについて意見が食い違う
8. 子育ての責任を負わされている
9. 配偶者の子育てへのかかわりが少ない
10. 仕事と子育ての両立
11. 子育てによる身体の疲れが大きい
12. 子育ての経済的負担
13. 自分の自由な時間がもてない
14. 子ども連れて外出しにくい
15. 気軽に相談できる人や場所がない
16. 子育て支援に関する情報が得にくい
17. その他()
18. 特に不安や悩みはない

子育てにおける心配や悩みとしては、「子どもの健康、性格や癖など」が47%で最も多い。

以下、20%以上の項目を見ると、「自分の自由な時間がもてない」27%、「子育ての経済的負担」26%、「仕事と子育ての両立」24%、「子育てによる身体の疲れが大きい」21%、「子どもとのふれあいやしつけが十分にできないと感じる」20%などとなっている。



その他の内容	回答数	回答割合
就学について(保育園・幼稚園・小学校)	24	1.0%
子供との関わり方について	24	1.0%
病気(アレルギー・持病etc)	12	0.5%
家族間について	12	0.5%
通院等について	11	0.5%
放射能や3.11関連	9	0.4%
夜泣き	7	0.3%
教育について	6	0.3%
遊び場が無い・少ない	6	0.3%
食関連(離乳食・おかしetc)	5	0.2%
トイレ、おむつ	5	0.2%
自身について	4	0.2%
その他	28	1.2%

N=2,297(M/A)

図 II-39 子育てにおける心配・悩みの内容

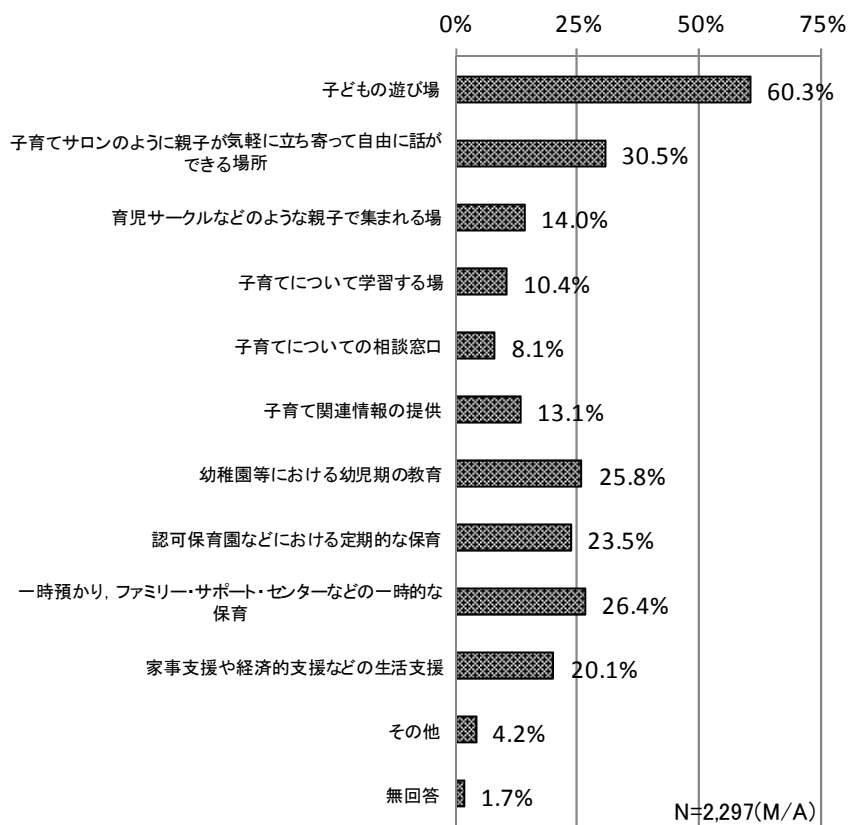
Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

問14

宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を行う上で、必要と思われることは何ですか。
(当てはまる番号3つまでに○)

1. 子どもの遊び場
2. 子育てサロンのように親子が気軽に立ち寄って自由に話ができる場所
3. 育児サークルなどのような親子で集まれる場
4. 子育てについて学習する場
5. 子育てについての相談窓口
6. 子育て関連情報の提供
7. 幼稚園等における幼児期の教育
8. 認可保育園などにおける定期的な保育
9. 一時預かり、ファミリー・サポート・センターなどの一時的な保育
10. 家事支援や経済的支援などの生活支援
11. その他()

子育て上で必要と思うことは、「子どもの遊び場」を挙げる意見が60%で群を抜いて多い。以下、「子育てサロンのように親子が気軽に立ち寄って自由に話ができる場所」31%、「幼稚園等における幼児期の教育」、「一時預かり、ファミリー・サポート・センターなどの一時的な保育」各26%が、25%以上の項目となっている。



その他の内容	回答数	回答割合
子供の遊び場について	15	0.7%
病児保育について	10	0.4%
医療支援について	6	0.3%
教育について	6	0.3%
施設・交通について	6	0.3%
病院関連について	5	0.2%
児童センター等について	4	0.2%
時間	4	0.2%
親のリフレッシュについて	2	0.1%
その他	36	1.6%

N=2,297(M/A)

図Ⅱ-40 子育てに必要なこと

4. 保護者の就労状況について

問15

宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。父親・母親それぞれについてお答えください。

※父子家庭の場合の「母親」の欄、母子家庭の場合の「父親」の欄の記入は不要です。

※「フルタイム」:週5日程度・1日8時間程度の就労 「パート・アルバイト等」:「フルタイム」以外の就労

父親 (当てはまる番号1つに○)	母親 (当てはまる番号1つに○)
1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない	1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である	2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない	3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である	4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない	6. これまで就労したことがない

問18へ

父親については、94%が「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」と答えており、育休・介護休業中はフルタイム就労者でわずかに1%見られる程度である。

これに対し、母親の場合は「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」と答えた人は16%で、最多意見は「以前は就労していたが、現在は就労していない」の55%である。また、育休・介護休業中とする人は、フルタイム就労者で9%、パート・アルバイト等で1%であり、父親に比べて多い。

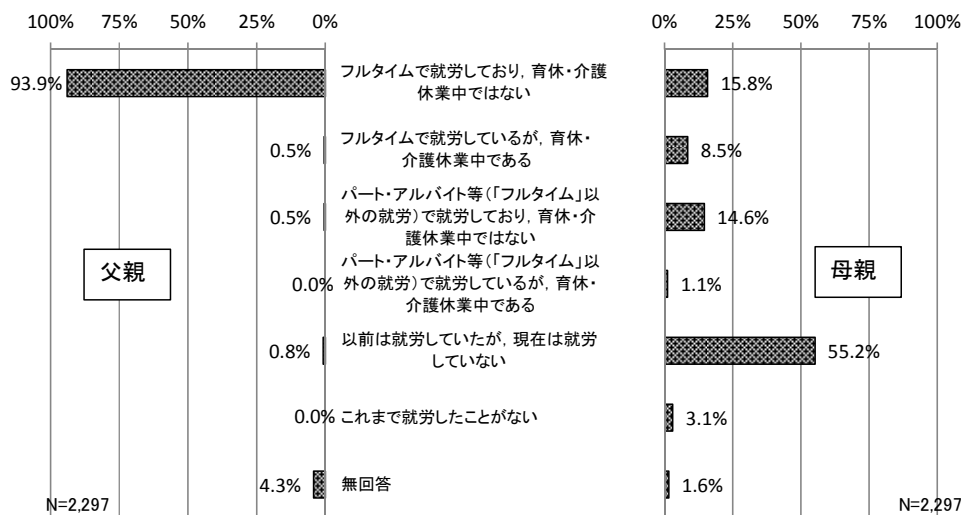


図 II-41 父母の就労状況

II. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

問15-1

問15で「1～4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

父親・母親それぞれについて、週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

父親			母親			
週	<input type="text"/>	日	1日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間

就業日数については、父親、母親とも週5日が最多であり、父親64%、母親68%である。また、父親については6日も23%と多く、母親については4日以下の回答も多い。

就労時間については、父親は日10時間、母親は日8時間とする回答がそれぞれ最も多いが、平均をとると、父親10.6時間、母親7.2時間であり、父親の場合は最多意見より就労時間が長い回答が多く、一方母親は最多意見より就労時間が短い回答が多いことを示している。

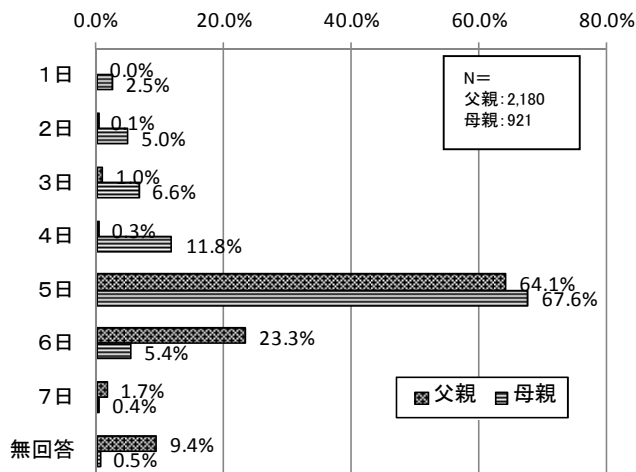
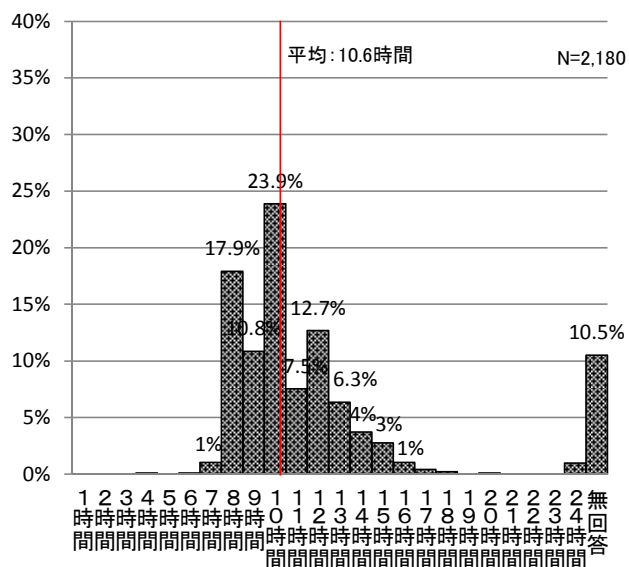


図 II-42 父母の週当たり就労日数

■父親



■母親

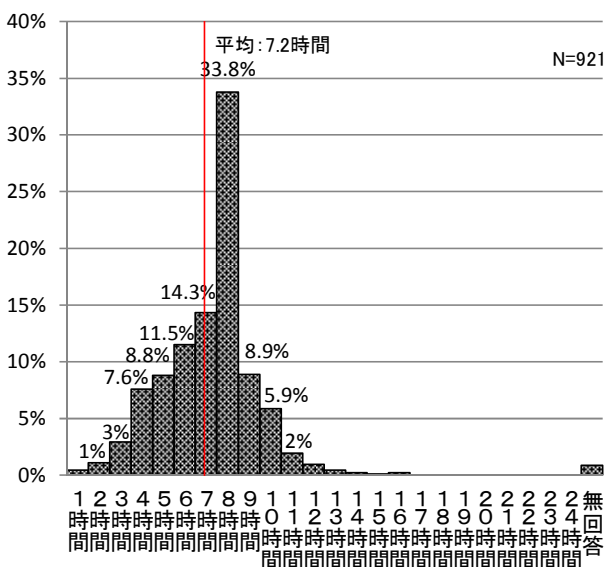


図 II-43 父母の日あたり就労時間

問15-2

問15で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
 父親・母親それぞれについて、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、
 もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況に
 についてお答えください。

※自営業者などで通勤を要しない方は、「家を出る時刻」は「勤務に入る時刻」、
 「帰宅する時刻」は「勤務を終える時刻」としてお答えください。

父親		母親	
家を出る時刻	<input type="text"/> <input type="text"/> 時	家を出る時刻	<input type="text"/> <input type="text"/> 時
帰宅する時刻	<input type="text"/> <input type="text"/> 時	帰宅する時刻	<input type="text"/> <input type="text"/> 時

父親について見ると、外出時刻は7時台が最も多く38%を占めているが、帰宅時刻についてはばらつきがあり、概ね19時から22時に集中しているものの、最も多い20時台でも17%に過ぎない。

母親について見ると、外出時刻は8時台が37%で最も多いが、7時台も34%みられる。帰宅時刻については、18時台が31%、19時台が22%で、この2時間で全体の半数以上を占めている。

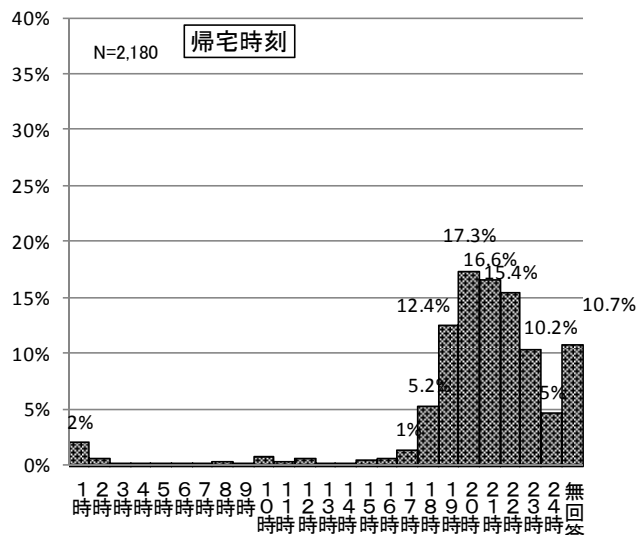
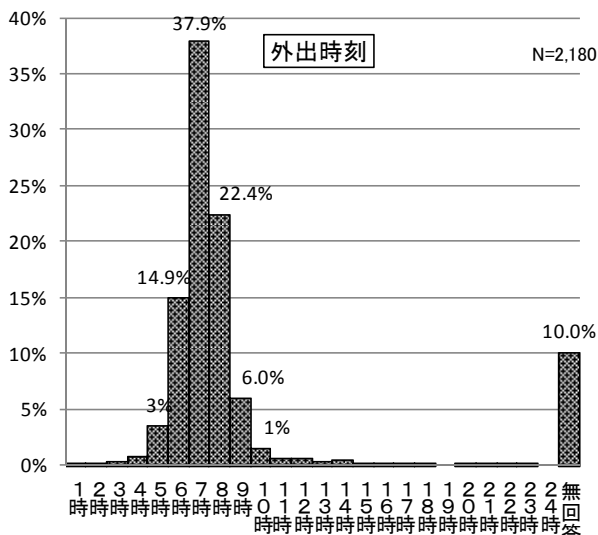


図 II-44 外出・帰宅時刻 (父親)

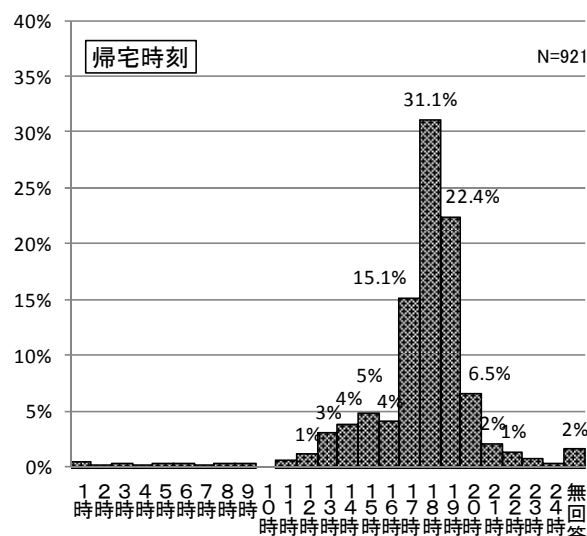
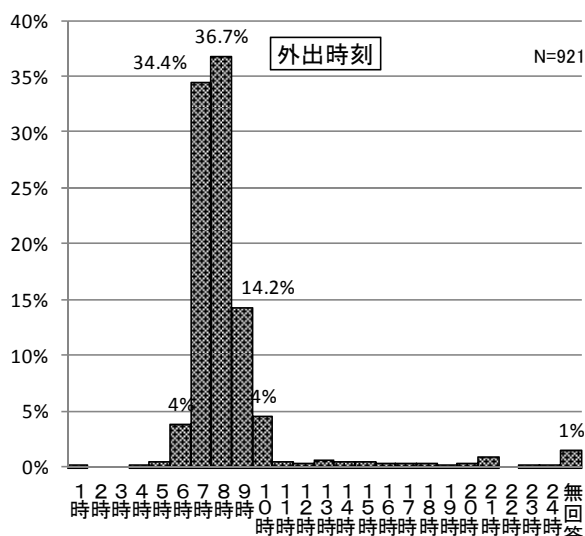


図 II-45 外出・帰宅時刻 (母親)

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

問16 問15で「1」または「2」(フルタイムで就労している)に○をつけた方にうかがいます。父親・母親それぞれについて、今後の就労に関する希望をお答えください。

父親 (当てはまる番号1つに○)	母親 (当てはまる番号1つに○)
1. フルタイムの就労を続けたい。	1. フルタイムの就労を続けたい。
2. パート・アルバイト等への転換を希望しており、実現の見込みがある。	2. パート・アルバイト等への転換を希望しており、実現の見込みがある。
3. パート・アルバイト等への転換を希望しているが、実現は難しいと考えている。	3. パート・アルバイト等への転換を希望しているが、実現は難しいと考えている。
4. 就労をやめて子育てや家事などに専念したい	4. 就労をやめて子育てや家事などに専念したい

問19へ

父親、母親ともに「フルタイムの就労を続けたい」とする回答が最も多いが、父親が88%を占めるのに対して母親は77%となっており、父親の方が11ポイント高い。

母親については、このほか「パート・アルバイト等への転換を希望しているが、実現は難しいと考えている」が14%、「就労をやめて子育てや家事などに専念したい」が6%見られるが、父親についてはその他意見はいずれも1%未満である。

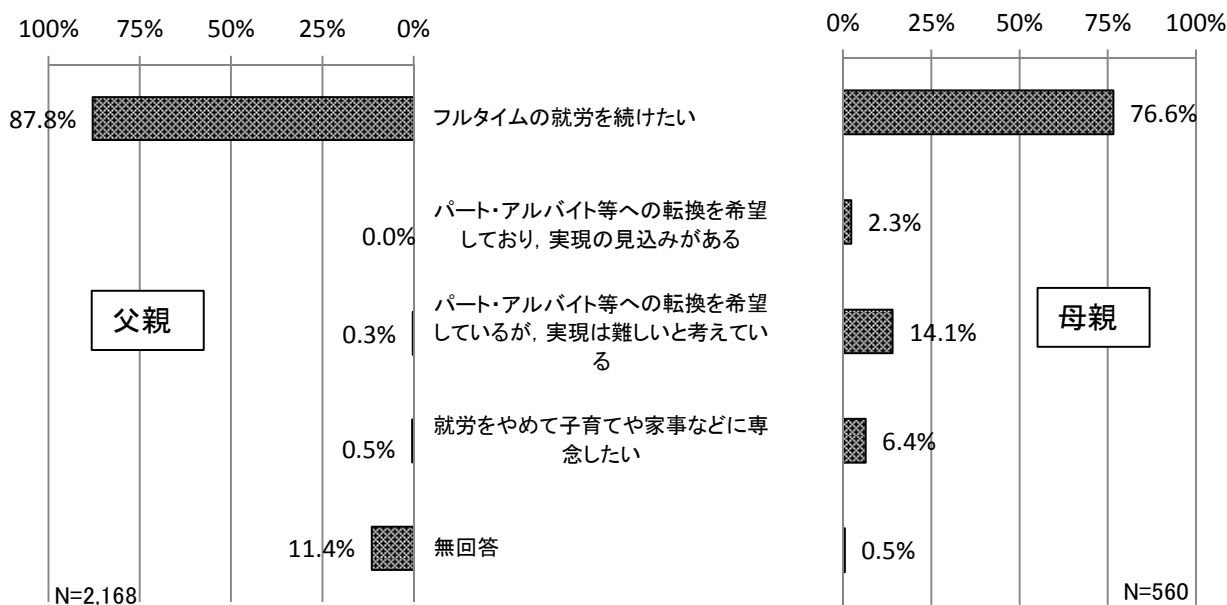


図 II-46 今後の就業意向 (現状フルタイム)

問17 問15で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。父親・母親それぞれについて、今後の就労に関する希望をお答えください。

父親 (当てはまる番号1つに○)	母親 (当てはまる番号1つに○)
1. パート・アルバイト等の就労を続けたい。	1. パート・アルバイト等の就労を続けたい。
2. フルタイムへの転換を希望しており、実現の見込みがある。	2. フルタイムへの転換を希望しており、実現の見込みがある。
3. フルタイムへの転換を希望しているが、実現は難しいと考えている。	3. フルタイムへの転換を希望しているが、実現は難しいと考えている。
4. 就労をやめて子育てや家事などに専念したい	4. 就労をやめて子育てや家事などに専念したい

問19へ

父親についてはフルタイムへの転換を希望している人が合わせて50%を超えるが、実現は難しいと考えている人の方が多い。また、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」は17%である。

母親については、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が52%で最も多く、フルタイムへの転換を希望している人はあわせて36%である。母親についても父親と同様にフルタイムへの転換実現は難しいと考えている人の方が多い。

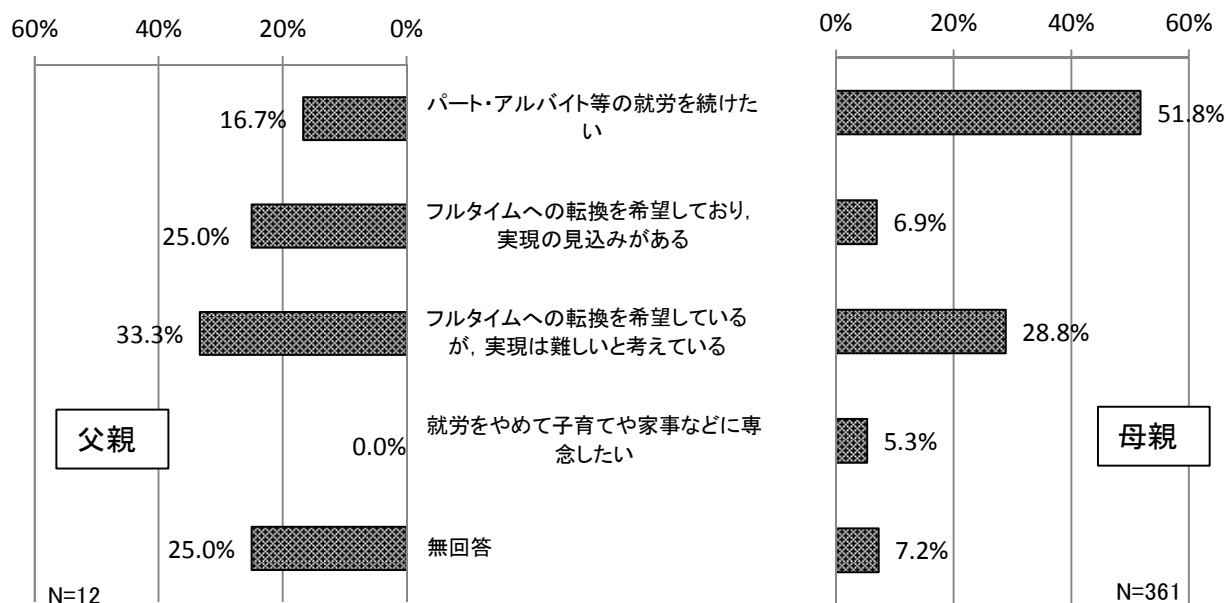


図 II-47 今後の就業意向 (現状パート・アルバイト等)

II. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

問18 問15で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。父親・母親それぞれについてお答えください。

父親 (当てはまる番号1つに○)	母親 (当てはまる番号1つに○)
1. 子育てや家事などに専念したい 2. できれば子育てや家事などに専念したいが、就労する必要がある 3. 就労したい	1. 子育てや家事などに専念したい 2. できれば子育てや家事などに専念したいが、就労する必要がある 3. 就労したい
就労したい時期(当てはまる記号1つに○) ア. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になった頃に就労したい イ. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	就労したい時期(当てはまる記号1つに○) ア. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になった頃に就労したい イ. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
希望する就労形態(当てはまる記号1つに○) a. フルタイム b. パート・アルバイト等 週 <input type="text"/> 日 1日 <input type="text"/> <input type="text"/> 時間程度	希望する就労形態(当てはまる記号1つに○) a. フルタイム b. パート・アルバイト等 週 <input type="text"/> 日 1日 <input type="text"/> <input type="text"/> 時間程度

現在は就労していない人についてみると、父親は「就労したい」が61%を占めている。母親については、「できれば子育てや家事などに専念したいが、就労する必要がある」が38%、「就労したい」が30%、「子育てや家事などに専念したい」が27%で意見が分散している。

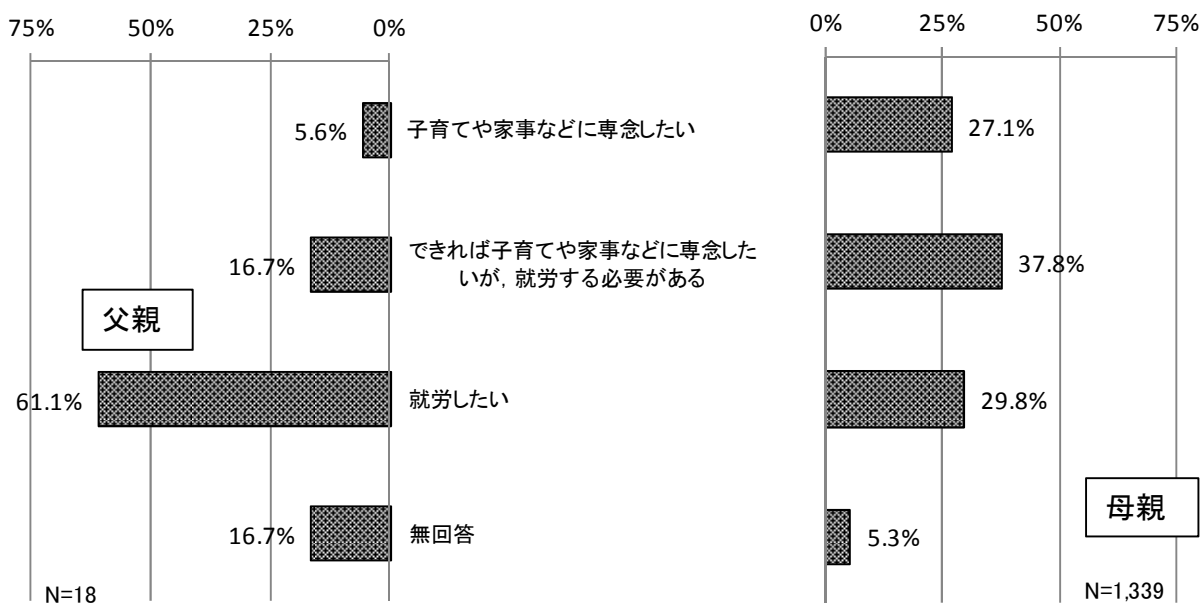


図 II-48 今後の就業意向（現状無業）

4. 保護者の就労状況について

このうち、就労意志のある人の意見をみると、父親は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が86%あるが、母親は「1年より先、一番下の子どもが〇歳になった頃に就労したい」が71%であり、母親の場合、子どもの年齢との兼ね合いで就労時期を決める傾向が強いことがうかがえる。

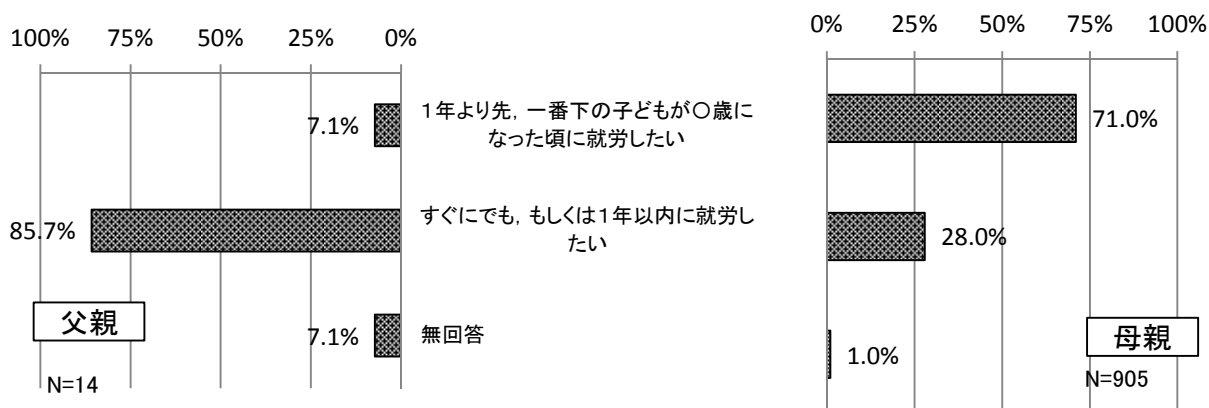


図 II-49 就労希望時期

さらに、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になった頃に就労したい」の年齢をみると、母親の場合は3歳が23%、7歳が20%、4歳が19%となっており、幼稚園、保育園等の入園時期または小学校の入学時期に集中している。このため、平均は入園時期と入学時期の間の5.1歳となっている。

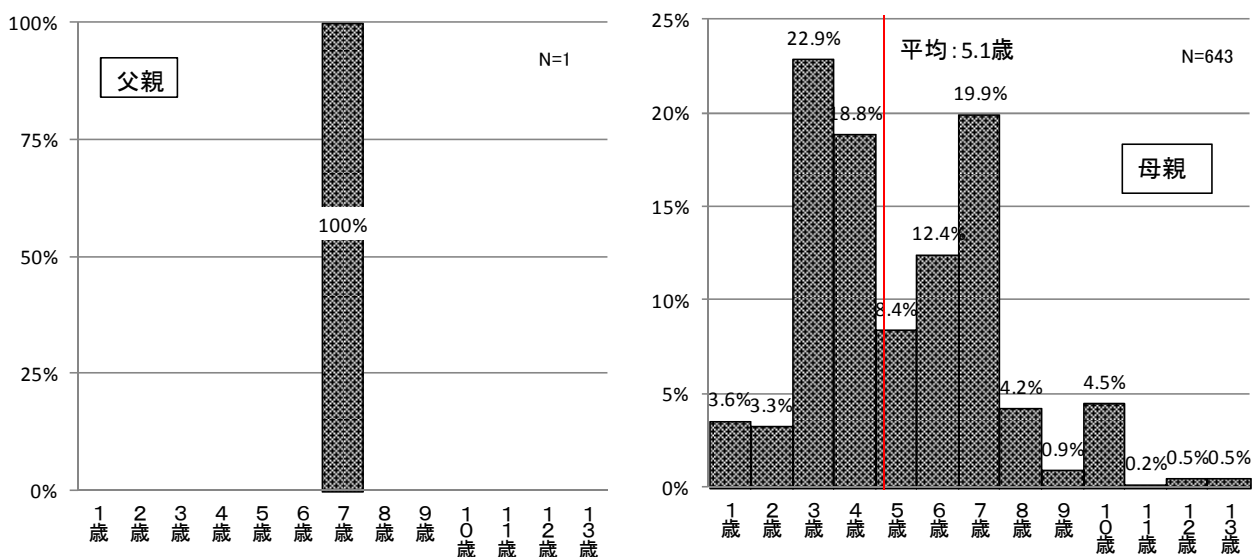


図 II-50 就労希望時期に係る子ども年齢

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

就労形態としては、父親はほぼ全数がフルタイムを希望しているのに対し、母親は86%が「パート・アルバイト等」を希望している。

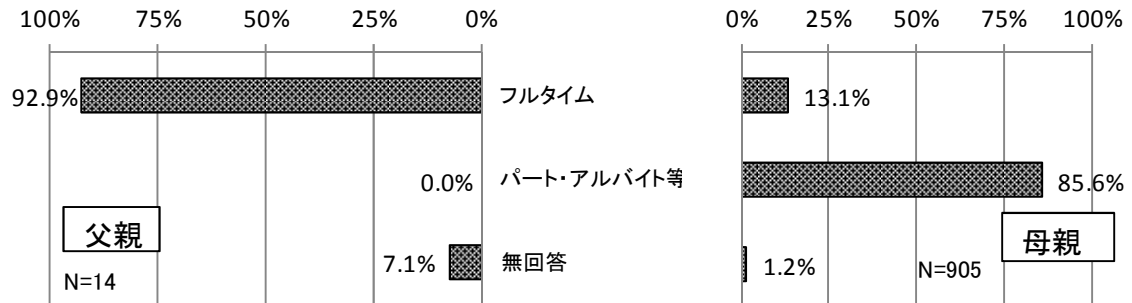


図 Ⅱ- 51 希望する就労形態

5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問19

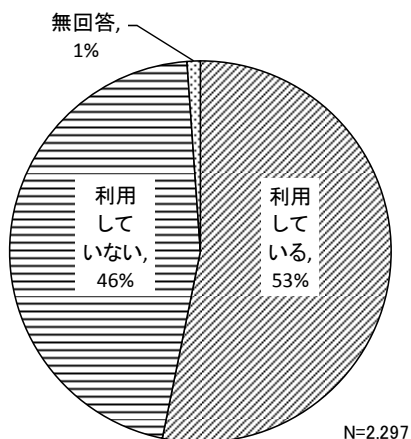
宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。（当てはまる番号1つに○）

1. 利用している

2. 利用していない

……→ 問19-5へ

「利用している」が53%、「利用していない」が46%で、利用している人の方が7ポイント高い。地区別に見て、利用している人が特に多いのは新田原地区62%、西原地区61%、松葉地区60%である。



	利用している	利用していない	無回答
田中	52.3%	47.2%	0.6%
西原	60.8%	34.2%	5.1%
富勢	53.8%	42.7%	3.4%
松葉	59.6%	40.4%	0.0%
高田・松ヶ崎	57.7%	41.5%	0.8%
豊四季台	53.3%	46.1%	0.7%
新富	52.6%	46.5%	0.9%
旭町	52.1%	47.9%	0.0%
柏中央	55.3%	43.2%	1.5%
新田原	62.0%	38.0%	0.0%
富里	57.6%	39.4%	3.0%
永楽台	43.8%	56.3%	0.0%
増尾	49.5%	50.5%	0.0%
南部	45.6%	51.8%	2.6%
藤心	51.4%	47.1%	1.4%
光ヶ丘	54.7%	44.7%	0.6%
酒井根	47.8%	50.0%	2.2%
手賀	26.3%	68.4%	5.3%
風早北部	56.7%	43.3%	0.0%
風早南部	46.7%	52.5%	0.8%
不明	62.5%	37.5%	0.0%
無回答	54.5%	45.5%	0.0%
計	53.2%	45.7%	1.1%

図 II-52 定期的な教育・保育事業の利用状況

子どもの年齢（問2）別にみると、0～2歳では「利用している」は24%にとどまるが、3～5歳では「利用している」が85%に増加する。

表 II-6 子どもの年齢別定期的な教育・保育事業の利用状況

		(上段：人 下段：%)		
問2 \ 問19	利用している	利用していない	無回答	計
0～2歳	281 23.8	887 75.2	12 1.0	1,180 100.0
3～5歳	935 85.4	147 13.4	13 1.2	1,095 100.0
その他	6 27.3	15 68.2	1 4.5	22 100.0
計	1,222 53.2	1,049 45.7	26 1.1	2,297 100.0

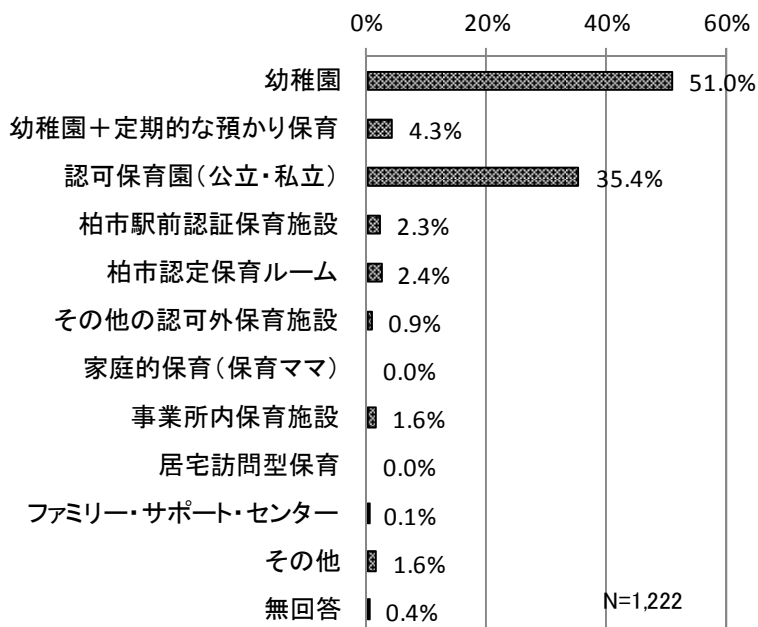
Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

問19-1

問19で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。（主に利用しているもの1つに○）

- | | |
|---|--|
| 1. 幼稚園
(法令による基準を満たし、県の認可を受けた幼稚園。認定こども園の幼稚園部分を含みます。) | 2. 幼稚園＋定期的な預かり保育
(預かり保育:通常就園時間の開始前・終了後に園児を預かる事業)
※預かり保育を、定期的にご利用している場合のみ○をつけてください。 |
| 3. 認可保育園(公立・私立)
(法令による基準を満たし、県・政令市・中核市の認可を受けた保育所。認定こども園の保育所部分を含みます。) | 4. 柏市駅前認証保育施設
(認可保育所と同等の基準を満たすものとして市が認証した駅前に立地した保育施設) |
| 5. 柏市認定保育ルーム
(一定の基準を満たすものとして、市が独自に認定した保育施設) | 6. その他の認可外保育施設 |
| 7. 家庭的保育(保育ママ)
(保育者が、その家庭等で子どもを保育する事業、現在柏市内では実施していません) | 8. 事業所内保育施設
(企業等が、主に従業員向けに運営する保育施設) |
| 9. 居宅訪問型保育
(ベビーシッターのように保育者が子どもの家庭で保育する事業) | 10. ファミリー・サポート・センター
(会員登録した地域住民が、その自宅で子どもを預かったり、送り迎えをしたりする事業) |
| 11. その他() | |

主な利用内容は、「幼稚園」51%、「認可保育園(公立・私立)」35%で、この両者で80%を超えている。



その他の内容	回答数	回答割合
プレ幼稚園	6	0.5%
発達センター	5	0.4%
一時預かり	3	0.2%
こども園	2	0.2%
自主保育グループ	1	0.1%
英語のプリスクール	1	0.1%
インターナショナルスクール	1	0.1%
幼稚園＋不定期な預り保育＋定期的な柏市認定保育ルーム	1	0.1%

N=1,222(M/A)

図 Ⅱ-53 現在利用している定期的な教育・保育事業

5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

これを宛名の子どもの年齢（問2）別にみると、「幼稚園」および「幼稚園＋定期的な預かり保育」は3～5歳が圧倒的に多く、ともに95%以上となっている。

「認可保育園（公立・私立）」についても3～5歳の方が多いが、60%であり、0～2歳の利用も40%みられる。

0～2歳の方が利用が多いサービスは、「柏市駅前認証保育施設」（0～2歳：68%）、「柏市認定保育ルーム」（同76%）、「その他の認可外保育施設」（同64%）、「事業所内保育施設」（同84%）、「ファミリー・サポート・センター」（同100%）である。

表 II-7 現在利用している定期的な教育・保育事業別の子どもの年齢構成

（上段：人 下段：%）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	その他	計	0～2歳	3～5歳
幼稚園	2	0	26	142	211	238	4	623	28	591
	0.3	0.0	4.2	22.8	33.9	38.2	0.6	100.0	4.5	94.9
幼稚園＋定期的な預かり保育	0	0	2	8	19	24	0	53	2	51
	0.0	0.0	3.8	15.1	35.8	45.3	0.0	100.0	3.8	96.2
認可保育園（公立・私立）	23	67	82	98	79	83	1	433	172	260
	5.3	15.5	18.9	22.6	18.2	19.2	0.2	100.0	39.7	60.0
柏市駅前認証保育施設	3	6	10	2	4	3	0	28	19	9
	10.7	21.4	35.7	7.1	14.3	10.7	0.0	100.0	67.9	32.1
柏市認定保育ルーム	3	11	8	5	0	2	0	29	22	7
	10.3	37.9	27.6	17.2	0.0	6.9	0.0	100.0	75.9	24.1
その他の認可外保育施設	1	3	3	0	3	0	1	11	7	3
	9.1	27.3	27.3	0.0	27.3	0.0	9.1	100.0	63.6	27.3
家庭的保育（保育ママ）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事業所内保育施設	2	5	9	2	0	1	0	19	16	3
	10.5	26.3	47.4	10.5	0.0	5.3	0.0	100.0	84.2	15.8
居宅訪問型保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0
	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0
その他	1	2	10	3	2	2	0	20	13	7
	5.0	10.0	50.0	15.0	10.0	10.0	0.0	100.0	65.0	35.0
無回答	0	0	1	0	2	2	0	5	1	4
	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	40.0	0.0	100.0	20.0	80.0
計	35	94	152	260	320	355	6	1,222	281	935
	2.9	7.7	12.4	21.3	26.2	29.1	0.5	100.0	23.0	76.5

II. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

問19-2

問19で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。問19-1で○をつけた施設等を、現在どのくらい利用していますか。また、希望としては、どのくらい利用したいですか。

現在：週 日，1日 時間（ 時から 時まで）
 希望：週 日，1日 時間（ 時から 時まで）

現在の利用状況としては、週当たり5日が86%で最も多く、一日当たりの利用時間は5時間が31%で最も多い。

また、利用開始時刻は9時からが54%、利用終了時刻は14時が38%でそれぞれ最多となっている。

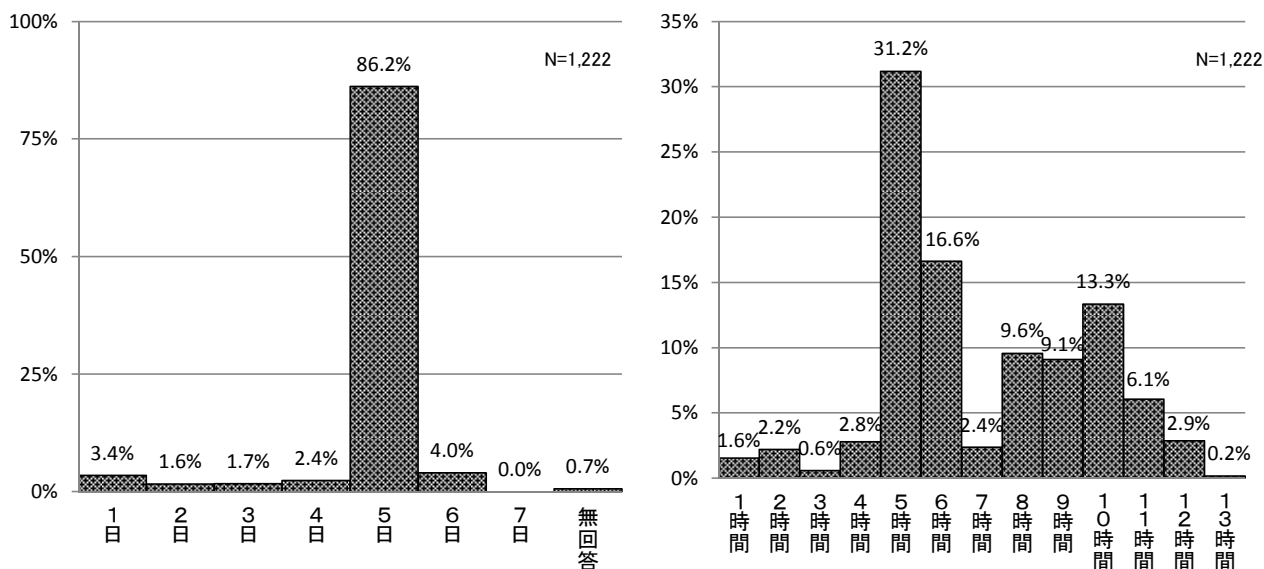


図 II-54 現在の週当たり利用日数と日当たり利用時間

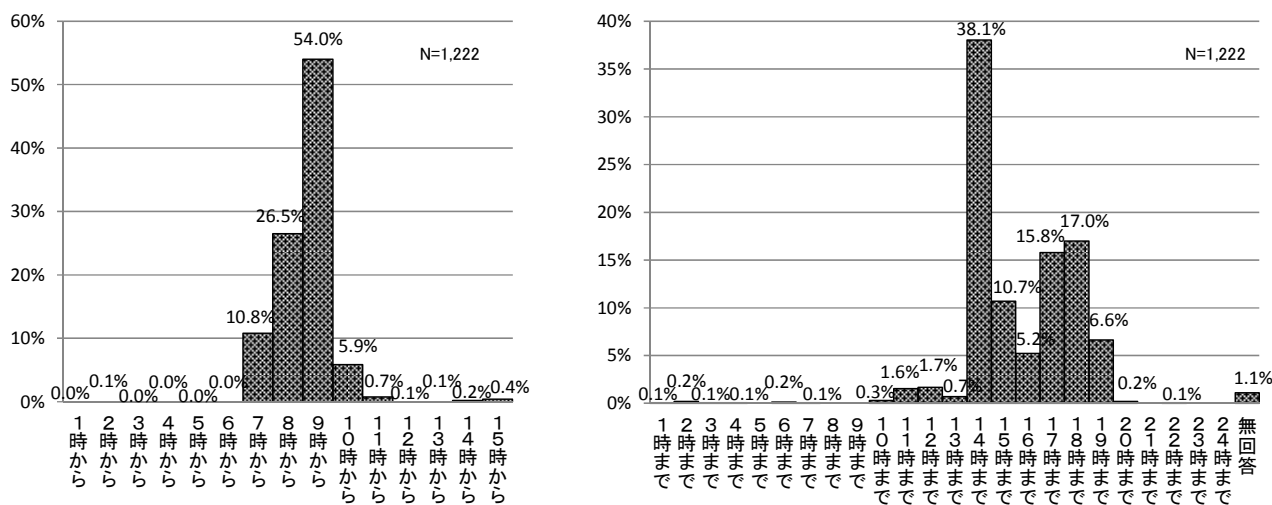


図 II-55 現在の利用開始・終了時間

5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

希望については4割強が無回答であったが、日数については現状と同様に5日が50%で最も多い。一日当たりの利用時間は8時間が11%で最多であり、かつ平均値も8.0時間であることから、現状に対し、利用意向は3時間長くなっている。

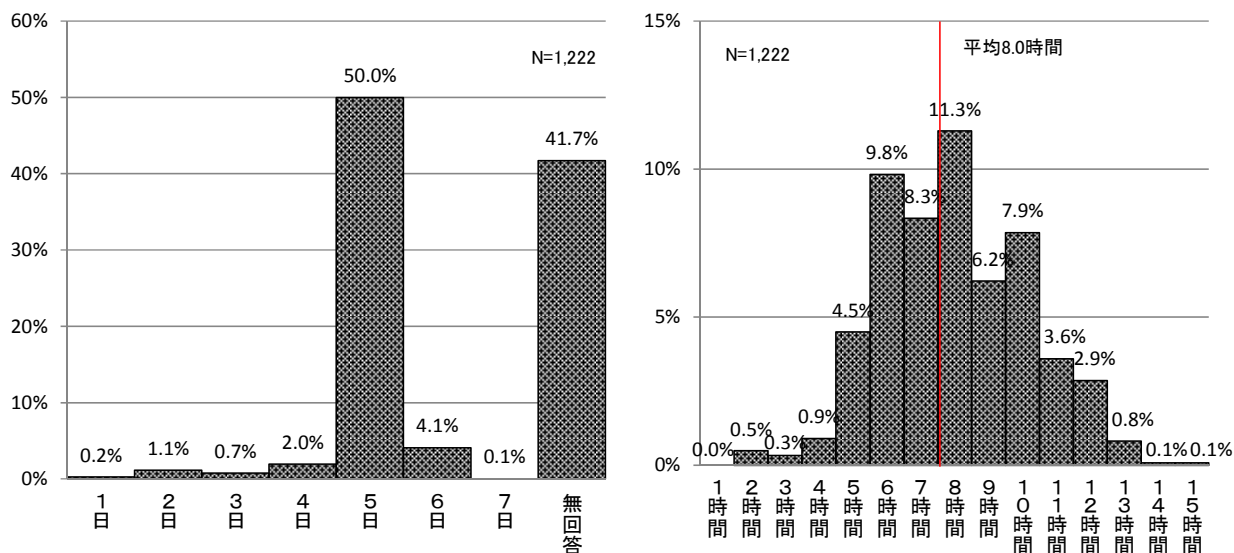


図 II-56 希望する週当たり利用日数と日当たり利用時間

利用開始時刻については現状と同じ9時からが29%で最多である。一方、終了時刻については15時までと17時までがともに13%で最多となっている。

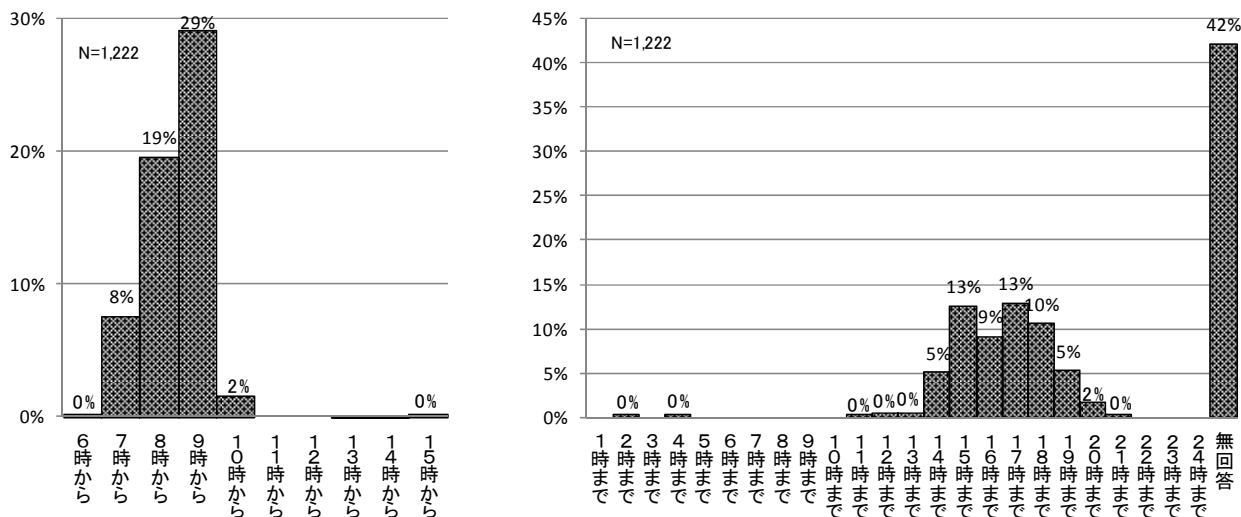


図 II-57 希望する利用開始・終了時間

5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問19-4

問19-1で「3. 認可保育園(公立・私立)」「4. 柏市駅前認証保育施設」「5. 柏市認定保育ルーム」「6. その他の認可外保育施設」に○をつけた方にうかがいます。現在利用している施設等への入園を検討する際、幼稚園の定期的な預かり保育について知っていましたか。(当てはまる番号1つに○)

1. 知っていた	→	「幼稚園+定期的な預かり保育」を利用しなかった理由 ()
2. 知らなかった	→	もし知っていたら、「幼稚園+定期的な預かり保育」を利用したか ア. 利用した イ. 利用しなかった (理由:)

「知っていた」は35%、「知らなかった」は55%である。

また、幼稚園の定期的な預かり保育を知らなかった人のうち20%が、「幼稚園+定期的な預かり保育」を知っていたら「利用した」としている。

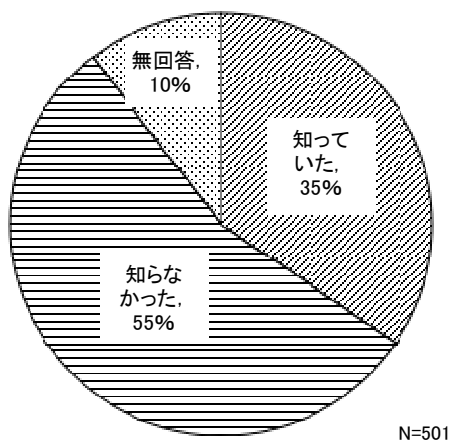


図 II - 59 認知状況

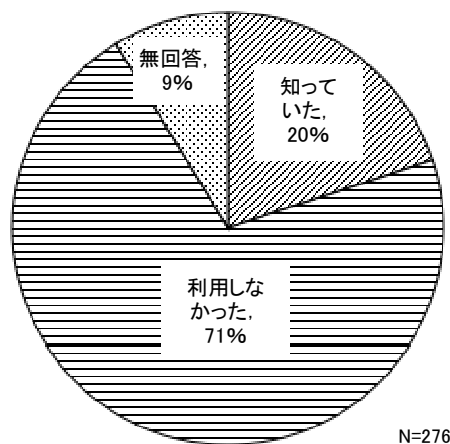


図 II - 60 知っていたら利用したか

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

「幼稚園＋定期的な預かり保育」を利用しなかった理由では、年齢に関する点が22%で最も多く、次いで預かり時間に関する点が17%、保育園希望と金額面がそれぞれ10%などとなっている。

表Ⅱ-8 「幼稚園＋定期的な預かり保育」を利用しなかった理由

その他の内容	回答数	回答割合
年齢	38	22.0%
預かり時間	29	16.8%
保育園が希望だった	18	10.4%
金額面	18	10.4%
遠い、不便	10	5.8%
情報を知らなかった、わからない	10	5.8%
勤務時間	9	5.2%
兄弟が保育園の為	5	2.9%
教育方針	4	2.3%
休日保育	3	1.7%
必要無い	3	1.7%
その他	11	6.4%

N=173(M/A)

「幼稚園＋定期的な預かり保育」を知らず、知っていたとしても利用しない理由についても、年齢に関する点が17%で最も多く、次いで預かり時間が14%、金銭面が11%の順となっており、上位意見の傾向は、利用しなかった理由の傾向と概ね一致している。

表Ⅱ-9 「幼稚園＋定期的な預かり保育」を知らず、知っていたとしても利用しない理由

その他の内容	回答数	回答割合
年齢	34	17.3%
預かり時間	27	13.7%
金銭面	22	11.2%
保育園が希望だった	16	8.1%
利便性	10	5.1%
休日保育	10	5.1%
保育園より面倒	9	4.6%
先に保育園に入園したから	9	4.6%
仕事上	7	3.6%
入園できなかった	5	2.5%
情報不足 選択肢になかった	4	2.0%
入園する	1	0.5%
その他	1	0.5%

N=197(M/A)

5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問19-5

問19で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。(もっとも当てはまる番号1つに○)

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない
2. 子どもの祖父母、親戚の人、父母の友人・知人等がみている
3. 教育・保育の事業に空きがない(市や施設等に申込みをしている)
4. 教育・保育の事業に空きがない(市や施設等に申込みをしていない)
5. 経済的な理由で事業を利用できない
6. 延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 事業の利用要件(就労要件等)に当てはまらない
8. 事業の質や場所など、納得できる事業がない
9. 子どもがまだ小さいため 歳くらいになったら利用しようと考えている
10. その他()

「子どもがまだ小さいため○歳くらいになったら利用しようと考えている」が43%で最も多く、ついで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない」が32%である。

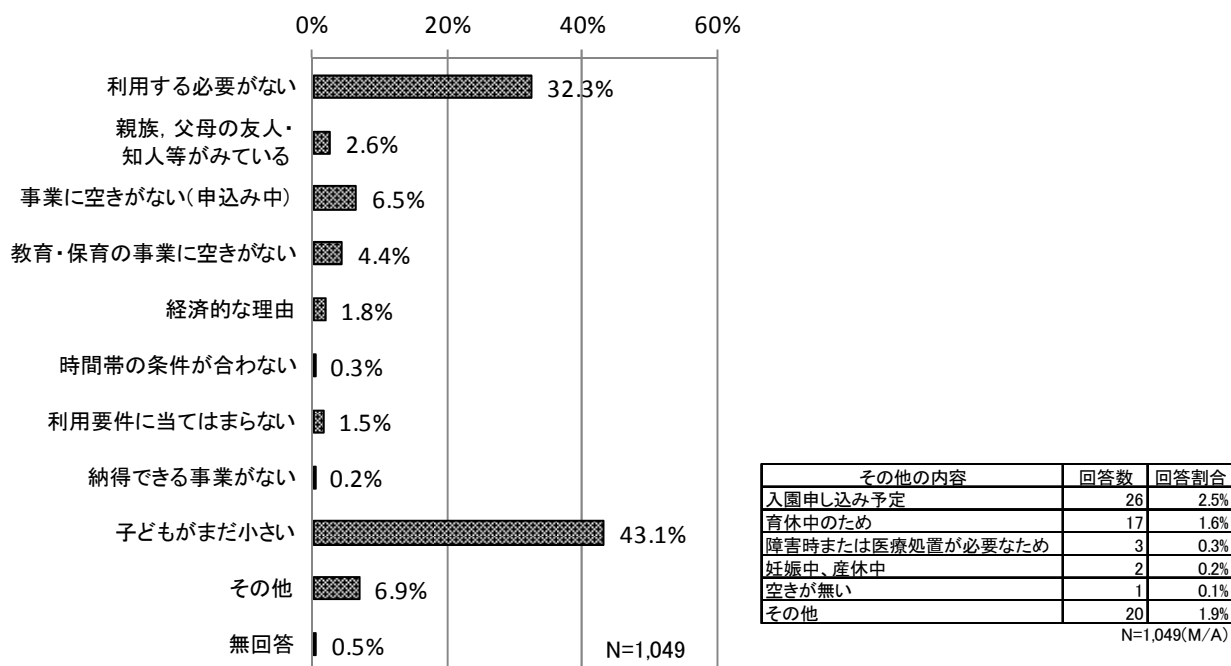


図 II-61 定期的な教育・保育事業を利用していない理由

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

このうち、「子どもがまだ小さいため〇歳くらいになったら利用しようと考えている」とする人のうちでは、3歳とする人が54%で最も多く、以下、4歳が20%、1歳が17%となっている。

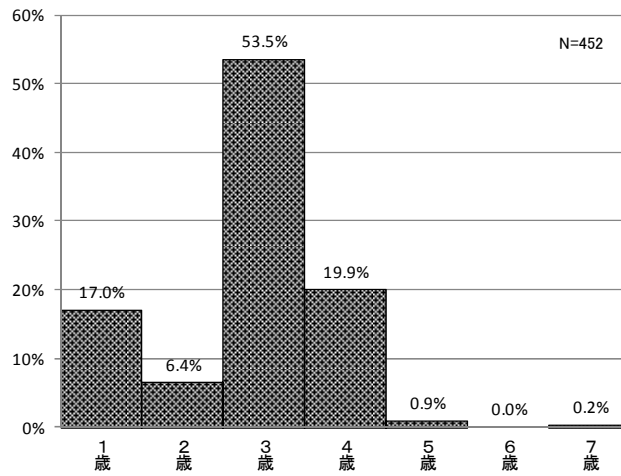


図 Ⅱ- 62 利用したい年齢

5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問20

現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はありますか。（当てはまる番号1つに○）

1. 利用希望がある	「主に利用したい事業」 (下記事業の中から当てはまる事業1つの番号を記入)	「補助的に利用したい事業」 または 「主に利用したい事業に空きがないなどの場合に 利用したい事業」 (下記事業の中から当てはまる事業2つまでの番号を記入)
	[]	[] と []
2. 利用希望がない	問21へ	

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | |
|--|--|
| 1. 幼稚園
(法令による基準を満たし、県の認可を受けた幼稚園) | 2. 幼稚園＋定期的な預かり保育
※預かり保育を、定期的に利用したい場合のみ選択してください。 |
| 3. 認可保育園(公立・私立)
(法令による基準を満たし、県・政令市・中核市の認可を受けた保育所) | 4. 認定こども園
(幼稚園と保育園の機能を併せ持つ、県が認定した施設) |
| 5. 小規模な保育施設
(法令による基準を満たし、市の認可を受けた、定員おおむね20人未満の0～2歳児用の施設) | 6. 家庭的保育(保育ママ)
(保育者の家庭等で、5人以下の子どもの保育する事業) |
| 7. 事業所内保育施設
(企業等が、主に従業員向けに運営する保育施設) | 8. 自治体の認証・認定保育施設
(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設) |
| 9. その他の認可外保育施設 | 10. 居宅訪問型保育
(ベビーシッターのように保育者が子どもの家庭で保育する事業) |
| 11. ファミリー・サポート・センター
(会員登録した地域住民が、その自宅で子どもを預かったり、送り迎えをしたりする事業) | 12. その他() |

「利用希望がある」が74%、「利用希望がない」が19%となっている。

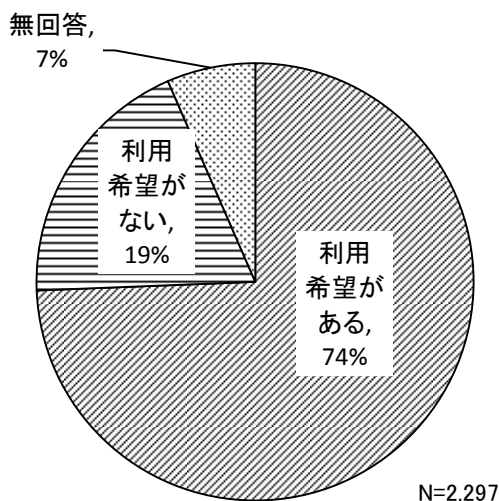


図 II-63 定期的な教育・保育事業の利用意向

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

利用希望があるとする人のうち、主に利用したいとするものでは、「幼稚園」44%、「認可保育園」35%である。

補助的に利用したいとするものでは、「幼稚園＋定期的な預かり保育」が26%で最も多く、ついで「認定こども園」25%、「認可保育園」16%の順となっている。

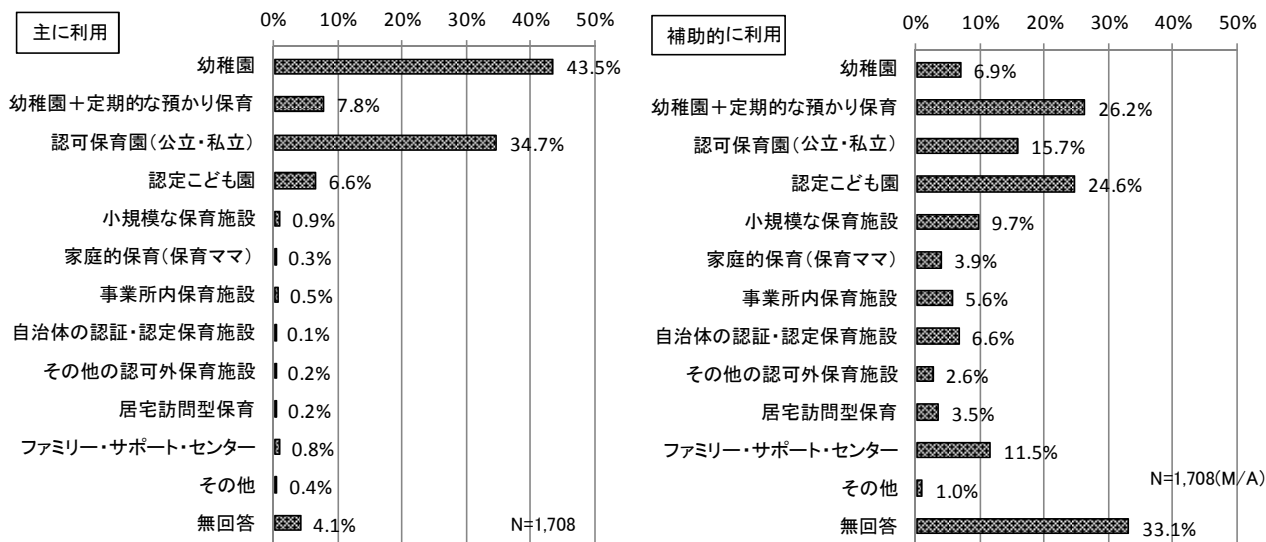


図 Ⅱ-64 利用したい定期的な教育・保育事業

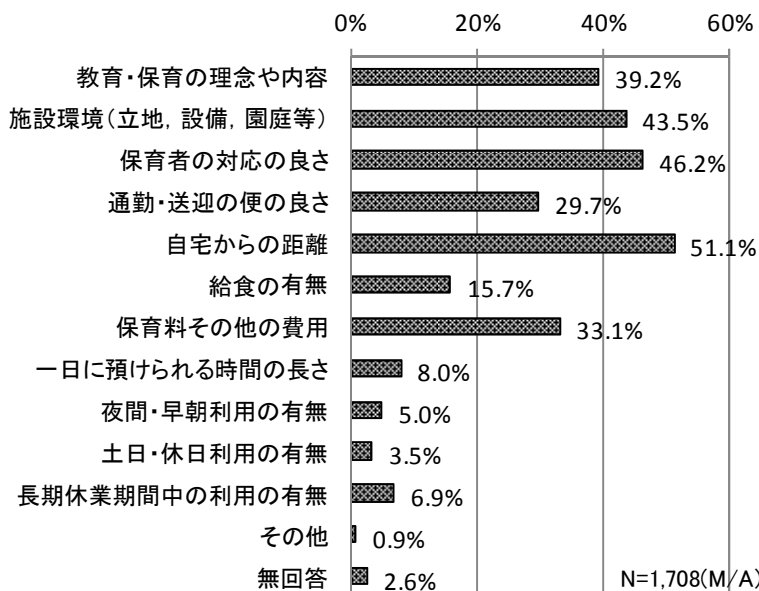
II. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

問20-2

問20で「1. 利用希望がある」に○をつけた方にうかがいます。教育・保育事業を選ぶ際に、重視したいことをお答えください。（当てはまる番号3つまでに○）

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 教育・保育の理念や内容 | 2. 施設環境（立地，設備，園庭等） |
| 3. 保育者の対応の良さ | 4. 通勤・送迎の便の良さ |
| 5. 自宅からの距離 | 6. 給食の有無 |
| 7. 保育料その他の費用 | 8. 一日に預けられる時間の長さ |
| 9. 夜間・早朝利用の有無 | 10. 土日・休日利用の有無 |
| 11. 長期休業期間中（夏休み等）の利用の有無 | |
| 12. その他（ ） | |

重視することとして最も意見が多かったのは「自宅からの距離」で、51%と過半数を占めている。以下、「保育者の対応の良さ」46%、「施設環境（立地、設備、園庭等）」44%、「教育・保育の理念や内容」39%、「保育料その他の費用」33%、「通勤・送迎の便の良さ」30%といった回答が多い。



その他の内容	回答数	回答割合
兄弟・友人	4	0.2%
アレルギーについて	2	0.1%
利便性	1	0.1%
信頼	1	0.1%
サポート	1	0.1%
そこしかない	1	0.1%
自身が幼稚園	1	0.1%
その他	3	0.2%

N=1,708(M/A)

図 II-66 定期的な教育・保育事業を選ぶ際に重視すること

6. 地域の子育て支援事業の利用状況等について

問21 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業などを利用していますか。
(当てはまる番号1つに○)

※地域子育て支援拠点事業：親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、柏市内には「地域子育て支援センター」(認定こども園・幼稚園・保育園に併設)、「子育て広場」(しこだ・豊四季台・高柳児童センター)があります。

1. 利用している	① 地域子育て支援拠点事業 (地域子育て支援センター、子育て広場) 1週あたり <input type="text"/> 回 もしくは 1か月当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 回程度
	② 園庭開放や母と子のつどい、近隣センター等で行われている子育てサロン、幼稚園の3歳未満児対象事業、児童センター、民間の子育て広場事業など 1週あたり <input type="text"/> 回 もしくは 1か月当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 回程度
2. 利用していない	利用していない理由(当てはまるものすべてに○) ア. このような事業があることを知らなかった イ. 自宅の近所がない ウ. 必要性を感じない エ. その他()

地域子育て支援拠点事業などを「利用している」は24%、「利用していない」は73%であり、地域子育て支援拠点事業等の利用率は、概ね1/4である。

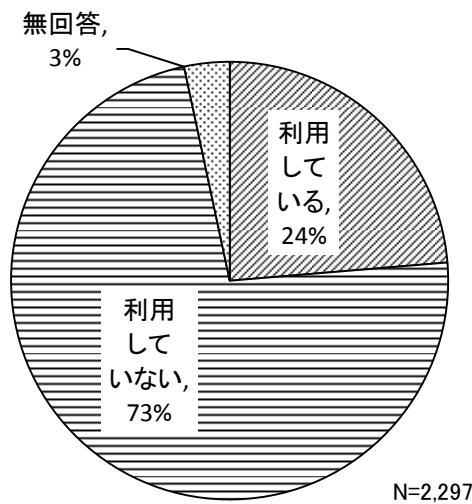


図 II-67 地域の子育て支援事業等の利用状況

II. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

■地域子育て支援拠点事業

週あたり回数では1回が15%、2、3回が3~4%である。

月当たり回数でも1回が20%で最多であり、2回が13%、3回が5%となっている。

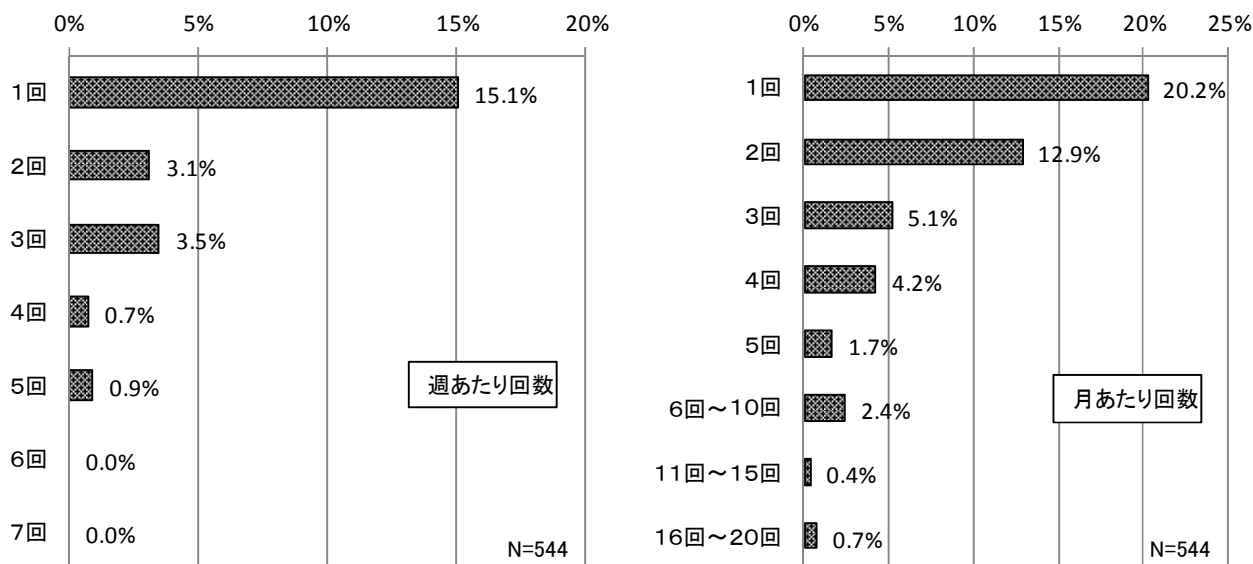


図 II-68 子育て支援事業の利用回数（地域子育て支援拠点事業）

■園庭開放等

週あたり回数では1回が14%、2、3回がそれぞれ2%である。

月当たり回数でも1回が32%で最多であり、2回が15%、3回が6%となっている。

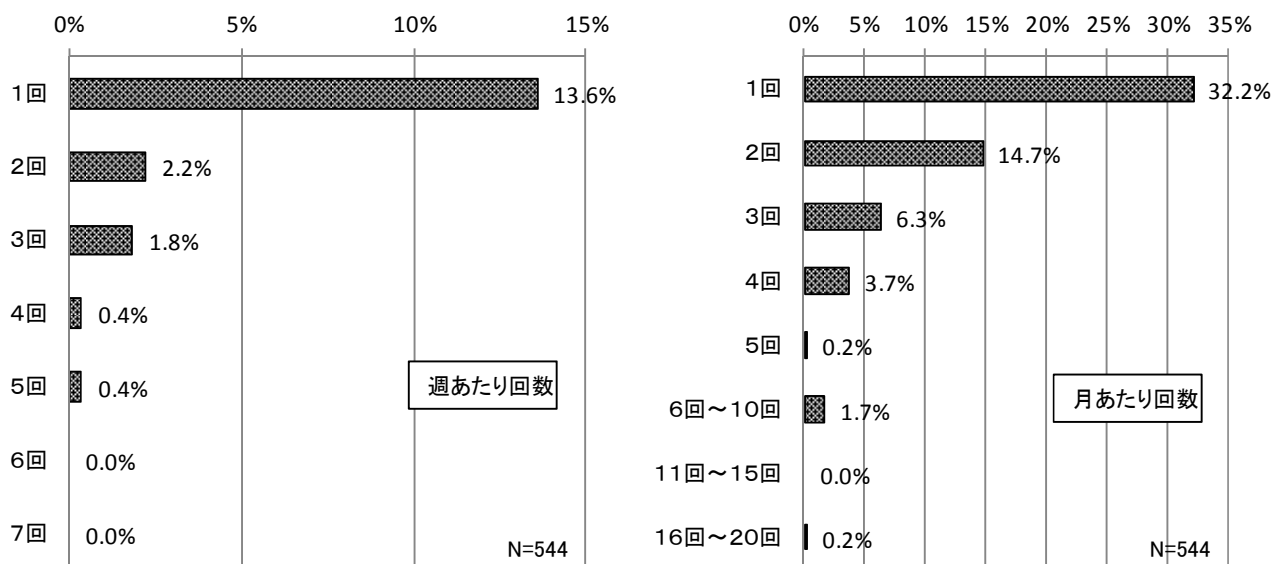


図 II-69 子育て支援事業の利用回数（園庭開放等）

6. 地域の子育て支援事業の利用状況等について

利用していない理由としては、「必要性を感じない」34%、「自宅の近所がない」20%、「このような事業があることを知らなかった」12%となっている。また、「その他」が33%である。

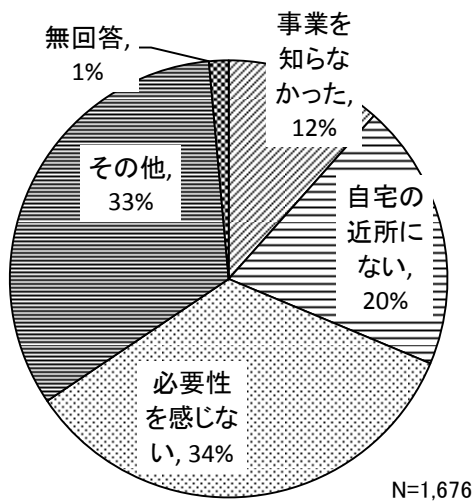


図 II-70 子育て支援事業を利用していない理由

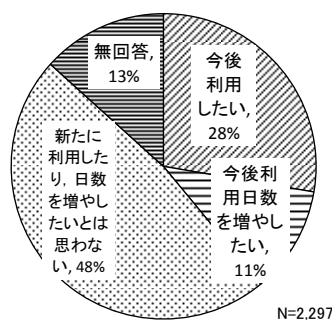
Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

問22

問21の①及び②のような地域子育て支援拠点事業などについて、今は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(当てはまる番号1つに○)

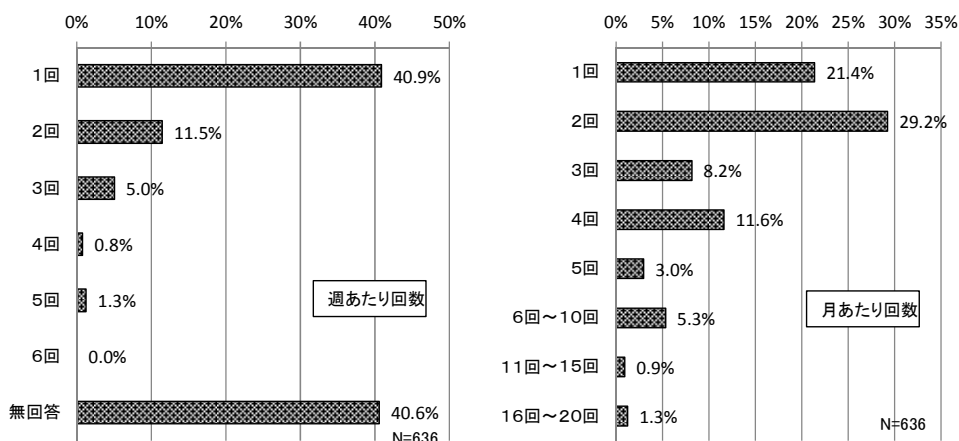
1. 利用していないが、今後利用したい
(今は自宅の近所では実施されていないが、仮に開設されるとした場合を含む)
⇒ 1週あたり 回 もしくは 1か月当たり 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
⇒ 1週あたり更に 回 もしくは 1か月当たり更に 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない

「利用していないが、今後利用したい」とする人は28%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」とする人は11%である。一方、「新たに利用したり、日数を増やしたいとは思わない」とする人が48%となっている。



図Ⅱ-71 子育て支援事業の今後の利用意向

「利用していないが、今後利用したい」とする人の利用意向を見ると、週あたり回数では1回が41%で最も多く、月あたり回数でも2回が29%、1回が21%となっており、高頻度の利用意向は少ない。



図Ⅱ-72 希望する利用回数（利用していないが、今後利用したい）

6. 地域の子育て支援事業の利用状況等について

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」とする人の利用意向を見ると、週あたり回数では1回が38%で最も多く、2回15%、3回6%と、現在利用していない人に比べて頻度が高い。月当たり回数でも2回が22%、3回、4回が14%、あるいは6～10回が9%で、現在利用していない人に比べて頻度が高い。

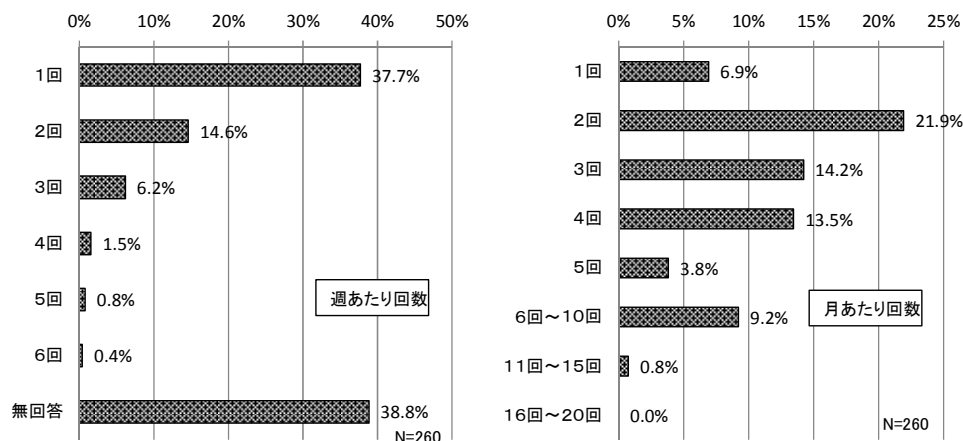


図 II-73 希望する利用回数（すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい）

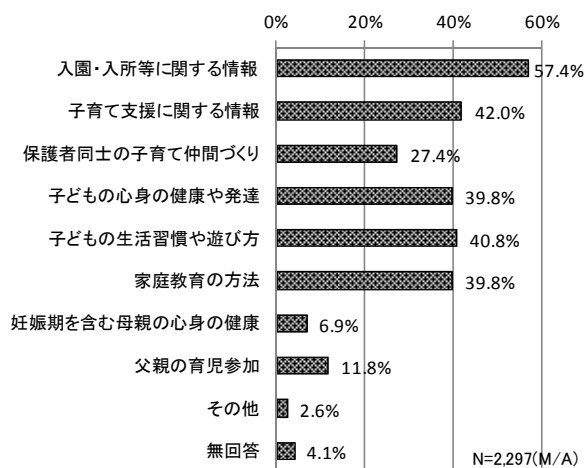
Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

問23

子育てに関して、どのような情報提供や相談・支援を受けたいと思われますか。
(当てはまる番号すべてに○)

- | | |
|---|------------------------------|
| 1. 幼稚園や保育園等への入園・入所等に関する情報(教育・保育内容、空き状況など) | 4. 子どもの心身の健康や発達 |
| 2. 身近な場所で実施されている子育て支援に関する情報 | 6. 家庭教育の方法(しつけ, コミュニケーションなど) |
| 3. 保護者同士の子育て仲間づくり | 8. 父親の育児参加 |
| 5. 子どもの生活習慣や遊び方 | |
| 7. 妊娠期を含む母親の心身の健康 | |
| 9. その他() | |

子育てに関して得たい情報提供や相談・支援では「入園・入所等に関する情報」が58%で最も多く、以下、「子育て支援に関する情報」42%、「子どもの生活習慣や遊び方」41%、「子どもの心身の健康や発達」、「家庭教育の方法」各40%、「保護者同士の子育て仲間づくり」27%といった項目について、ニーズが高い。



その他の内容	回答数	回答割合
特に無し	15	0.7%
イベント・交流	13	0.6%
生活	8	0.3%
親への教育	6	0.3%
子供の遊び場	4	0.2%
医療関連(健診・予防接種・夜間診療etc)	3	0.1%
教育	2	0.1%
緊急時の預け先	2	0.1%
不審者	1	0.0%
その他	3	0.1%

N=2,297(M/A)

図 Ⅱ-74 子育てに関して得たい情報提供や相談・支援

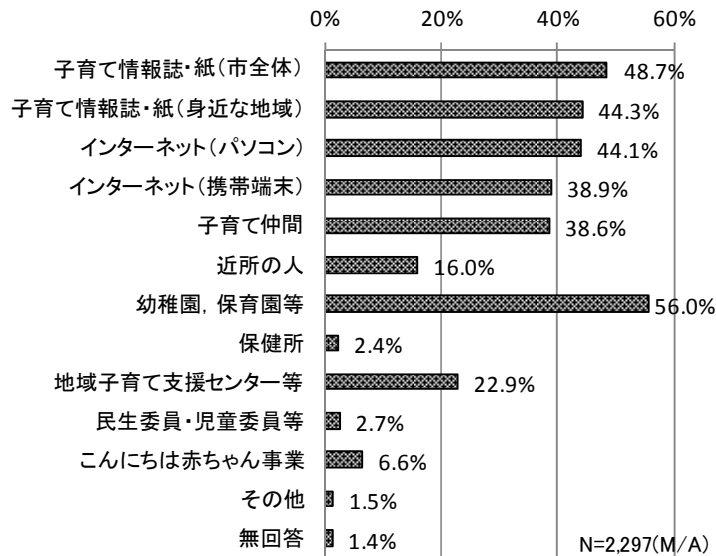
6. 地域の子育て支援事業の利用状況等について

問23-1

子育てに関する情報をどこから得たいですか。（当てはまる番号すべてに○）

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| 1. 子育て情報誌・紙(市全体をまとめた) | 2. 子育て情報誌・紙(身近な地域に関する) |
| 3. インターネット(パソコン) | 4. インターネット(携帯端末) |
| 5. 子育て仲間 | 6. 近所の人 |
| 7. 幼稚園, 保育園等 | 8. 保健所 |
| 9. 地域子育て支援センター, 母と子のつどい, 子育てサロン等 | |
| 10. 民生委員・児童委員, 主任児童委員 | |
| 11. 柏市民健康づくり推進員(こんにちは赤ちゃん事業) | |
| 12. その他() | |

情報源の希望としては、「幼稚園、保育園等」とする回答が56%で最も多く、以下、「子育て情報誌・紙（市全体）」49%、「子育て情報誌・紙（身近な地域）」および「インターネット（パソコン）」44%、「インターネット（携帯端末）」および「子育て仲間」39%の順となっている。



その他の内容	回答数	回答割合
家族・親類	9	0.4%
回覧・郵便	6	0.3%
図書館・学校	3	0.1%
友人	2	0.1%
職場	2	0.1%
その他	11	0.5%

N=2,297(M/A)

図 II-75 子育てに関して利用したい情報源

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

問23-2

子育てに関して、子どもや保護者からの相談に応じ、必要な情報の提供・助言をしたり、様々な支援を円滑に利用できるよう調整・案内したりするような事業(=利用者支援事業)が身近な場所(地域子育て支援拠点など)にあった場合、利用したいと思いますか。
(当てはまる番号1つに○)

1. 利用したい

2. 特に利用したいと思わない

「利用したい」が75%を占めており、利用意向は高い。

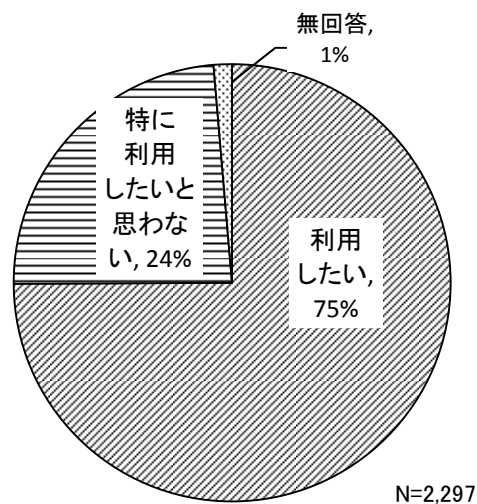


図 Ⅱ- 76 利用者支援事業の利用意向

7. 休日等の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について

7. 休日等の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について

問24 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

土曜（当てはまる番号1つに○）	日曜・祝日（当てはまる番号1つに○）
1. 利用希望はない	1. 利用希望はない
2. ほぼ毎週利用したい	2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に数日利用したい	3. 月に数日利用したい

利用したい時間帯	利用したい時間帯
□□時から□□時まで	□□時から□□時まで

土曜日については、「ほぼ毎週利用したい」が7%、「月に数日利用したい」が16%である。

日曜・祝日についても「ほぼ毎週利用したい」が2%、「月に数日利用したい」が12%で、いずれも月数回の利用意向がやや高くなっている。

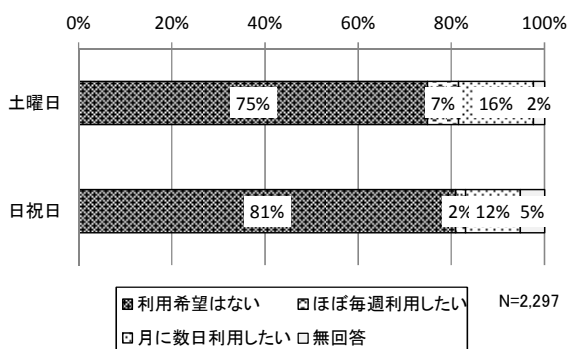


図 II-77 「定期的な」教育・保育事業の利用希望

土曜日の利用希望時刻は、開始は9時台が39%で最も多く、8時台の31%が続いている。終了については17時台の25%が最多で、以下、18時台22%、19時台14%となっている。

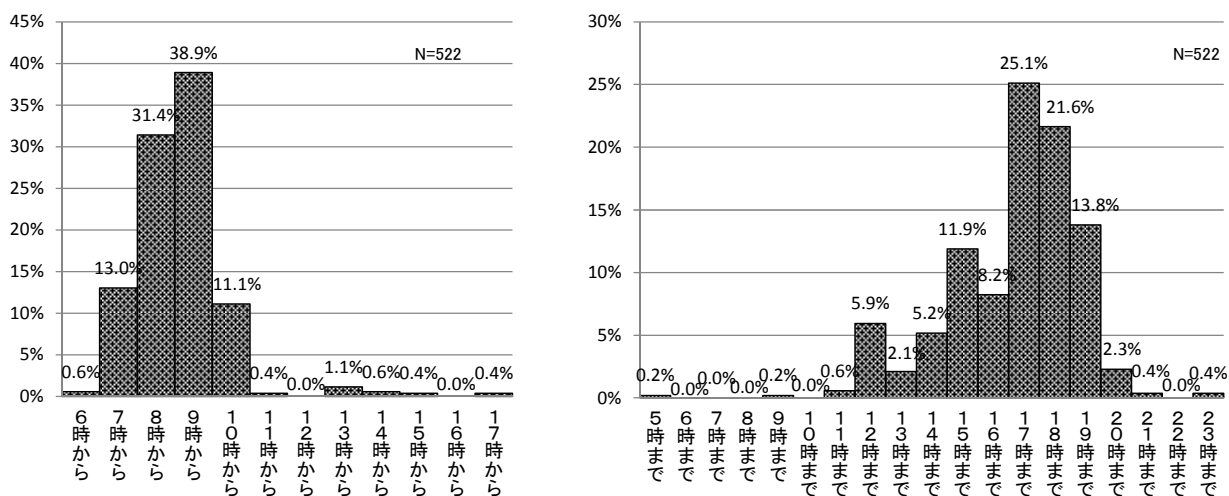


図 II-78 土曜日の利用希望時刻

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

日曜・祝日の利用希望時刻は、開始は9時台が39%で最も多く、8時台の29%が続いている。終了については17時台の24%が最多で、以下、18時台23%、19時台17%となっている。

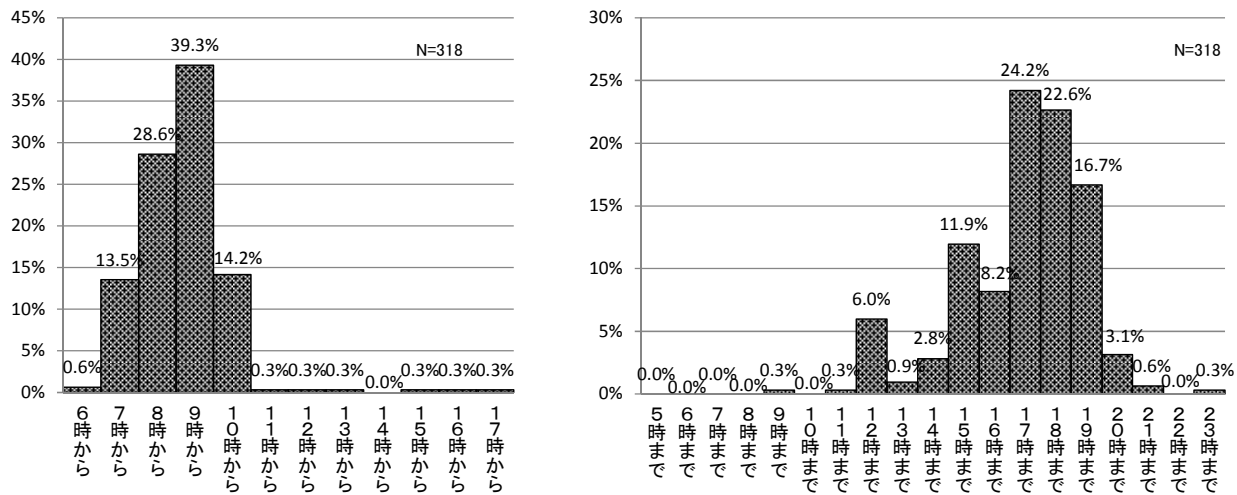


図 Ⅱ-79 日曜・祝日の利用希望時間

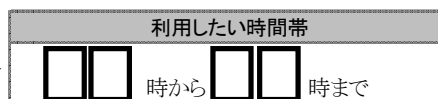
7. 休日等の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について

問25

宛名のお子さんが幼稚園を利用されている方にかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど幼稚園の長期休業期間中の教育・保育の事業の利用希望はありますか。
(当てはまる番号1つに○)

※幼稚園の預かり保育の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用希望はない
2. 休業期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休業期間中、週に数日利用したい



「利用希望はない」81%に対し、利用希望ありは19%で、利用希望がある人は、すべて「休業期間中、ほぼ毎日利用したい」としている。

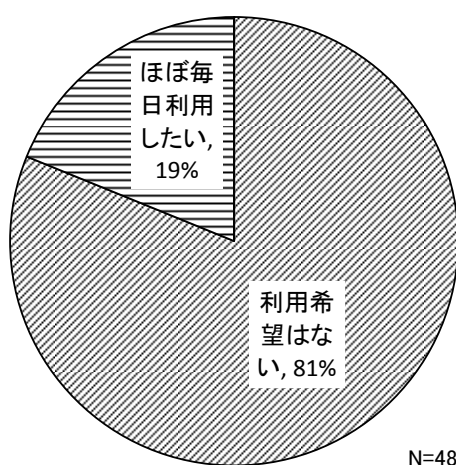


図 II-80 長期休業期間中の利用意向

利用希望の内訳を見ると、開始時刻については9時台と10時台の意向が多く、この2時間帯で全体の80%を占めている。終了時刻については、17時台が31%で最も多く、以降19時台までの意向が見られるほか、15時台についても14%の意向が見られる。

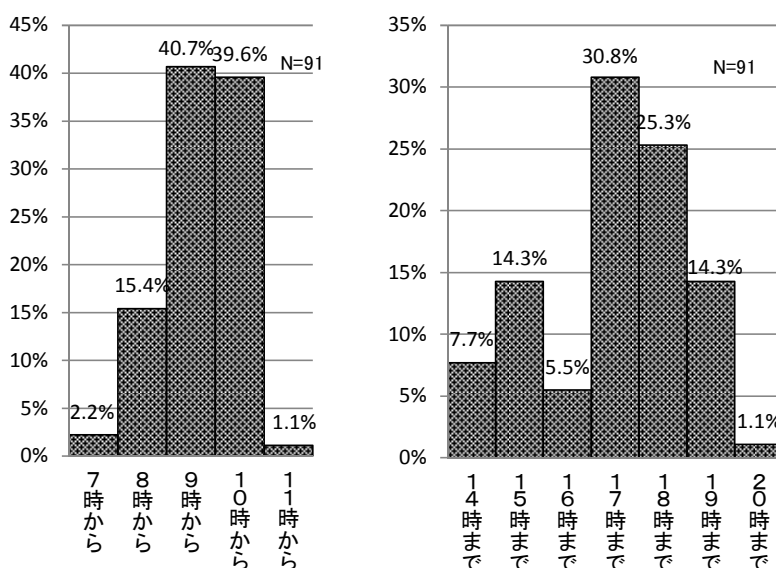


図 II-81 長期休業中の利用希望時間

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

8. 病気の際の対応について

問26

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業を利用できなかったことはありますか。(当てはまる番号1つに○)

1. あった

2. なかった

……▶ 問26-6△

※問26（枝問含む）は、問19で定期的な教育・保育事業を利用していると答えた人が対象になる設問で、該当者数（N）は1,222である。

本設問に該当する回答者のうち、75%が「あった」と回答している。

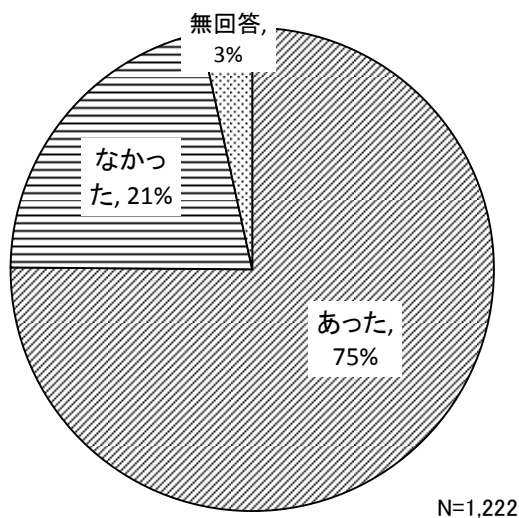


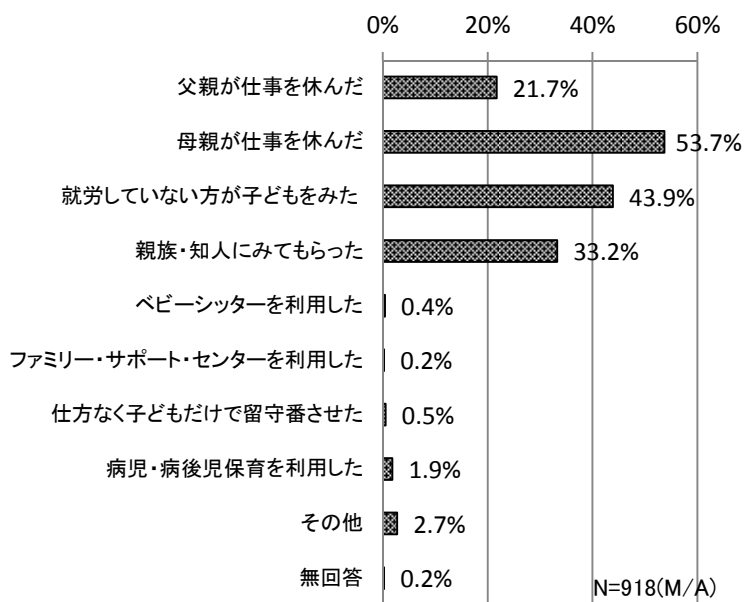
図 Ⅱ- 82 病気・ケガによる教育・保育事業が利用できなかったことの有無

問26-1

問26で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんが普段利用している教育・保育事業を利用できなかったときに、この1年間、どのように対応されましたか。

対応方法(当てはまる番号すべてに○)	日数
1. 父親が仕事を休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
2. 母親が仕事を休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
3. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
4. 親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
5. ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
6. ファミリー・サポート・センターを利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
7. 仕方なく子どもだけで留守番させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
8. 病児・病後児保育を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
9. その他()	<input type="text"/> <input type="text"/> 日程度

回答が最も多かったのは「母親が仕事を休んだ」の54%で、以下、「就労していない方が子どもをみた」44%、「親族・知人にみてもらった」33%、「父親が仕事を休んだ」22%の4つが20%を超えている。



その他の内容	回答数	回答割合
家での勤務の為	3	0.3%
たまたま休みだった	2	0.2%
職場へ連れて行った	2	0.2%
その他	15	1.6%

N=918(M/A)

図 II-83 利用できなかった時の対応

II. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

それぞれの該当日数をみると、いずれも10日以内の回答が多いが、該当者の多かった「1. 父親が仕事を休んだ」、「2. 母親が仕事を休んだ」、「3. 就労していない方が子どもをみた」、「4. 親族・知人にみてもらった」の4つについて見ると、「1. 父親が仕事を休んだ」のケースでは1日が28%で最も多く、回答の84%が5日以内であるのに対し、「2. 母親が仕事を休んだ」は10日が20%で最も多く、5日以内は54%である。

「3. 就労していない方が子どもをみた」についても10日が24%で最も多く、5日以内は50%である。

「4. 親族・知人にみてもらった」では、10日が18%で最も多いが、2日も17%であり、5日以内が60%である。

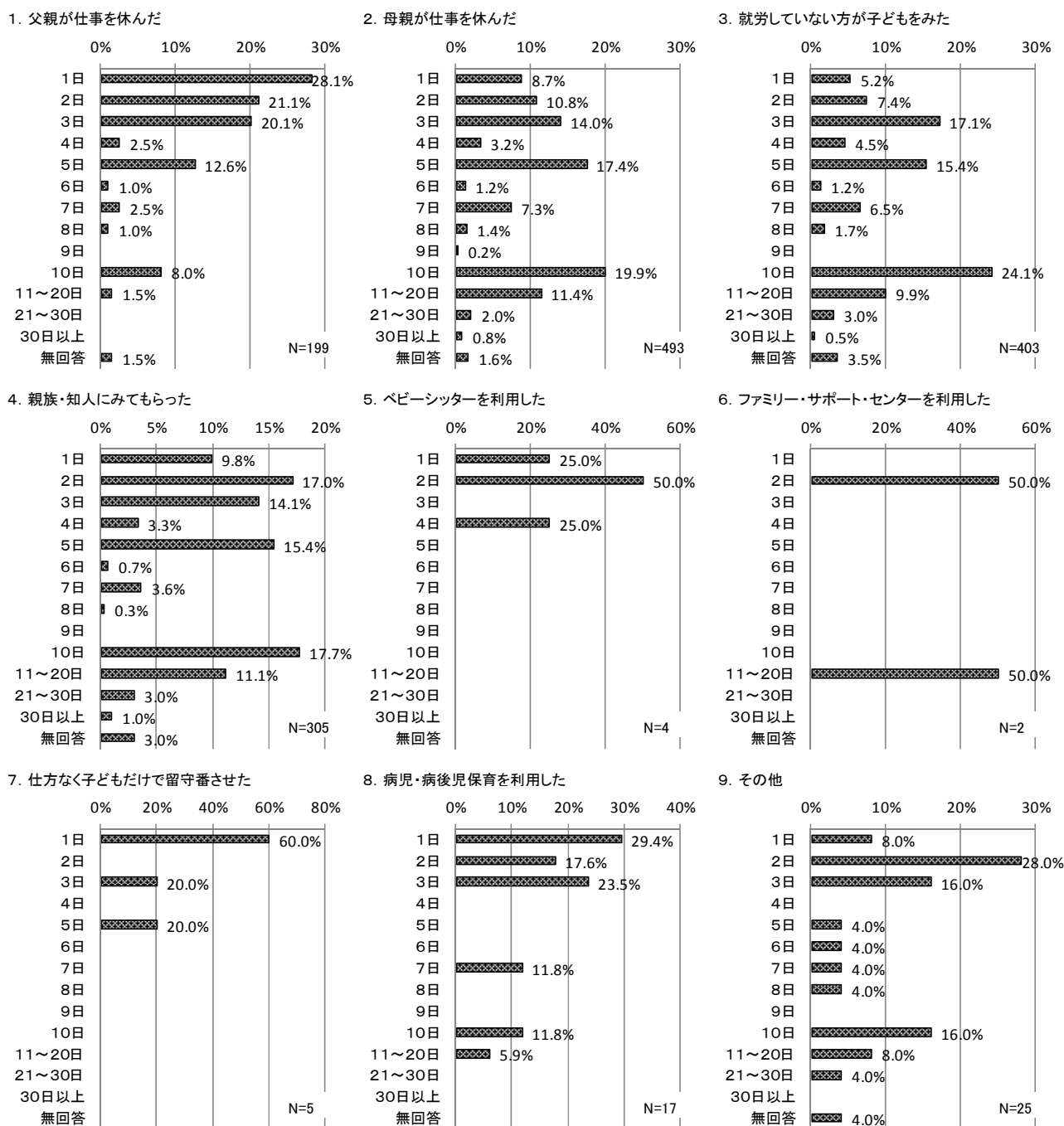


図 II-84 利用できなかった日数（対応別）

問26-2 問26-1で「1, 2, 4, 5, 6, 7, 9」(3, 8, 以外)に○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
(当てはまる番号1つに○)

※なお、病児・病後児保育施設の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にはかかりつけ医の受診が必要です。また、柏市内の施設は、病後児のみに対応した施設が1か所のみです。

1. できれば利用したかった▶	希望日数 □□ 日程度
2. 利用したいと思わなかった▶	問26-4へ

「できれば利用したかった」の38%に対し、「利用したいと思わなかった」は53%である。

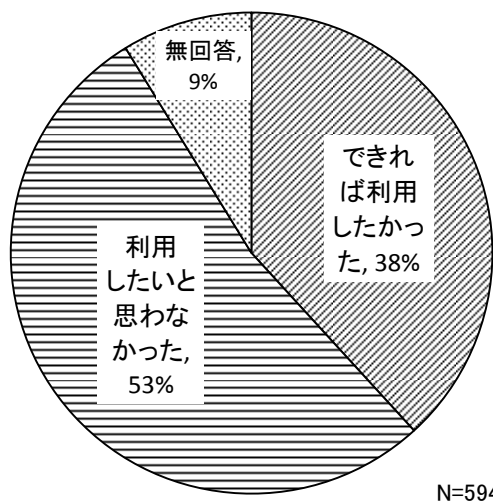


図 II- 85 病児・病後児のための保育施設等を利用したかったか

「できれば利用したかった」とする人の希望日数をみると、「3日」が20%で最も多いが、「5日」19%、「10日」18%、「2日」17%といった回答も多い。

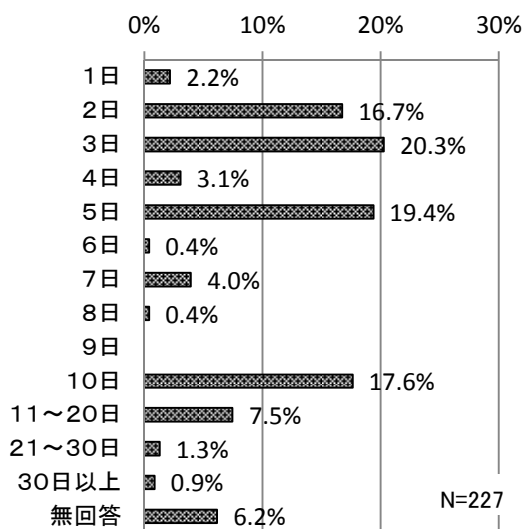


図 II- 86 病児・病後児のための保育施設等を利用したかった日数

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

問26-3

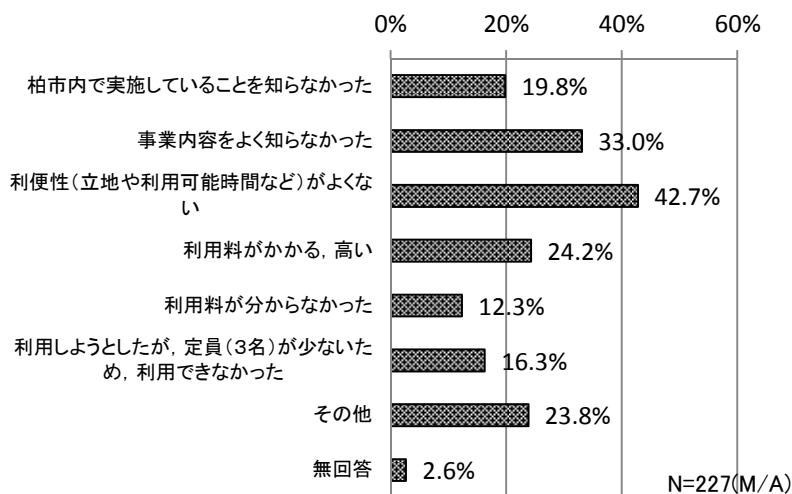
問26-2で「1. できれば利用しなかった」に○をつけた方にうかがいます。利用しなかった理由は何ですか。（当てはまる番号すべてに○）

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| 1. 柏市内で実施していることを知らなかった | 2. 事業内容をよく知らなかった |
| 3. 利便性(立地や利用可能時間など)がよくない | 4. 利用料がかかる, 高い |
| 5. 利用料が分からなかった | |
| 6. 利用しようとしたが, 定員(3名)が少ないため, 利用できなかった | |
| 7. その他() | |

利用しなかった理由をみると、「利便性（立地や利用可能時間など）がよくない」が43%で最も多い。

施設の存在や内容の認知にかかる回答としては、「事業内容をよく知らなかった」33%、「柏市内で実施していることを知らなかった」20%となっており、利用料についても「利用料が分からなかった」12%となっている。

一方、利用料を理由に利用しなかった回答としては、「利用料がかかる、高い」が24%である。また、「利用しようとしたが、定員（3名）が少ないため、利用できなかった」も16%である。



その他の内容	回答数	回答割合
登録・手続きが面倒	16	7.0%
断られた	6	2.6%
子供がかわいそうで	5	2.2%
病後ではなく病児だった為	4	1.8%
別の保育園・知らない人	3	1.3%
急・突然な為	3	1.3%
利用方法	3	1.3%
感染症・インフルエンザだった為	2	0.9%
別の施設	1	0.4%
休めた為	1	0.4%
他の病気が心配	1	0.4%
その他	8	3.5%

N=227(M/A)

図 Ⅱ- 87 病児・病後児のための保育施設等を利用しなかった理由

問26-4 問26-1で「3.」から「9.」のいずれか(仕事を休まずに対応した)に○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思われましたか。
(当てはまる番号1つに○)

1. できれば仕事を休んで子どもをみたい→	休みたかった日数 □□日	↓
2. 仕事を休んで子どもをみることは非常に難しい			問26-6へ

「できれば休んで子どもをみたい」は13%、「仕事を休んで子どもをみることは非常に難しい」は24%で、休みたいと思いつつも休めないという回答が多い。

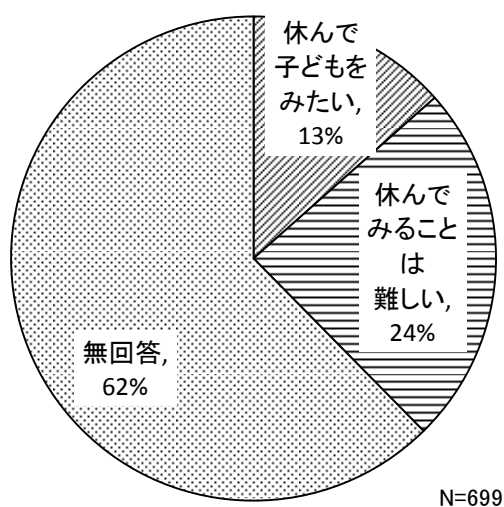


図 II- 88 休んで子どもをみたかったか

休みたかった日数としては、3日が20%で最も多く、以下、10日が16%、2日が14%、5日が13%の順となっており、5日以下の回答が57%を占めている。

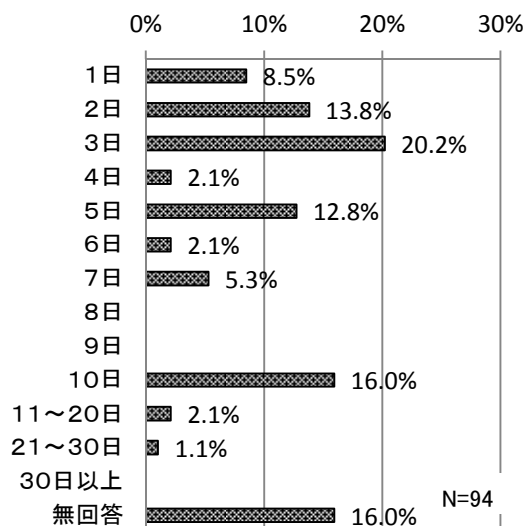


図 II- 89 休みたかった日数

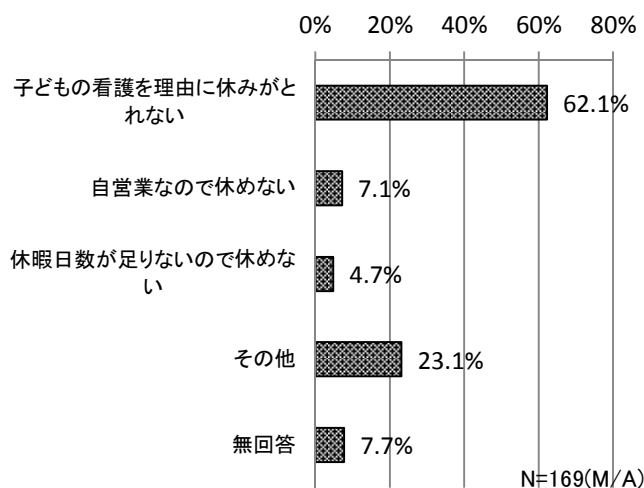
Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

問26-5

問26-4で「2. 仕事を休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由は何ですか。（当てはまる番号すべてに○）

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | 4. その他() |

「子どもの看護を理由に休みがとれない」が62%で過半数を占めており、「自営業なので休めない」7%、「休暇日数が足りないので休めない」5%といった回答は少数である。



その他の内容	回答数	回答割合
専業主婦・主夫	17	10.1%
出張中	2	1.2%
忙しい	1	0.6%
一人で十分	1	0.6%
その他	13	7.7%

N=169(M/A)

図 II-90 休んで子どもの面倒をみるのが難しい理由

問26-6

病児・病後児保育施設についてお聞きます。現在柏市内には、病気の回復期にある児童を預かる病後児保育施設が1か所(柏駅近く)ありますが、今後新たな施設が必要だと思いますか。

(当てはまる番号1つに○)

1. 病児(病氣中)と病後児(回復期)の両方に対応した施設が必要
2. 病児(病氣中)のみに対応した施設が必要
3. 病後児(回復期)のみに対応した施設の増設が必要
4. 必要ない

「病児(病氣中)・病後児(回復期)の両方に対応した施設が必要」が68%で半数以上を占めている他、「病後児(回復期)のみに対応した施設の増設が必要」が9%、「病児(病氣中)のみに対応した施設が必要」が2%で、何らかの施設が必要だと思うという回答が8割を占めている。一方、「必要ない」という回答は11%である。

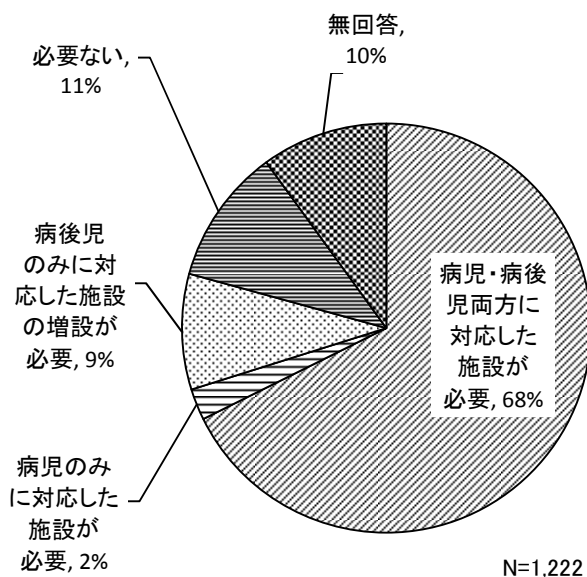


図 II-91 病児・病後児施設の必要性

II. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

9. 不定期の教育・保育事業等の利用について

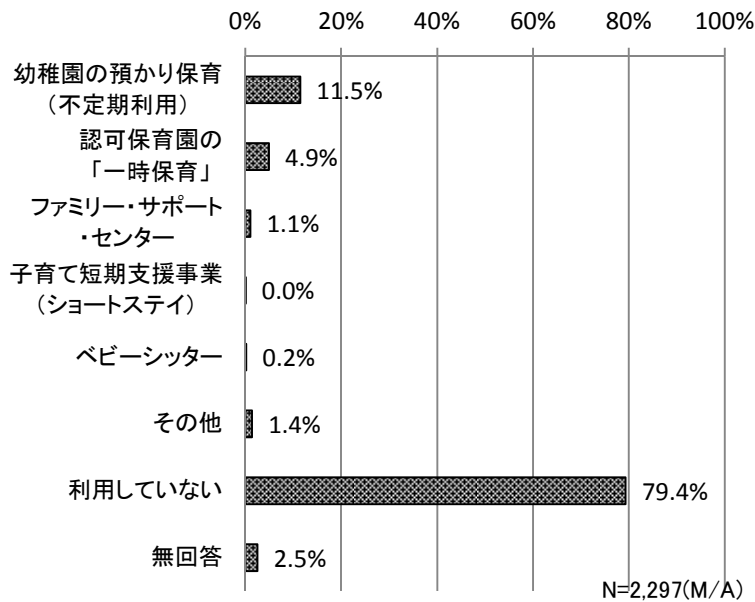
問27 宛名のお子さんについて、就労以外の理由(冠婚葬祭、リフレッシュ、保護者の方の通院等)や不定期の就労で、不定期に利用している事業はありますか。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

対応方法(当てはまる番号すべてに○)	日数
1. 幼稚園の預かり保育(不定期に利用する場合のみ) (通常の就園時間の開始前・終了後に園児を預かる事業)	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
2. 認可保育園の「一時保育」 (保育園で一時的に子どもを預かる事業)	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
3. ファミリー・サポート・センター (会員登録した地域住民が子どもを預かる事業)	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
4. 子育て短期支援事業(ショートステイ) (児童養護施設等で休日・夜間に子どもを保護する事業)	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
5. ベビーシッター	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
6. その他()	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
7. 利用していない	

「利用していない」が79%を占めている。

利用されている事業では、「幼稚園の預かり保育(不定期利用)」が12%、「認可保育園の「一時保育」」が5%、「ファミリー・サポート・センター」が1%となっている。



その他の内容	回答数	回答割合
認可外保育施設	15	0.7%
親族	4	0.2%
認可保育ルーム	4	0.2%
習い事	1	0.0%
断られた	1	0.0%
会社・事業所内の保育施設	0	0.0%
その他	4	0.2%

N=2,297(M/A)

図 II-92 不定期の教育・保育事業等の利用状況

9. 不特定の教育・保育事業等の利用について

利用数が比較的多い「1. 幼稚園の預かり保育（不定期利用）」、「2. 認可保育園の「一時保育」」、「3. ファミリー・サポート・センター」の3つについて見ると、「1. 幼稚園の預かり保育（不定期利用）」については10日が19%で最も多く、以下、5日が17%、3日が16%となっている。

「2. 認可保育園の「一時保育」」では、5日が14%で最も多いが、11～20日が13%、3日が12%、1日が12%と、利用が分散している。

「3. ファミリー・サポート・センター」も同様に5日が16%であるが、1日と10日が12%となっている。

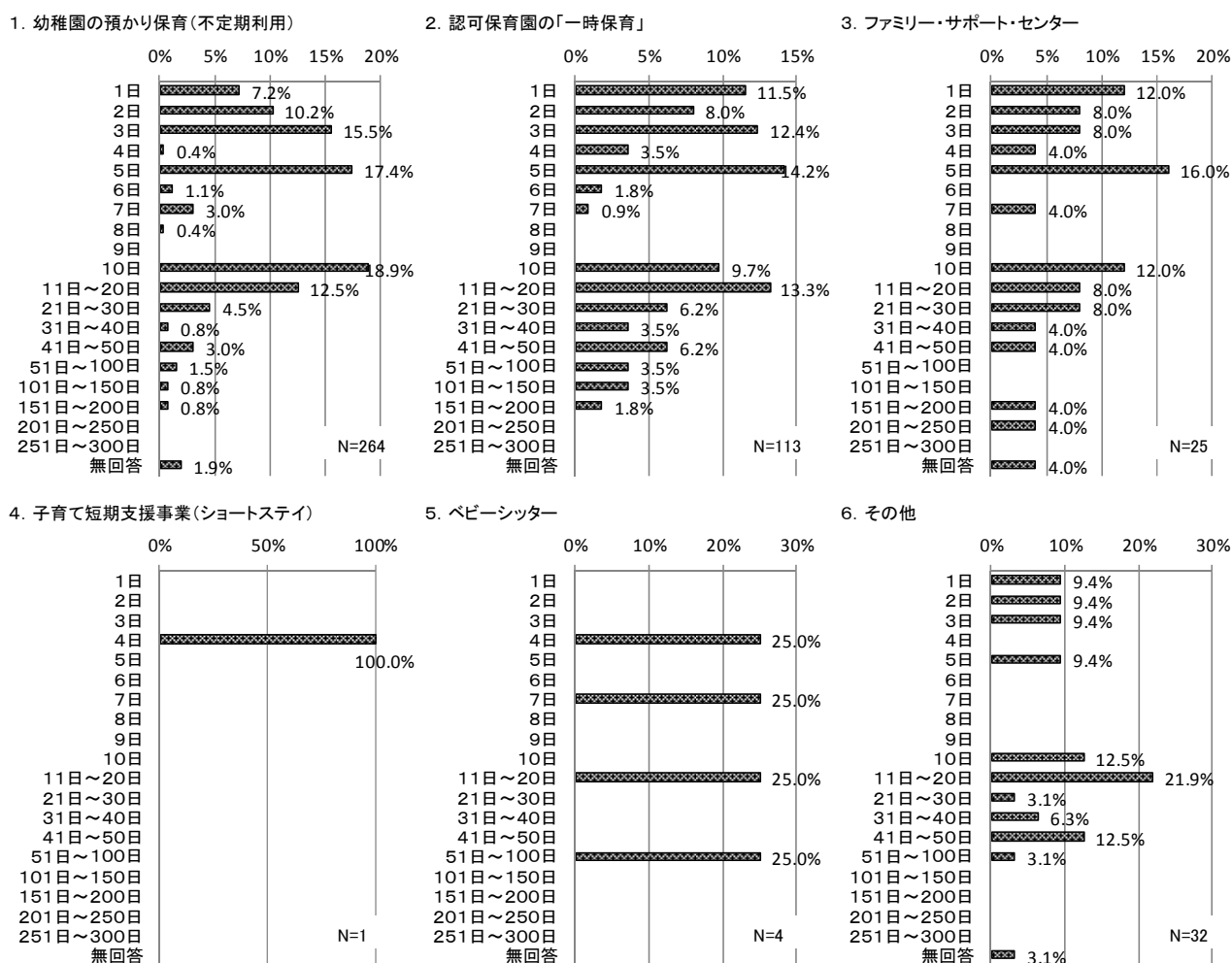


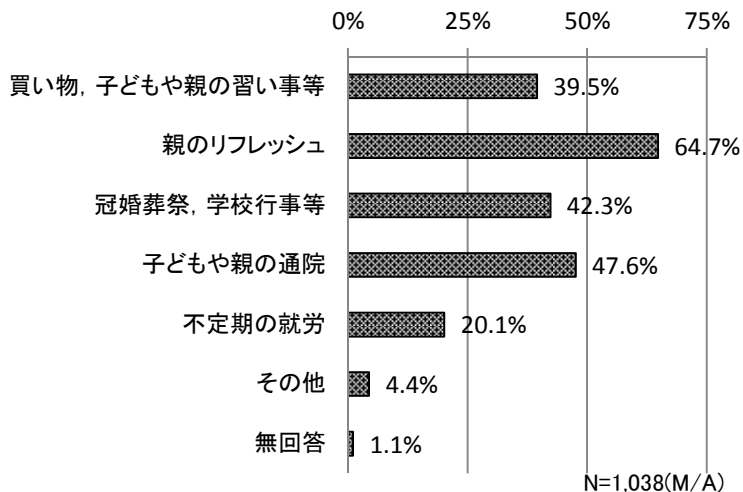
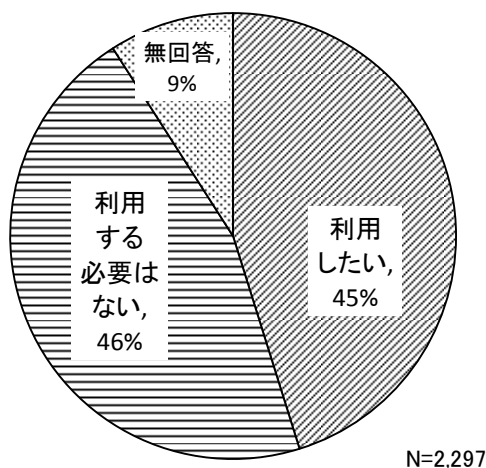
図 II- 93 不特定の教育・保育事業等の利用日数

II. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

問28 宛名のお子さんについて、就労以外の理由(冠婚葬祭, リフレッシュ, 保護者の方の通院等)や不定期の就労で、年間何日くらい事業(問27の1~6の事業)を利用する必要があると思いますか。

1. 利用したい	利用の理由(当てはまるものすべてに○)	日数
	ア. 買い物, 子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
	イ. 親のリフレッシュ	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
	ウ. 冠婚葬祭, 学校行事等	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
	エ. 子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
	オ. 不定期の就労	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
	カ. その他()	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
2. 利用する必要はない		

「利用したい」が45%、「利用する必要はない」が46%で、利用意向はほぼ1/2となっている。利用の理由としては、「親のリフレッシュ」が65%で最も多く、以下、「子どもや親の通院」が48%、「冠婚葬祭、学校行事等」が42%、「買い物、子どもや親の習い事等」が40%、「不定期の就労」が20%の順となっている。



その他の内容	回答数	回答割合
親の病気・体調不良	8	0.8%
就労	4	0.4%
障害・介護etc	3	0.3%
就職活動	2	0.2%
出産	2	0.2%
その他	19	1.8%

N=1,038(M/A)

図 II-94 不定期の教育・保育事業等の利用意向

9. 不定期の教育・保育事業等の利用について

理由別に希望日数をみると、「買い物、子どもや親の習い事等」では、10日が20%、11～20日が22%で、10～20日に集中している。

「親のリフレッシュ」も同様に10日が18%、11～20日が30%で、10～20日に集中している。

「冠婚葬祭、学校行事等」は、5日が22%で最も多く、3日と10日が19%の順である。

「子どもや親の通院」は10日が27%で最も多く、5日が18%でこれに続いている。

「不定期の就労」は10日が16%で最も多く、次いで5日と51～100日が11%である。これ以下も、11日以上の希望が多い。

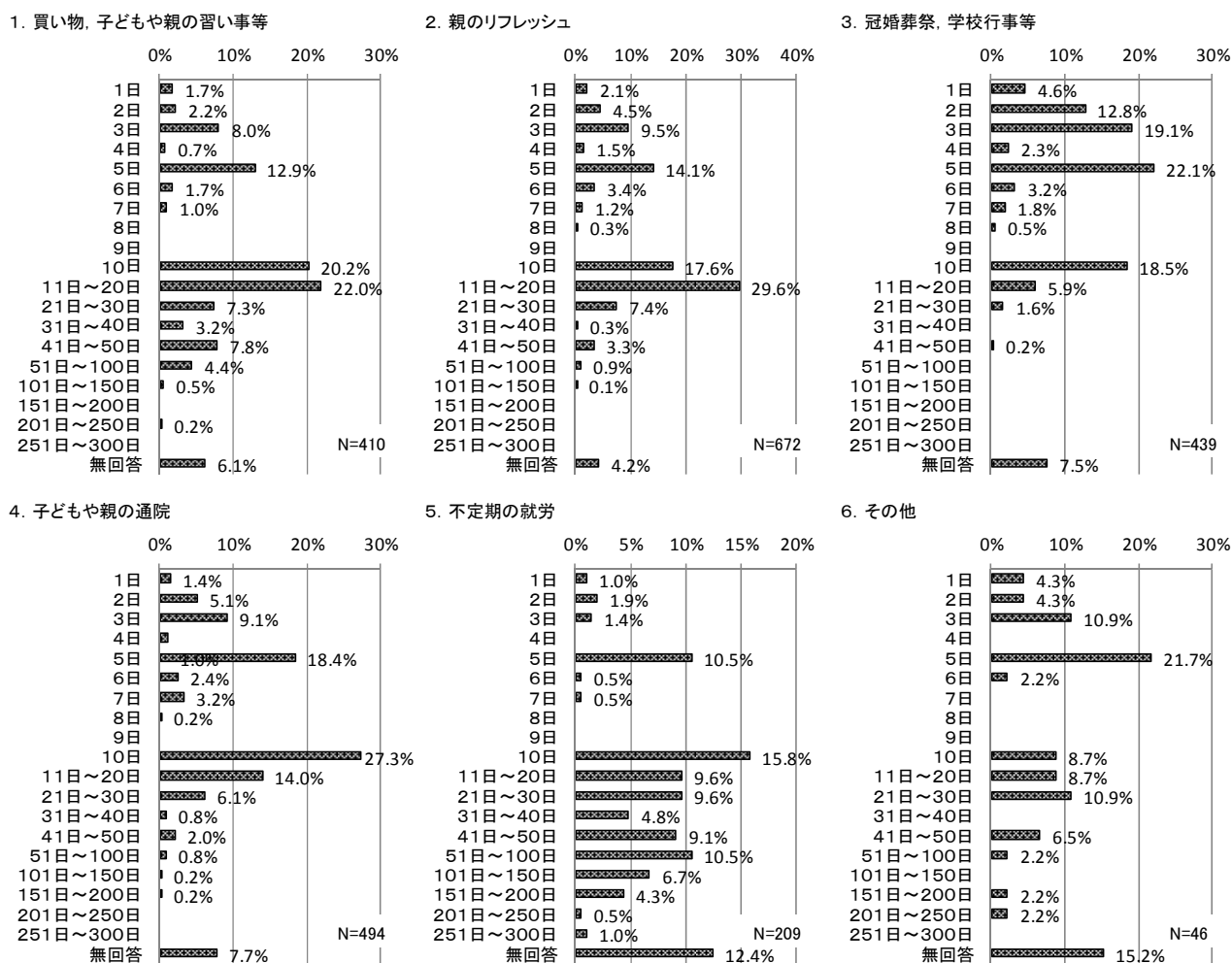


図 II-95 不定期の教育・保育事業等の利用希望日数

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

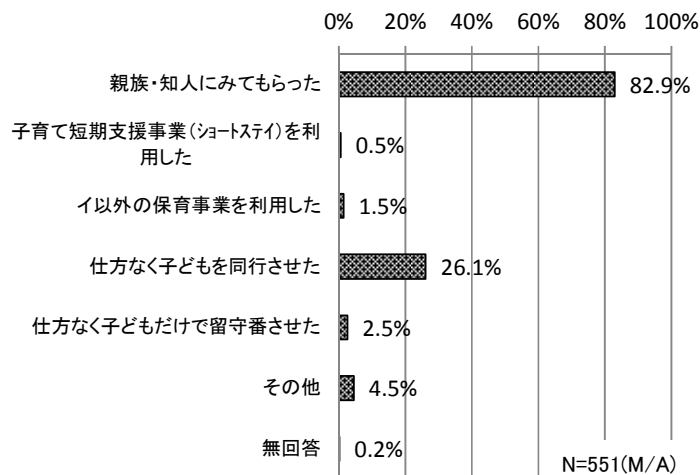
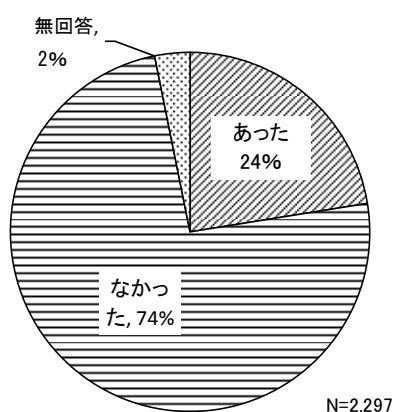
問29 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、どのように対応されましたか。

1. あった	対応方法(当てはまるものすべてに○)	日数
	ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	年間 <input type="text"/> 日程度
	イ. 子育て短期支援事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間子どもを保護する事業)	年間 <input type="text"/> 日程度
	ウ. イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	年間 <input type="text"/> 日程度
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	年間 <input type="text"/> 日程度
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番させた	年間 <input type="text"/> 日程度
	カ. その他()	年間 <input type="text"/> 日程度
2. なかった		

「あった」が22%、「なかった」が74%である。

「あった」とする人の対応方法では、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が83%で最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の26%となっている。

何らかの事業を利用したという回答は、「子育て短期支援事業(ショートステイ)を利用した」が0.5%、「子育て短期支援事業(ショートステイ)以外の保育事業を利用した」が1.5%で、少ない。



その他の内容	回答数	回答割合
用事をキャンセルした	7	1.4%
その他	16	3.1%

N=551(M/A)

図 Ⅱ- 96 子どもを泊りがけで家族以外に見てもらおうこと

9. 不定期の教育・保育事業等の利用について

回答が多かった「1. 親族・知人にみてもらった」と「4. 仕方なく子どもを同行させた」についてみると、「1. 親族・知人にみてもらった」は2日が15%で最も多く、3日が15%、1日と5日が14%と、短期間が多い。また、10日を超える回答では、10日が13%、11～20日が8%となっている。

「4. 仕方なく子どもを同行させた」については、3日が20%で最も多く、2日が17%、5日が16%となっている。また、10日を超える回答は少ない。

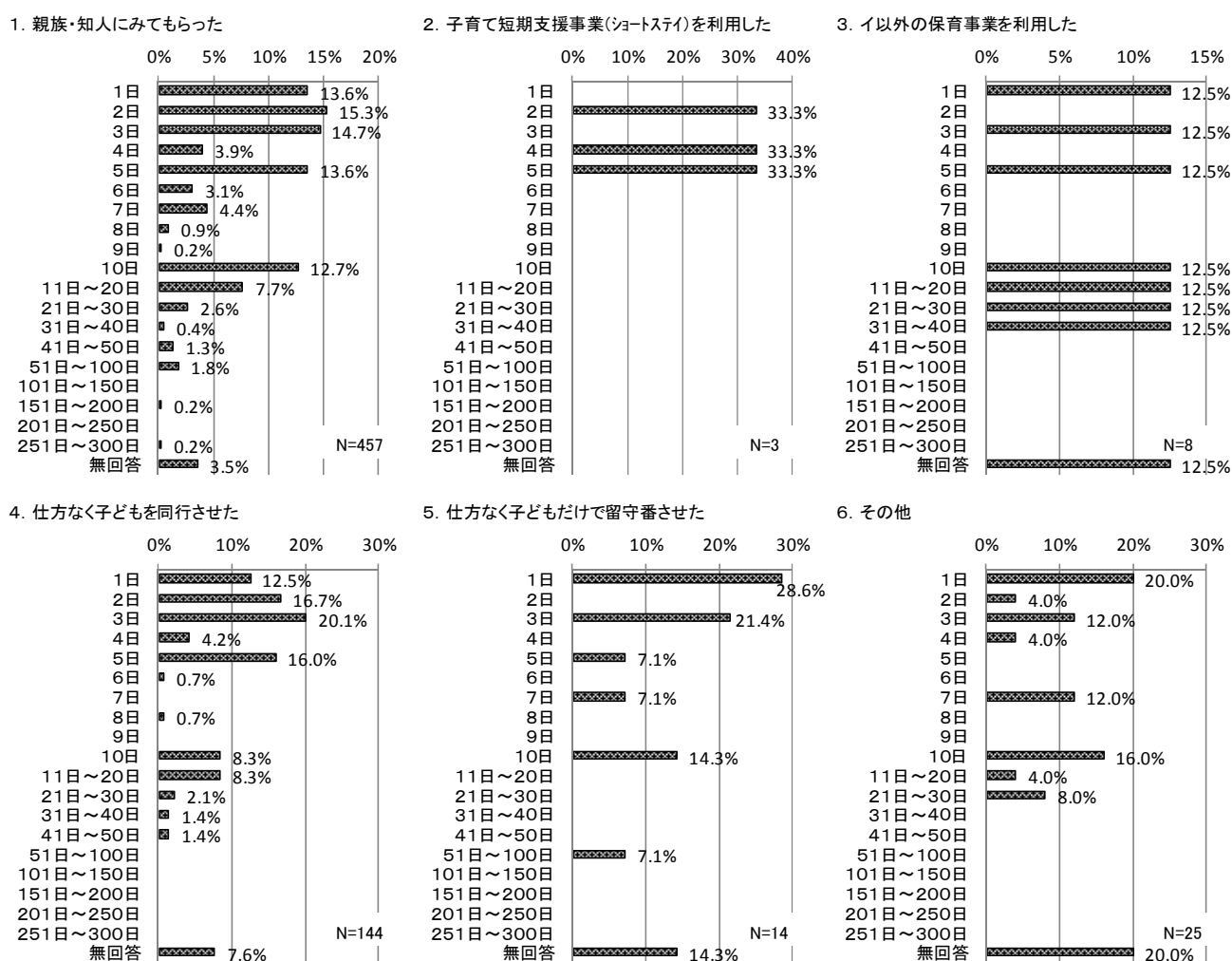


図 II-97 子どもを泊りがけで家族以外に見てもらった日数

II. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

10. 放課後の過ごし方について

※問30～32は、子どもが5歳以上の人が対象になる設問である。

問30

宛名のお子さんについて、小学校に上がった後、放課後(平日の授業終了後)の時間を、どのような場所で、どのくらい過ごさせたいと思いますか。低学年(1～3年生)、高学年(4～6年生)のそれぞれについてお答えください。

※こどもルームの利用には、一定の利用者負担が発生します。

放課後に過ごす場所 (当てはまる番号すべてに○)	過ごさせたい日数等	
	低学年(1～3年生)	高学年(4～6年生)
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日程度	週 <input type="text"/> 日程度
2. 祖父母・親戚宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日程度	週 <input type="text"/> 日程度
3. 習い事(ピアノ教室, スポーツクラブ, 学習塾など)	週 <input type="text"/> 日程度	週 <input type="text"/> 日程度
4. 部活動	—	週 <input type="text"/> 日程度
5. 放課後こども教室(※)	週 <input type="text"/> 日程度	週 <input type="text"/> 日程度
6. 児童センター	週 <input type="text"/> 日程度	週 <input type="text"/> 日程度
7. こどもルーム(※)	週 <input type="text"/> 日程度 →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで	週 <input type="text"/> 日程度 →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
8. その他(校庭, 近隣センター, 図書館, 公園など)	週 <input type="text"/> 日程度	週 <input type="text"/> 日程度
9. わからない	—	—

※「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校などで学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組みです。

※「こどもルーム」…地域によって学童保育、放課後児童クラブなどと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するもの。

放課後に過ごさせたい場所としては、「習い事」が60%で最も多く、「自宅」が59%で、この2つがとりわけ多い。次いで、「部活動」が35%、「こどもルーム」が33%の順となっている。

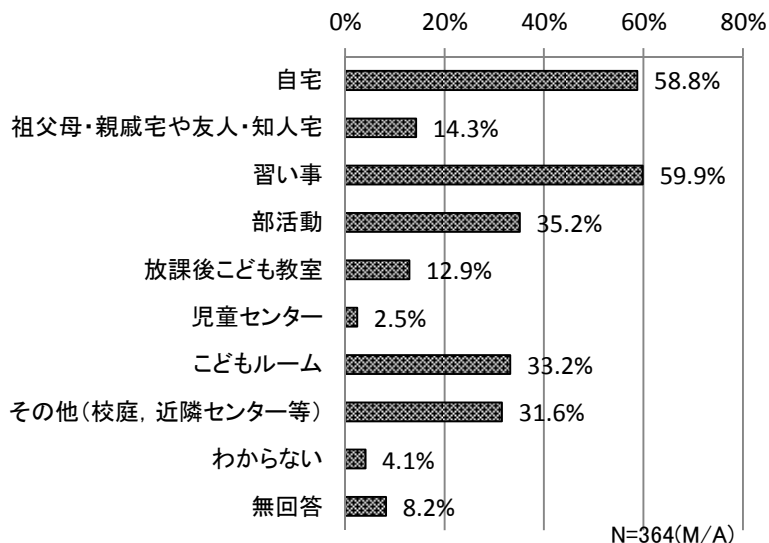


図 II-98 放課後に過ごさせたい場所

上位の「習い事」、「自宅」、「部活動」、「こどもルーム」の4つについて、過ごさせたい日数を見ると、「習い事」については、低学年では2日が37%、1日が34%あるが、高学年では2日が32%、1日が20%と若干低下する。

「自宅」は、低学年では3日、5日、2日がともに21%あり、1日が12%、4日が8%の順となっている。高学年では2日が18%で最も多く、1日が14%で低学年より高いほかは、いずれも低学年より低い。

「部活動」は高学年のみであるが、3日が34%、5日が23%の順となっている。

「こどもルーム」については、低学年、高学年とも5日が最も多く、低学年の場合には53%と半数を超えており、高学年は19%である。

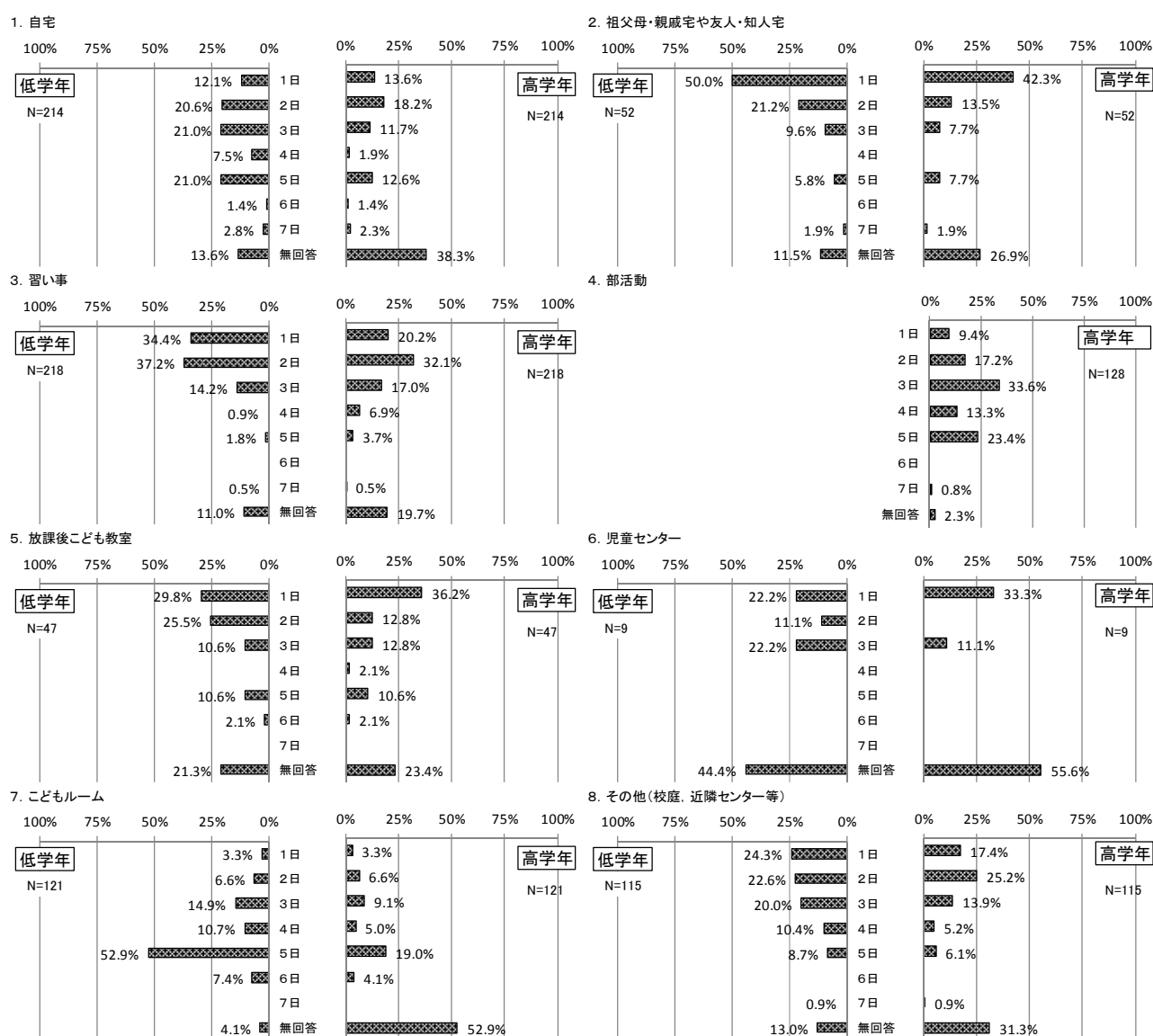


図 II-99 放課後に過ごさせたい場所別希望日数

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

こどもルームの利用したい時間をみると、低学年、高学年とも18時までが最も多く、低学年で38%、高学年で21%である。

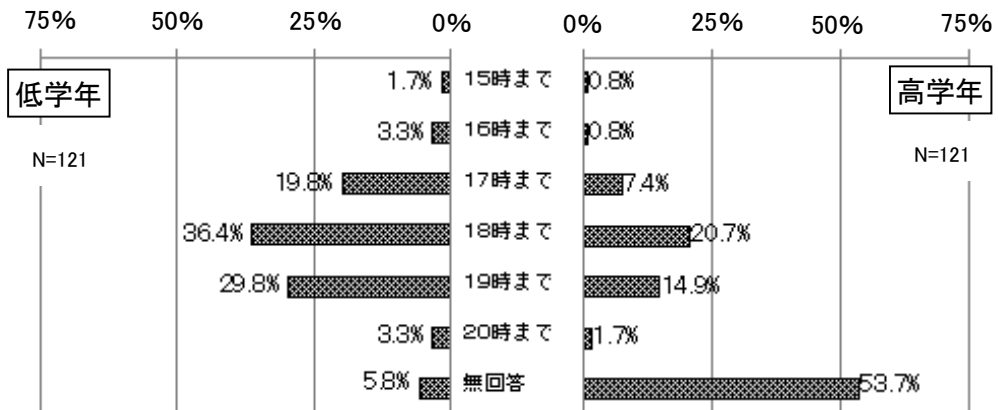


図 Ⅱ- 100 こどもルームの利用希望時間帯

問31 問30で「7. こどもルーム」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜、日曜・休日、長期休業期間(夏休み、冬休み等)中に、こどもルームの利用希望はありますか。(当てはまる番号1つに○)

土曜の利用希望	1. 低学年の間は利用したい 2. 高学年になっても利用したい 3. 利用する必要はない	利用したい時間帯 □□時から□□時まで
日曜・祝日の利用希望	1. 低学年の間は利用したい 2. 高学年になっても利用したい 3. 利用する必要はない	利用したい時間帯 □□時から□□時まで
長期休業期間中の利用希望	1. 低学年の間は利用したい 2. 高学年になっても利用したい 3. 利用する必要はない	利用したい時間帯 □□時から□□時まで

土曜の利用希望は39%あり、高学年になっても利用したいとするのは18%である。日曜・休日については、それぞれ22%、15%となっている。

これに対し、長期休業期間中の利用希望は91%と非常に高く、高学年になっても利用したいとするのは55%となっている。

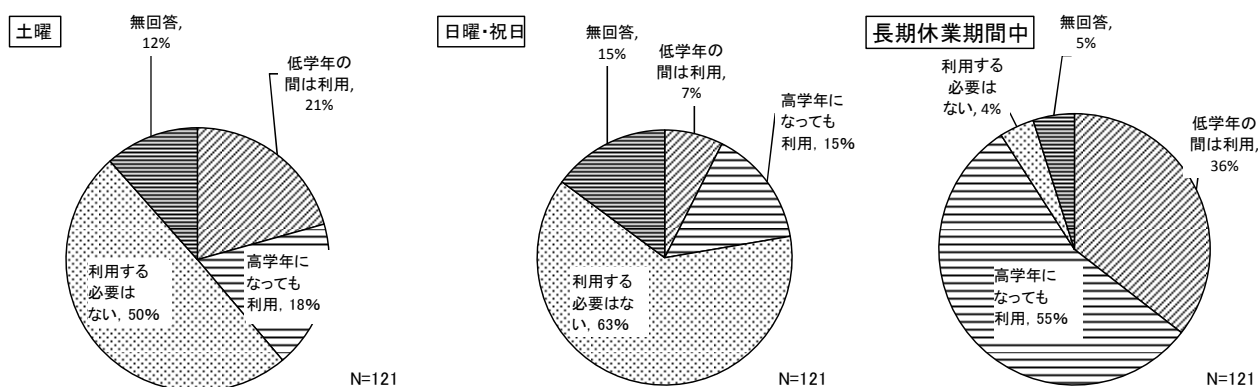


図 II-101 土・日・祝・長期休業期間中におけるこどもルームの利用意向

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

利用したい時間をみると、開始時間については、いずれも8時台が最も多く、土曜が47%、日曜・祝日が44%、長期休業期間中が54%である。

終了時間については、土曜と長期休業中は18時台が最も多く、それぞれ38%である。日曜・祝日は19時台が44%で最も多い。また、長期休業期間中については、終了時間帯がやや分散している。

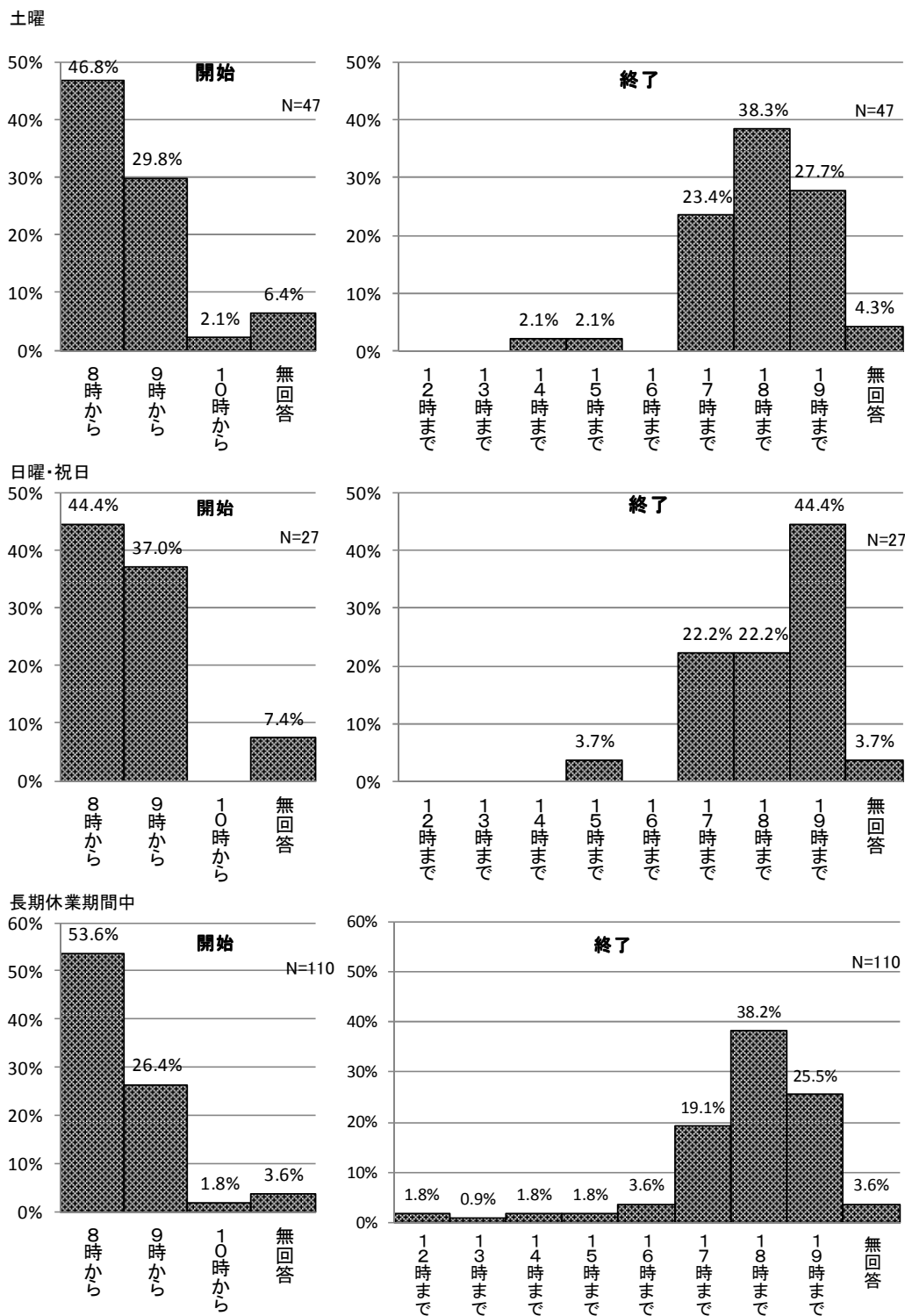


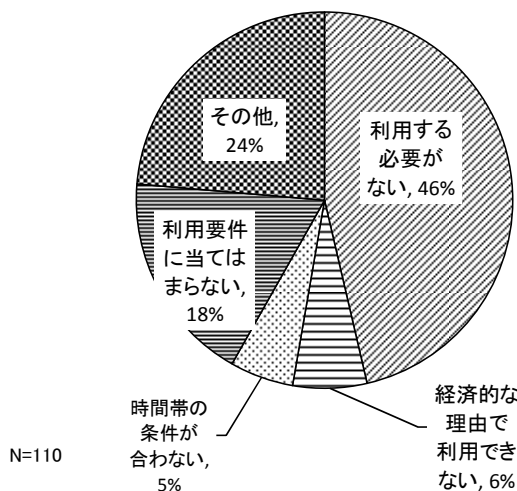
図 II-102 土・日・祝・長期休業期間中におけるこどもルームの利用希望時間帯

問32

宛名のお子さんが小学校就学後に就労する予定がある(現在就労していて、継続する場合も含む)方のうち、問30で「7. こどもルームIIに〇をつけなかった方」にうかがっています。こどもルームの利用を希望されない理由は何ですか。(当てはまる番号1つに〇)

1. 利用する必要がない(親族がみてるなど)
2. 利用したいが、経済的な理由で利用できない
3. 利用したいが、時間帯の条件が合わない
4. 利用したいが、利用要件(就労要件等)に当てはまらない
5. その他()

「利用する必要がない」が46%で最も多く、次いで「利用要件に当てはまらない」が18%である。また、「経済的な理由で利用できない」は6%、「時間帯の条件が合わない」が5%である。



その他の内容	回答数	回答割合
利用しないで良い仕事を探す・就労中	7	6.4%
情報不足・分からない	6	5.5%
利用したくない	4	3.6%
子供が希望していない	2	1.8%
未定の為	2	1.8%
その他	5	4.5%

N=110(M/A)

図 II- 103 こどもルームの利用を希望しない理由

II. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

11. 育児休業の取得状況などについて

問33

宛名のお子さんが生まれたとき、父親・母親はそれぞれ育児休業を取得されましたか。

父親 (当てはまる番号1つに○)		取得後の復帰状況 (当てはまる番号1つに○)	
1. 取得した (取得中である)	→	ア. 取得後、職場に復帰した	→ 問33-5△
		イ. 現在も育児休業中である	→ 問33-5△
		ウ. 育児休業中に離職した	→ 問34△
2. 取得していない	→	取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください。(当てはまる番号すべて))	→ 問34△
		[]	→ 問34△
3. 就労して いなかった	→		問34△

母親 (当てはまる番号1つに○)		取得後の復帰状況 (当てはまる番号1つに○)	
1. 取得した (取得中である)	→	ア. 取得後、職場に復帰した	→ 問33-5△
		イ. 現在も育児休業中である	→ 問33-5△
		ウ. 育児休業中に離職した	→ 問34△
2. 取得していない	→	取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください。(当てはまる番号すべて))	→ 問34△
		[]	→ 問34△
3. 就労して いなかった	→		問34△

1. 職場に育児休業を取得しにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に復帰するのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育園などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業を取得した
9. 配偶者が就労していない、親族にみてもらえるなど、育児休業を取得する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他()

11. 育児休業の取得状況などについて

育児休業の取得状況については、父親の場合は「取得していない」が89%でほとんどを占め、「取得した（取得中である）」は3%にとどまっている。

母親の場合、「就労していなかった」が56%で最も多く、ついで「取得した（取得中である）」が27%、「取得していない」10%の順となっている。

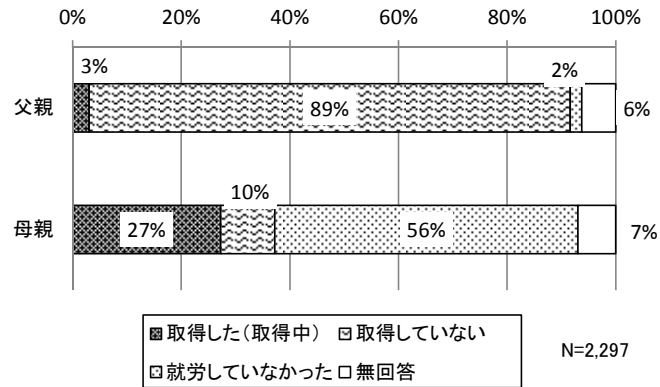


図 II - 104 育児休業の取得状況

このうち、「取得した（取得中である）」と答えた人の取得後の復帰状況をみると、父親の場合は「職場に復帰した」が90%で、「現在も育児休業中」は4%となっている。また「休業中に離職した」という回答はなかった。

母親の場合は、「職場に復帰した」が60%で最も多く、「現在も育児休業中」は27%、「休業中に離職した」が13%の順となっている。

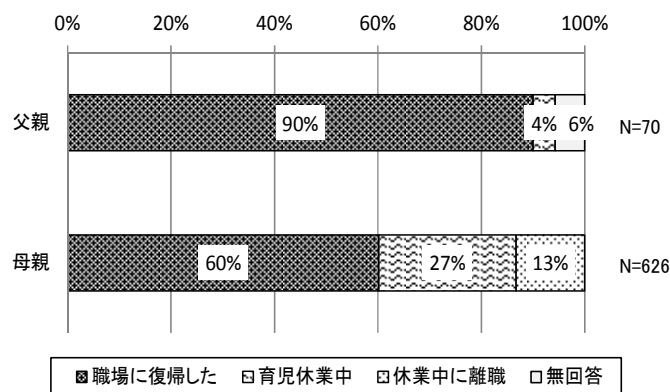
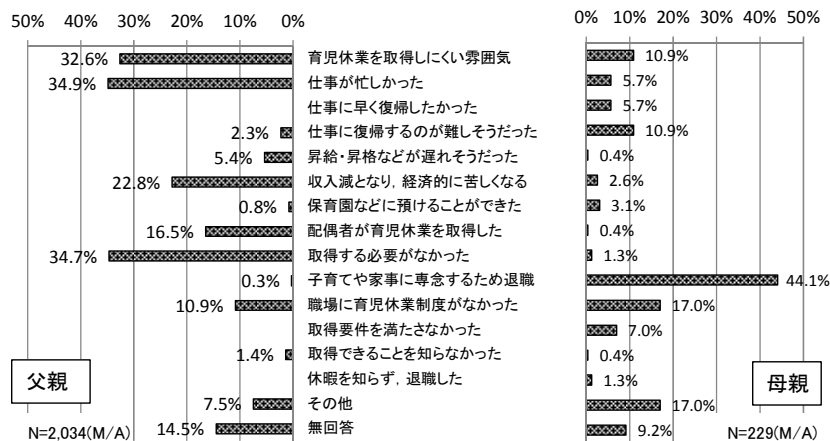


図 II - 105 育児休業取得後の復帰状況

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

育児休業を取得しなかった理由として、父親の場合は「仕事が忙しかった」と「取得する理由がなかった」がともに35%で最多理由となっており、「育児休業を取得しにくい雰囲気があった」が33%の順となっている。

一方、母親の場合は「子育てや家事に専念するため退職した」が44%で最も多く、次いで「職場に育児休業制度がなかった」が17%となっている。



父親

その他の内容	回答数	回答割合
自営業の為	28	1.4%
育児休業ではない休み(有休・夏休み・GW等)	17	0.8%
考えてなかった	6	0.3%
病気療養中	2	0.1%
時間が作れた	3	0.1%
その他	85	4.2%

N=2,034(M/A)

母親

その他の内容	回答数	回答割合
自営業の為	10	4.4%
取得できなかった	5	2.2%
職場に連れて出勤	2	0.9%
その他	19	8.3%

N=229(M/A)

図 Ⅱ- 106 育児休業を取得しなかった理由

問33-1

問33で「ア. 取得後、職場に復帰した」に○をした方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初め(4月)の保育園等への入園の時期に合わせましたか。父親・母親それぞれについてお答えください。

※年度初めでの認可保育園入園を希望して、1～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めで入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかった場合も「1.」を選択してください。

父親 (当てはまる番号1つに○)	母親 (当てはまる番号1つに○)
1. 年度初めの入園の時期に合わせた 2. 特に合わせていない	1. 年度初めの入園の時期に合わせた 2. 特に合わせていない

父親の場合、「年度初めの入園の時期に合わせた」とした人は2%で、「特に合わせていない」が43%である。

母親の場合、「年度初めの入園の時期に合わせた」とした人は45%で、「特に合わせていない」が35%である。

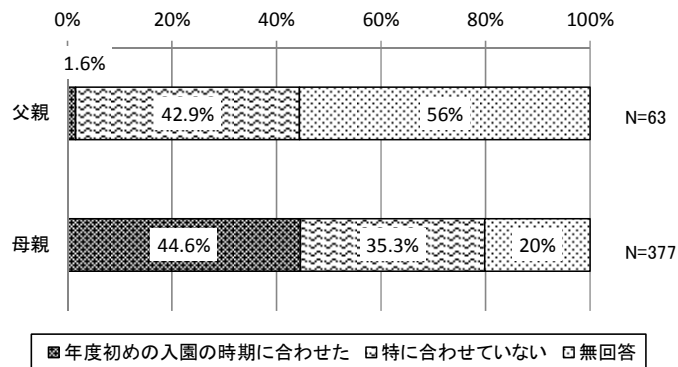


図 II-107 育児休業取得後の復帰時期について

II. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

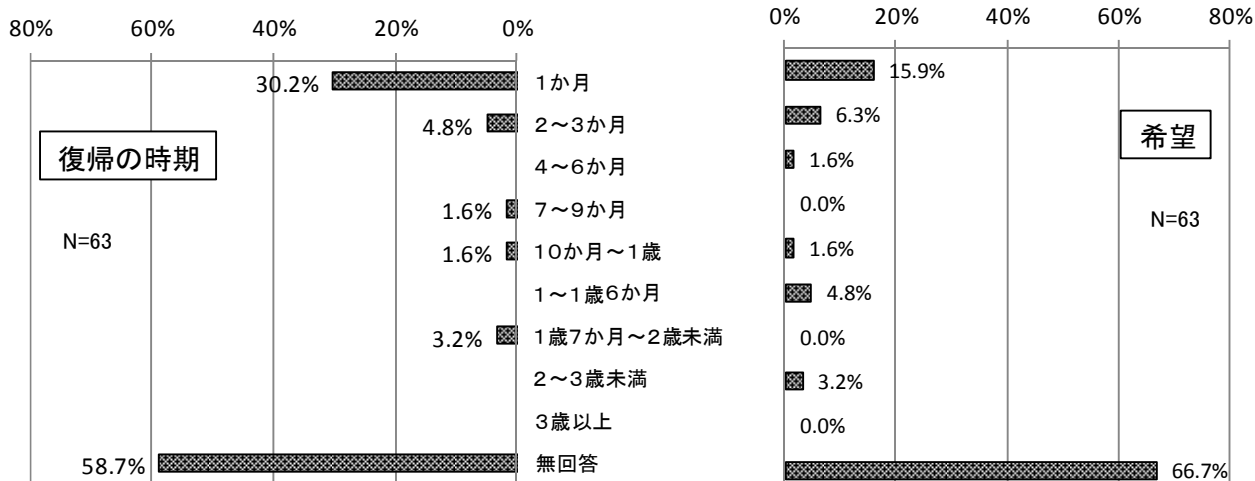
問33-2 問33で「ア. 取得後、職場に復帰した」に○をした方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、宛名のお子さんが何歳何か月のときですか。また、希望としては、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。父親・母親それぞれについてお答えください。

父親		母親	
復帰の時期	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月のとき 希望 <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月まで	復帰の時期 <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月のとき 希望 <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月まで	

父親の場合は、復帰の時期は1か月が30%で最も多いが、希望では16%と半分近くに減少する。その一方で、2か月以上の回答については、復帰の時期より希望の方が高くなる傾向にあり、希望よりも早く復帰した人が多いと考えられる。

母親の場合は、復帰の時期は1～1歳6か月が32%で最も多いが、希望ではこれが38%に増加する。その一方で、1歳未満についてみると、復帰の時期に対して希望の時期はいずれも低く、1歳7か月以上については復帰の時期に対して希望の時期はいずれも高くなっていることから、希望としては、できれば長く休業したいという意向が一定程度あると考えられる。

父親



母親

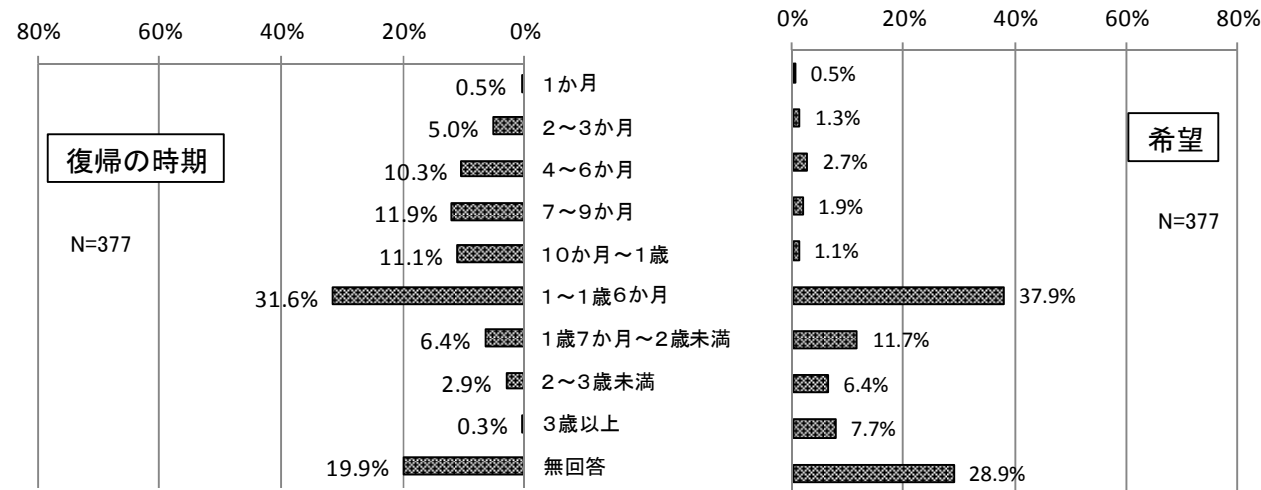


図 II-108 育児休業取得後の復帰時期

問33-3

問33で「ア. 取得後、職場に復帰した」に○をした方にうかがいます。お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望としては、お子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。父親・母親それぞれについてお答えください。

父親		母親	
<input type="text"/>	歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月まで	<input type="text"/>	歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月まで

父親の場合は、希望の時期についても1か月が11%で最も多いが、次点は、1～1歳6か月の8%となっており、実勢と同様に希望についても1か月と短いか、もしくは1～1歳6か月のやや長めの期間のいずれかに概ね二分されているといつてよい。

母親の場合は、3歳以上が29%で最も多く、次いで1～1歳6か月の23%となっており、父親に比べて希望する期間が長い。

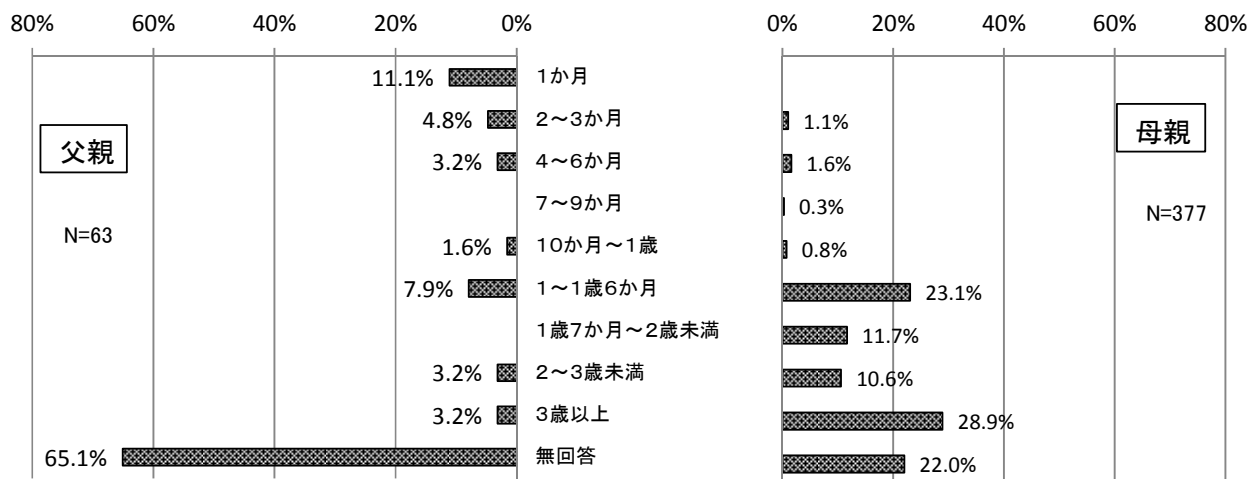


図 II-109 育児休業の取得希望

II. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

問33-4

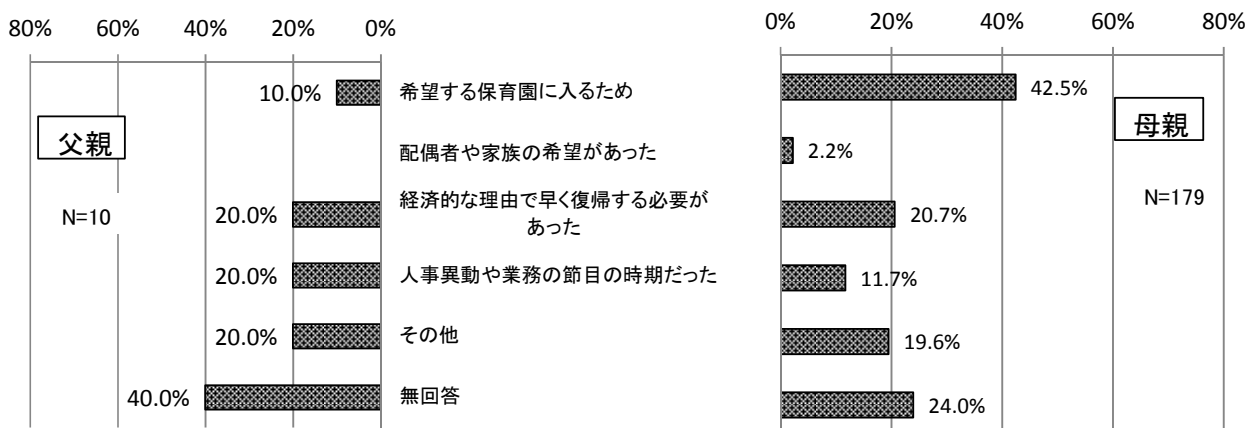
問33-2で復帰時期と希望が異なる方にうかがいます。父親・母親それぞれについて、希望の時期に職場に復帰しなかった理由をお答えください。

(1)「復帰の時期」が「希望」より早い方

父親（当てはまる番号すべてに○）	母親（当てはまる番号すべてに○）
1. 希望する保育園に入るため	1. 希望する保育園に入るため
2. 配偶者や家族の希望があった	2. 配偶者や家族の希望があった
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
4. 人事異動や業務の節目の時期だった	4. 人事異動や業務の節目の時期だった
5. その他（ ）	5. その他（ ）

父親の場合は該当する回答者数が少ないため、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」、「人事異動や業務の節目の時期だった」、「その他」がともに20%の同率となっている。

母親の場合は、「希望する保育園に入るため」が43%で最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が21%、「その他」20%の順となっている。



■その他 の内容

○父親

- ・業務的にムリ
- ・職場からの要請

○母親

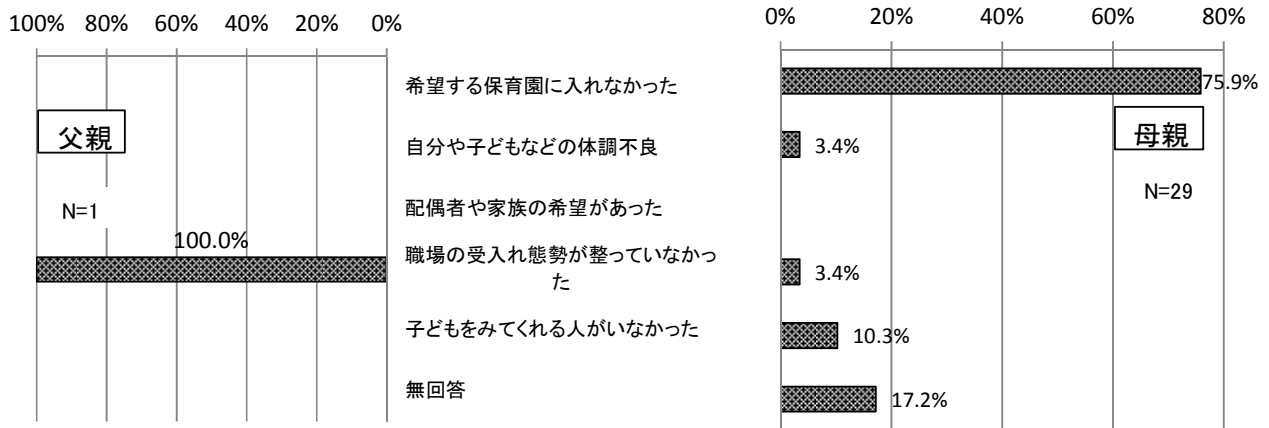
その他の内容	回答数	回答割合
職場の希望	7	3.9%
会社の規定・内規	6	3.4%
復帰しづらくなる	6	3.4%
保育所関連	6	3.4%
職場の人員不足、業務の停滞	4	2.2%
パート・自営業	2	1.1%
仕事が好きである	2	1.1%
離婚のため	1	0.6%

N=179

図 II-110 育児休業取得後、希望時期に復帰しなかった理由（復職が希望より早い）

(2)「復帰の時期」が「希望」より遅い方	
父親 (当てはまる番号すべてに○)	母親 (当てはまる番号すべてに○)
1. 希望する保育園に入れなかった	1. 希望する保育園に入れなかった
2. 自分や子どもなどの体調不良	2. 自分や子どもなどの体調不良
3. 配偶者や家族の希望があった	3. 配偶者や家族の希望があった
4. 職場の受入れ態勢が整って いなかった	4. 職場の受入れ態勢が整って いなかった
5. 子どもをみてくれる人がいなかった	5. 子どもをみてくれる人がいなかった
6. その他()	6. その他()

父親の場合は該当が1件だけで、「職場の受入れ態勢が整っていなかった」のみである。
母親の場合は、「希望する保育園に入れなかった」が76%とほとんどを占めている。



■その他 の内容

○母親

- ・空きがなかった

図 II-111 育児休業取得後、希望時期に復帰しなかった理由（復職が希望より遅い）

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

問33-5

問33で「イ. 現在も育児休業中である」に○をした方にうかがいます。もし、宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育園等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、利用できる保育園等があっても1歳になる前に復帰しますか。父親・母親それぞれについてお答えください。

父親（当てはまる番号1つに○）	母親（当てはまる番号1つに○）
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

父親の場合は、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が1件あるのみである。

母親の場合は、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が84%に対し、「1歳になる前に復帰したい」は10%である。

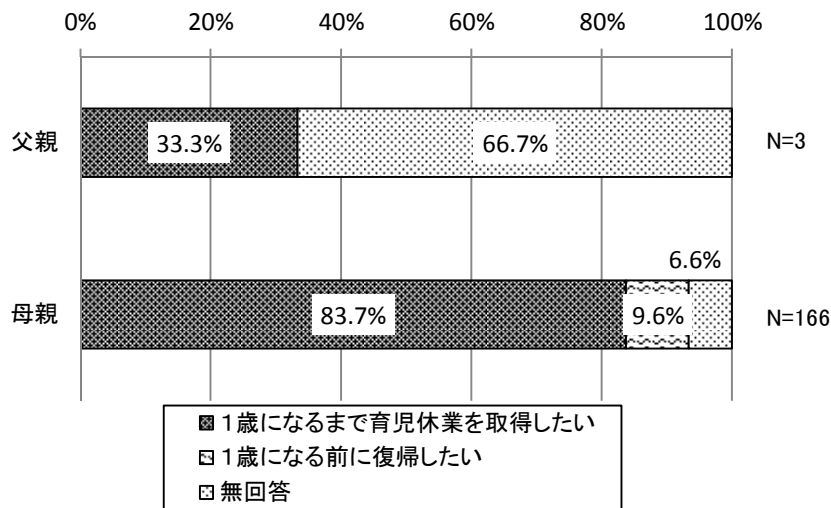


図 II-112 育児休業取得後の希望復帰時期（現在取得中）

12. 子育てあるいは子育て支援全般について

問34 柏市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い ←————→ 満足度が高い

1 (大変不満) 2 (やや不満) 3 (普通) 4 (ほぼ満足) 5 (大変満足)

「大変不満」が15%、「やや不満」が38%で、半数以上が不満寄りと回答している。

「普通」とする人は37%で、満足寄りの回答は、「ほぼ満足」7%と「大変満足」0.4%をあわせて8%弱である。

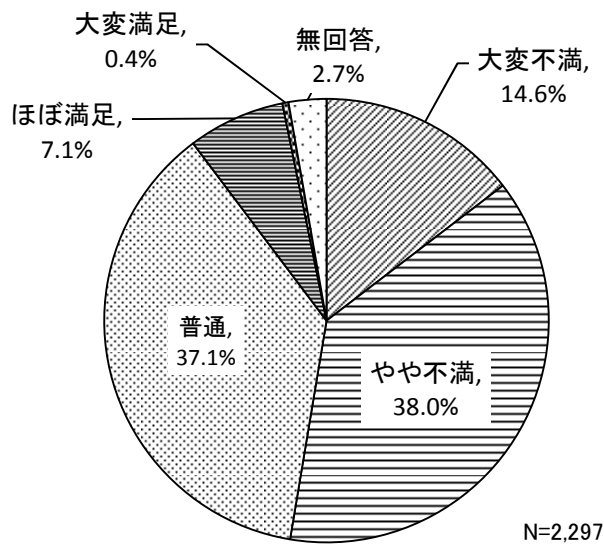


図 II-113 柏市における子育て支援全般に対する満足度

Ⅱ. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

問35

最後に、どんなことでも構いませんので、子育ての環境や支援に関して、あなたの声を聞かせてください。

(右のように、子育てを取り巻く状況は、それぞれのご家庭によって様々です。それぞれのお立場でお感じになられたことを、ご自由にご記入ください。)

「近所づきあい・子育て仲間の有無」
 「就労状況」「家族との関係」
 「子どもの発達状況や障害の有無」
 「配偶者の有無」「家庭の経済状況」
 「子育て経験の有無」……

自由意見として、計1,821名の回答者から回答を得た。これは全回答者の79%に相当する。以下のとおり内容に応じて分類したところ、最も多かった意見は、保育園についてであった。

表Ⅱ-11 自由意見の内容

内容		件数
保育園について(待機児童、利用料etc)		639
幼稚園について		185
小児医療 について	医療について	50
	医療費について(助成等含む)	450
	出産に関連すること	12
	障害に関すること	22
情報等(時間外診療、予防接種や検診等etc)に関すること		17
育児給付金について		132
就労、収入について(親の)		66
児童館、児童センターについて		123
公園について		180
相談窓口について		12
駅や各施設、道路等について		217
子育て支援センター、活動内容について		135
各種育児支援サービスについて		133
子育て支援に関する情報、情報提供等		123
除染、他3.11関連		53
小学校、図書館等について(公共施設など)		87
母と子のつどい、交流の場等について		115
市や行政機関、企業等について		89
教育について		18
学童について		62
治安について		2
不満は無い 特に無し		19
子育て等に関する相談、悩み等		16
その他子育てサービスに関する全般的な意見		3
本アンケートについて		1
自由意見回答総数		1,821

Ⅲ. 放課後の過ごし方に関する調査

Ⅲ. 放課後の過ごし方に関する調査

問1

お子さんが通われている小学校はどちらですか。（当てはまる番号1つに○）

回答者が多いのは、松葉第二小、柏第三小、旭東小の各6%である。

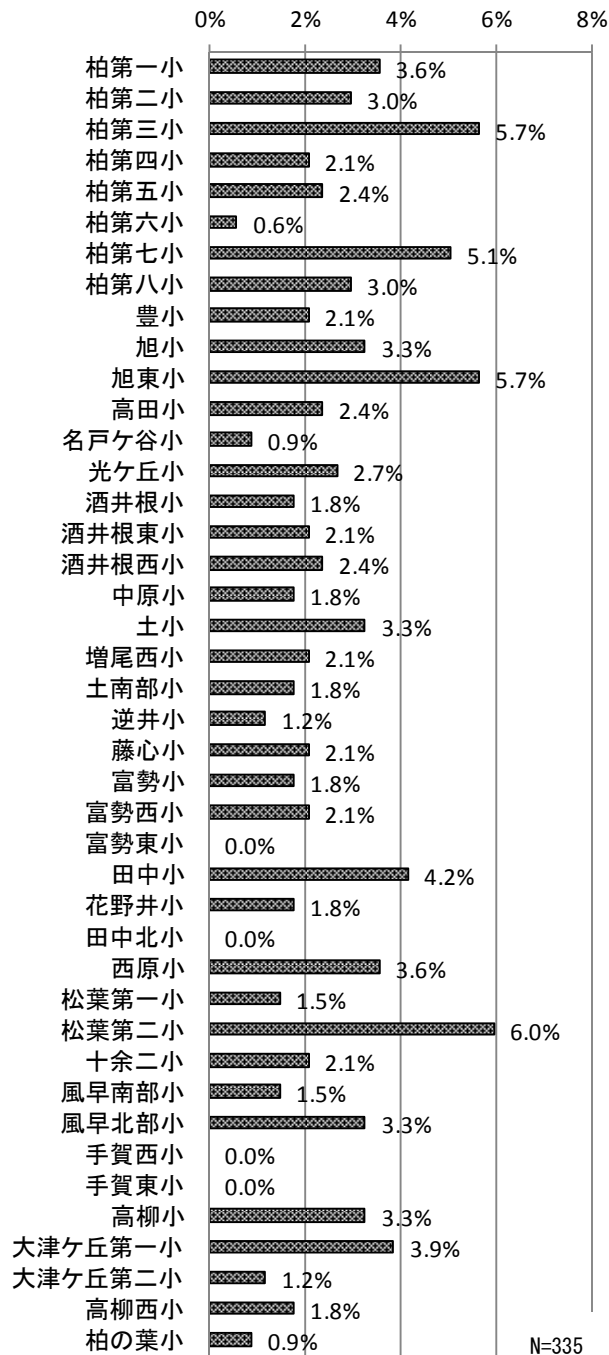


図 Ⅲ- 1 回答者の学校別割合

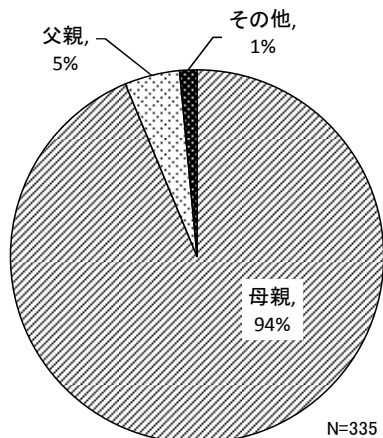
Ⅲ.放課後の過ごし方に関する調査

問2

この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
(当てはまる番号1つに○)

1. 母親 2. 父親 3. その他()

「母親」が94%、「父親」が5%、「その他」が1%である。



その他の内容	回答数	回答割合
祖母	4	1.2%
曾祖母	1	0.3%

N=335(M/A)

図 Ⅲ- 2 回答者

問3

この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
(当てはまる番号1つに○)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

「配偶者がいる」が80%、「配偶者はいない」は20%である。

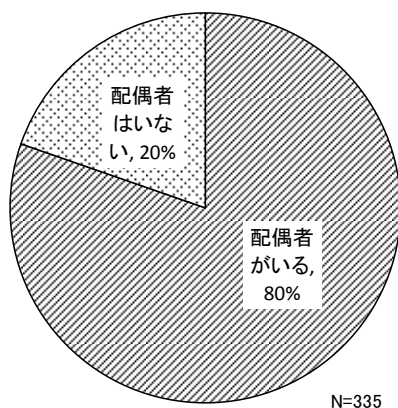


図 Ⅲ- 3 配偶者の有無

問4

お子さんの祖父母等の親族の居住についてお答えください。
(当てはまる番号1つに○)

1. 祖父母等の親族と同居している(二世帯・同一敷地内住宅の居住を含む)
2. 祖父母等の親族が近く(概ね30分以内程度で行き来できる範囲)に住んでいる
3. その他()

「祖父母等の親族と同居している」は12%であるが、「祖父母等の親族が近くに住んでいる」は46%ある。

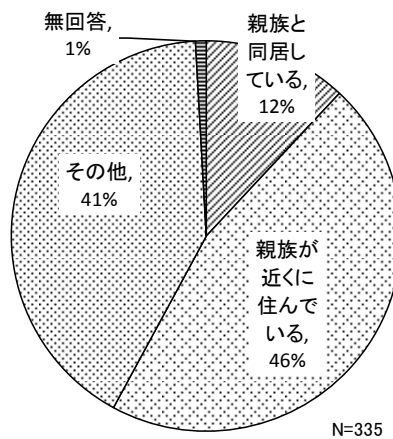


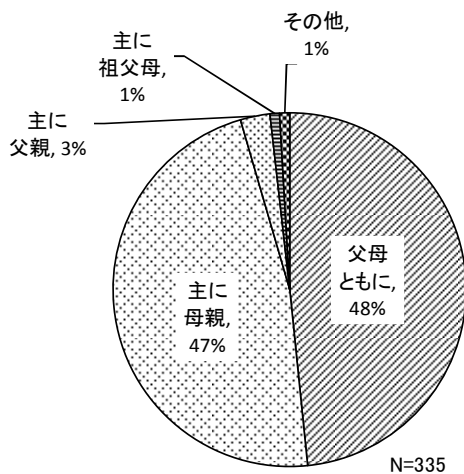
図 III-4 親族等との同居状況

問5

お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(当てはまる番号1つに○)

1. 父母ともに
2. 主に母親
3. 主に父親
4. 主に祖父母
5. その他()

「父母ともに」とする回答は48%、「主に母親」が47%で、父母ともにする回答が母親を主体とする回答をわずかに上回っている。



その他の内容	回答数	回答割合
父母、祖父母4人	1	0.3%
曾祖母	1	0.3%
母親のみ	1	0.3%
プラス祖父母	1	0.3%

N=335(M/A)

図 III-5 主な子育て担当

Ⅲ.放課後の過ごし方に関する調査

問6

お子さんについて、小学校4年生以降、放課後(平日の授業終了後)の時間を、どのような場所で、どのくらい過ごさせたいと思いますか。現在の4年生以上の入所条件(定員に余裕がある場合などの受け入れ)にとらわれず、「小学4年生以上の入所枠がある」と「仮定」した場合についてお答えください。

放課後に過ごす場所 (当てはまる番号すべてに○)	過ごさせたい日数等
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日程度
2. 祖父母・親戚宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日程度
3. 習い事(ピアノ教室, スポーツクラブ, 学習塾など)	週 <input type="text"/> 日程度
4. 部活動	週 <input type="text"/> 日程度
5. 放課後子ども教室(※)	週 <input type="text"/> 日程度
6. 児童センター	週 <input type="text"/> 日程度
7. こどもルーム	週 <input type="text"/> 日程度 →下校時から <input type="text"/> 時まで
8. その他(校庭, 近隣センター, 図書館, 公園など)	週 <input type="text"/> 日程度
9. わからない	—

※「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校などで学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組みです。

「こどもルーム」が67%で最も多く、次いで「習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)」が65%、「部活動」が54%、「自宅」が43%の順となっている。

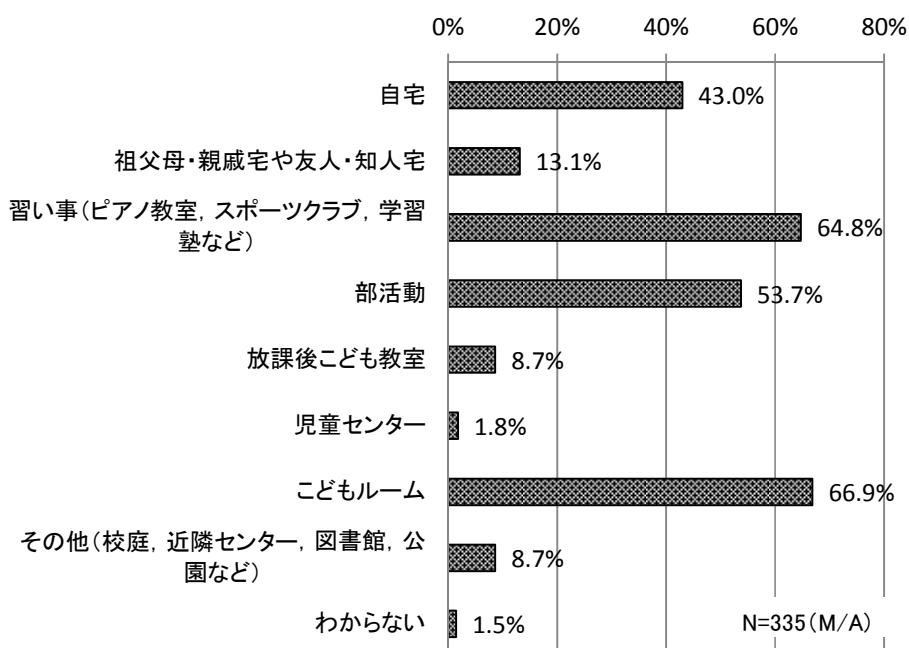
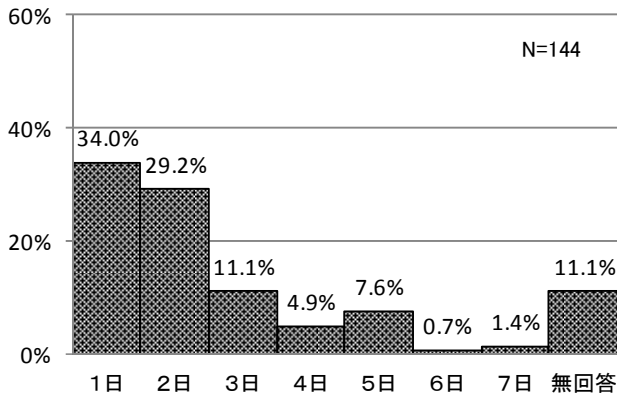


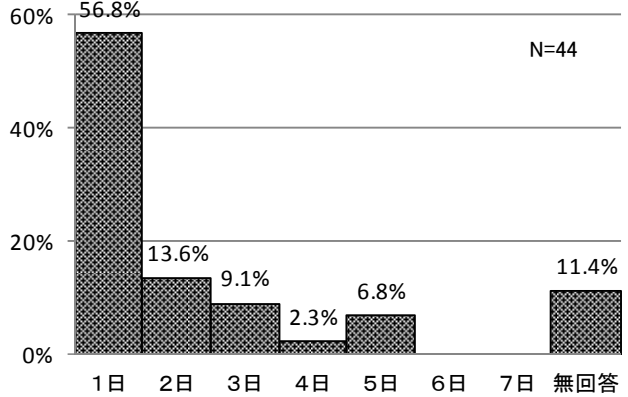
図 Ⅲ- 6 放課後過ごさせたい場所

上位4つの利用希望日数をみると、「こどもルーム」と「部活動」はともに5日がそれぞれ40%、34%で最も多いのに対し、「習い事」は2日が40%、「自宅」は1日が34%となっている。

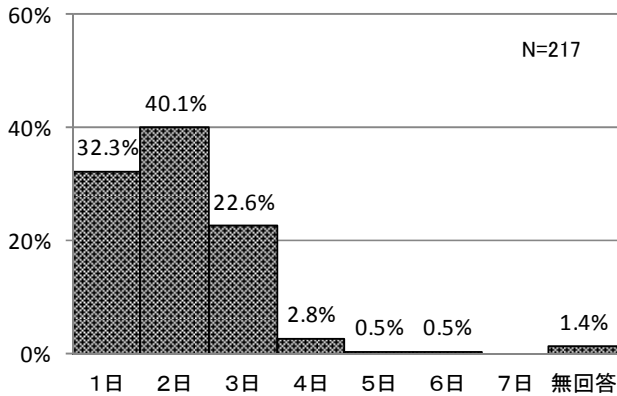
1. 自宅



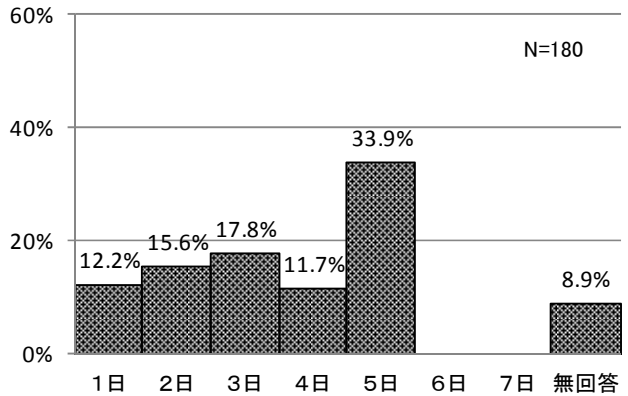
2. 祖父母・親戚宅や友人・知人宅



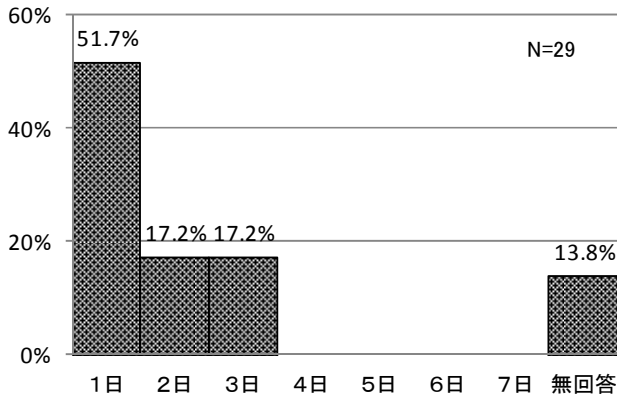
3. 習い事(ピアノ教室, スポーツクラブ, 学習塾など)



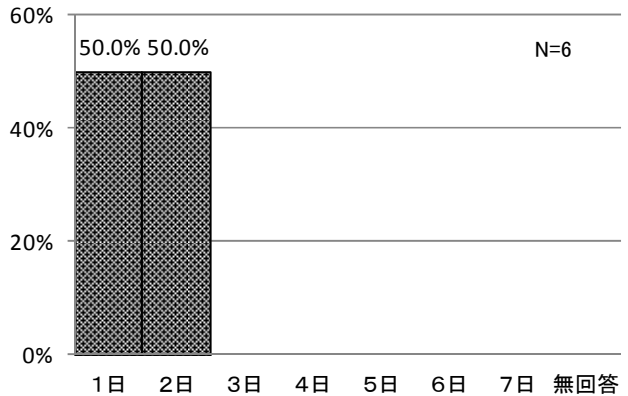
4. 部活動



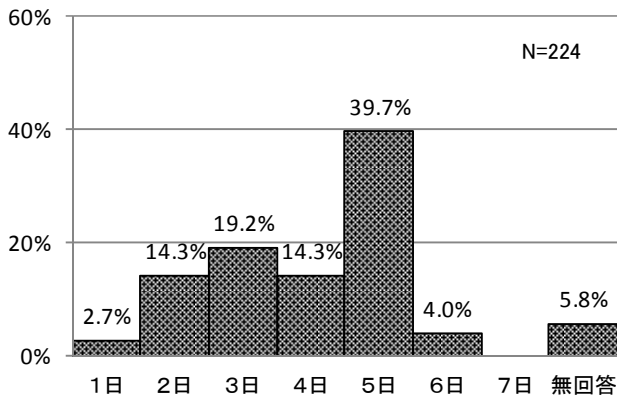
5. 放課後こども教室



6. 児童センター



7. こどもルーム



8. その他(校庭, 近隣センター, 図書館, 公園など)

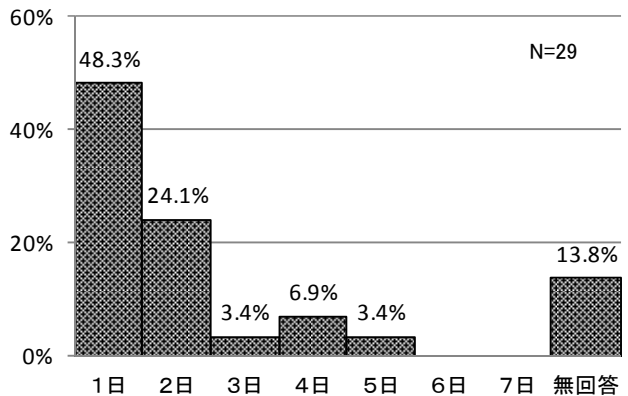


図 III-7 放課後過ごさせたい場所の希望日数

Ⅲ.放課後の過ごし方に関する調査

さらに、こどもルームの利用希望時間をみると、19時までが44%で最も多く、以下、18時までが33%、17時までが13%であり、約9割の回答者が17～19時を希望している。

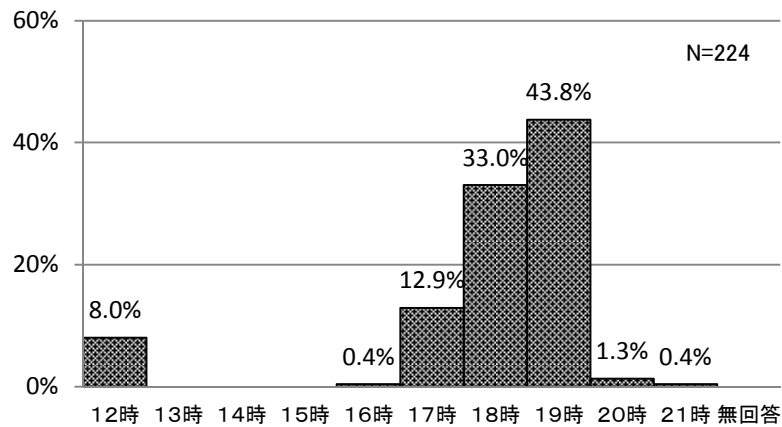


図 Ⅲ- 8 こどもルームの利用希望時間

問7

お子さんについて、小学校4年生以降、土曜、日曜・祝日、長期休業期間(夏休み、冬休み等)中に、こどもルームの利用希望はありますか。現在の4年生以上の入所条件(定員に余裕がある場合などの受け入れ)にとらわれず、「小学4年生以上の入所枠がある」と“仮定”した場合についてお答えください。
 (当てはまる番号1つに○)

土曜の 利用希望	1. 利用したい 2. 利用する必要はない	→	利用したい時間帯	□□ 時から □□ 時まで
日曜・祝日の 利用希望	1. 利用したい 2. 利用する必要はない	→	利用したい時間帯	□□ 時から □□ 時まで
長期休業期間中の 利用希望	1. 利用したい 2. 利用する必要はない	→	利用したい時間帯	□□ 時から □□ 時まで

土曜日、日曜・祝日はともに「利用する必要はない」が7～8割を占めており、「利用したい」とする意見は土曜日が23%、日曜・祝日が12%である。

一方、長期休業中については「利用したい」が84%、「利用する必要はない」が13%で、長期休業中については利用意向が非常に高い。

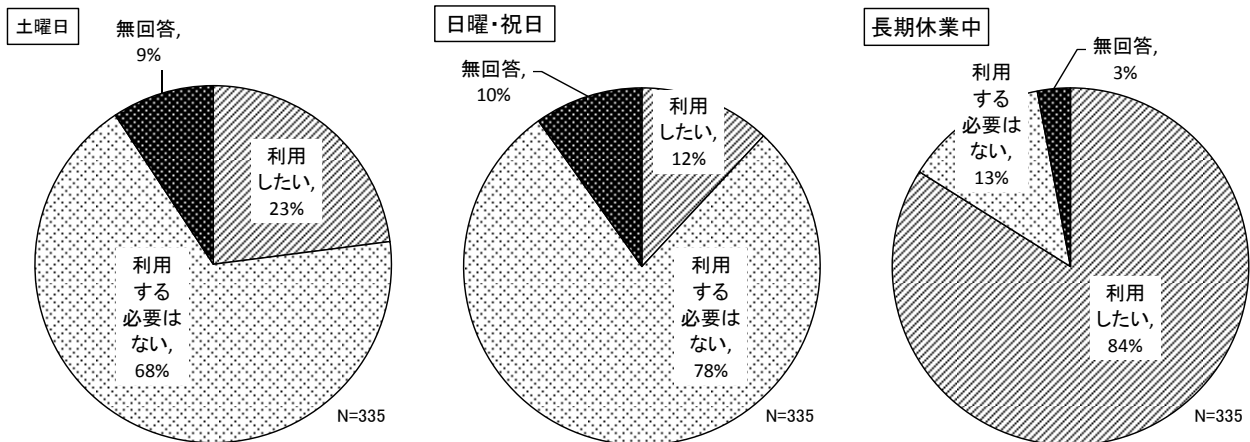


図 Ⅲ- 9 土・日・祝・長期休業中におけるこどもルームの利用意向

Ⅲ.放課後の過ごし方に関する調査

問8

最後に、どんなことでも構いませんので、子育ての環境や支援に関して、あなたの声を聞かせてください。特に、問6で○をつけた特段の理由がありましたら、それもお書きいただくと大変参考になります。

(右のように、子育てを取り巻く状況は、それぞれのご家庭によって様々です。それぞれのお立場でお感じになられたことを、ご自由にご記入ください。)

「近所づきあい・子育て仲間の有無」
 「就労状況」「家族との関係」
 「子どもの発達状況や障害の有無」
 「配偶者の有無」「家庭の経済状況」
 「子育て経験の有無」……

自由意見について、237人の回答者から回答を得た。これは全回答者の71%に相当する。

回答内容を分類した結果、以下に示すように、最も多かった意見はこどもルームにおける預かり時間についてであり、次いで長期休業、休日に関することであった。

表 Ⅲ- 1 自由意見の内容

内容	件数
預かり時間について	20
預かり対象時間について	78
学童保育料について	17
指導員、職員について	7
長期休業、休日について	73
こどもルーム内のサービスについて	34
相談員、窓口について	1
児童センター、近隣センターについて	6
公園、広場について	5
その他施設、サービスについて	28
治安、防犯	11
子育てについての相談、悩み	11
通学路、道路の整備、交通について	3
子育て支援、支援金、医療助成等について	10
障害児、医療関連	5
集会、交流等について	1
子ども同士の友達との交流について	2
アンケートについて	1
回答者数	237

問9

問6で「7. こどもルーム」に○をつけた方にうかがいます。
 もし次のような「子どもが放課後に過ごせるような場所」が身近にあるとした場合、お子さんが小学校4年生以降に放課後を過ごす場所として考えられますか。
 (当てはまる番号1つに○)

※ 放課後の過ごし方については、子どもの年齢が上がるにつれて多様になっていきます。そのような状況を踏まえ、あくまでも仮定の話ですが、子どもが安全に過ごせる場所として、次のような場所があった場合についてお聞きする質問です。なお、こどもルームの代替というわけではありませんので、ご注意ください。

	「子どもが放課後に過ごせるような場所」	参考:こどもルーム
対象者	参加を希望する小学校児童	保護者が就労等の理由で放課後の保育が必要な小学校児童
開設時間	平日の授業終了後からおおむね午後5時くらいまでの間	放課後～午後7時
利用料	無料(保険料や活動の実費を負担する場合あり)	月額1万円
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自由な遊びや自主学習、体験・交流活動など(子どもたちが自主的に活動する居場所の提供とその見守り → 「預かる」場ではない) ・安全管理のための見守りなど、地域住民の協力を得て運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員の下、子どもの生活の場を提供 ・児童福祉法に規定された「保育事業」

1. 考えられる 2. 考えられない

「考えられる」が69%、「考えられない」が27%である。

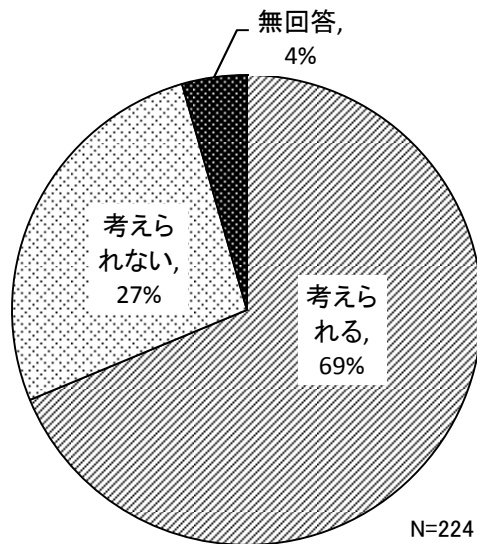


図 III-10 放課後に過ごせるような場所の利用が考えられるか

IV.調查票

IV. 調査票

柏市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

アンケートにご協力をお願いします。

ご記入がすみましたら、お手数ですが、
同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、封をして、

12月2日(月)までにポストにご投函ください。

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

柏市 こども部こども政策室 担当 齊藤, 鶴飼, 原口
電話 04-7168-1034 FAX 04-7167-1383

【ご協力のお願い】

柏市では、子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号)に基づく新たな制度(以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。)の下で、子ども・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的な取り組みを推進していくこととしています(平成27年度から実施予定)。

この計画では、幼稚園や保育園、認定こども園などの施設や各種の子育て支援事業の「量の見込み」を定める必要があります。そのため、現在子育て中の皆さんの「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために、本調査を行います。

子ども・子育て支援新制度が目指すこと

- 家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現すること
- 乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれるような環境を、社会全体の責任として整備すること
- 保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を行うこと

本調査は、柏市が無作為に抽出した6歳未満のお子さんをお持ちの5,000世帯にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理され、調査の目的以外に使用することは一切ありません。

なお、ここで回答していただいた内容(施設や事業の利用希望等)は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。あくまでも現時点での利用希望をお聞きするものですので、将来の利用希望を変更していただいて構いません。

ご多忙のこととは存じますが、皆様のご回答を基に子ども・子育て支援の充実を図って参りますので、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年11月
柏市長 秋山浩保

子ども・子育て支援新制度のことをもっと詳しく知りたい方は、
柏市ホームページ「子ども・子育て支援新制度」のページをご覧ください。

【ホームページURL】 <http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/070900/p015028.html>

【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートには、**お子さんの保護者の方**が記入してください。無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません。
- お答えは、あてはまる**回答の数字を○で囲む**場合と、“□”の中に**数字を記入**する場合があります。「その他」にあてはまるときは、「その他」の数字に○を付け、()がある場合は具体的な内容を記入してください。
“□”に数字をご記入いただく質問は、**1枠に1字**をご記入ください。
“□□時”に数字をご記入いただく質問は、**24時間制**でご記入ください。 例)09時, 18時
- 質問番号順にお答えください。質問の中には、一部の方だけにおたずねするものがありますので、「→問○へ」というご案内に従って回答してください。
- 別紙に**お子さんを預かる施設・事業の概要**を記載しておりますので、ご参照ください。

1 お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地域の郵便番号をご記入ください。

277- または 270-

2 封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。

平成 年 月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだいの数 人 末子の生年月月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(当てはまる番号1つに○)

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(当てはまる番号1つに○)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの祖父母等の親族の居住についてお答えください。(当てはまる番号1つに○)

1. 祖父母等の親族と同居している(二世帯・同一敷地内住宅の居住を含む)
2. 祖父母等の親族が近く(概ね30分以内程度で行き来できる範囲)に住んでいる
3. その他()

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(当てはまる番号1つに○)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母

問8 ご家庭の経済状況についてお答えください。(当てはまる番号1つに○)

1. とても安定している 2. 安定している 3. まあまあ暮らせる

(4) お子さんといっしょに遊ぶ同年代の子ども(きょうだいを除く。)がいますか。
(当てはまる番号1つに○)

1. 数名いる	2. 1～2名いる	3. いない
---------	-----------	--------

(5) 問5で「1.配偶者がいる」に○をつけた方にうかがいます。子育てのことについて夫婦でよく話し合いますか。(当てはまる番号1つに○)

1. はい	2. ときどき	3. いいえ
-------	---------	--------

問11

宛名のお子さんの子育て(教育を含む)のことで今まで心配や悩みがありましたか。また、心配や悩みを誰かに相談しましたか。(当てはまる番号1つに○)

<table border="1"> <tr> <td>1. よくあった</td> <td rowspan="2">}</td> <td rowspan="2">→</td> <td rowspan="2">ア. 相談した</td> <td rowspan="2">.....</td> <td rowspan="2">↓</td> </tr> <tr> <td>2. ときどきあった</td> <td>イ. 相談しなかった</td> </tr> <tr> <td>3. あまりなかった</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1. よくあった	}	→	ア. 相談した	↓	2. ときどきあった	イ. 相談しなかった	3. あまりなかった						<table border="1"> <tr> <th colspan="2">相談先(当てはまる番号すべてに○)</th> </tr> <tr> <td>1. 配偶者</td> <td>2. 自分の父母</td> </tr> <tr> <td>3. 配偶者の父母</td> <td>4. 自分のきょうだい</td> </tr> <tr> <td>5. 配偶者のきょうだい</td> <td>6. その他親族</td> </tr> <tr> <td>7. 友人や知人</td> <td>8. 近所の人</td> </tr> <tr> <td>9. 幼稚園</td> <td>10. 保育園</td> </tr> <tr> <td>11. 保健所</td> <td>12. こども発達センター</td> </tr> <tr> <td>13. 母と子のつどい、子育てサロン等</td> <td>14. 子育て支援施設(地域子育て支援センター、児童センター等)</td> </tr> <tr> <td>15. 民生委員・児童委員</td> <td>16. 柏市民健康づくり推進員</td> </tr> <tr> <td>17. かかりつけの医師</td> <td>18. 市の子育て関連窓口</td> </tr> <tr> <td>19. その他()</td> <td></td> </tr> </table>	相談先(当てはまる番号すべてに○)		1. 配偶者	2. 自分の父母	3. 配偶者の父母	4. 自分のきょうだい	5. 配偶者のきょうだい	6. その他親族	7. 友人や知人	8. 近所の人	9. 幼稚園	10. 保育園	11. 保健所	12. こども発達センター	13. 母と子のつどい、子育てサロン等	14. 子育て支援施設(地域子育て支援センター、児童センター等)	15. 民生委員・児童委員	16. 柏市民健康づくり推進員	17. かかりつけの医師	18. 市の子育て関連窓口	19. その他()	
1. よくあった	}						→	ア. 相談した	↓																											
2. ときどきあった		イ. 相談しなかった																																			
3. あまりなかった																																					
相談先(当てはまる番号すべてに○)																																					
1. 配偶者	2. 自分の父母																																				
3. 配偶者の父母	4. 自分のきょうだい																																				
5. 配偶者のきょうだい	6. その他親族																																				
7. 友人や知人	8. 近所の人																																				
9. 幼稚園	10. 保育園																																				
11. 保健所	12. こども発達センター																																				
13. 母と子のつどい、子育てサロン等	14. 子育て支援施設(地域子育て支援センター、児童センター等)																																				
15. 民生委員・児童委員	16. 柏市民健康づくり推進員																																				
17. かかりつけの医師	18. 市の子育て関連窓口																																				
19. その他()																																					

問12

宛名のお子さんの子育て(教育を含む)の中で心配や悩みが大きかった(多かった)時期は、いつでしたか。
(当てはまる番号1つに○)

1. 妊娠期	2. 出産入院中	3. 退院直後	4. 退院から1か月	5. 1～2か月
6. 2～3か月	7. 3～6か月	8. 6～10か月	9. 1歳前後	10. 2歳前後

問13

宛名のお子さんの子育て(教育を含む)において、どのような心配や悩みがありますか。
(当てはまる番号すべてに○)

1. 子どもとのふれあいやしつけが十分にできないと感じる	3. 子どもの健康、性格や癖など
2. 近所に子どもの遊び友達がいない	4. 子どもの発達
4. 子どもの将来	5. 子どもの発達の遅れや障害
6. 子育ては親の責任とする風潮に、精神的に負担を感じる	7. 夫婦あるいは家族間で子育てについて意見が食い違う
7. 夫婦あるいは家族間で子育てについて意見が食い違う	8. 子育ての責任を負わされている
8. 子育ての責任を負わされている	9. 配偶者の子育てへのかかわりが少ない
9. 配偶者の子育てへのかかわりが少ない	10. 仕事と子育ての両立
10. 仕事と子育ての両立	11. 子育てによる身体の疲れが大きい
11. 子育てによる身体の疲れが大きい	12. 子育ての経済的負担
12. 子育ての経済的負担	13. 自分の自由な時間がもてない
13. 自分の自由な時間がもてない	14. 子ども連れで外出しにくい
14. 子ども連れで外出しにくい	15. 気軽に相談できる人や場所がない
15. 気軽に相談できる人や場所がない	16. 子育て支援に関する情報が得にくい
16. 子育て支援に関する情報が得にくい	17. その他()
17. その他()	18. 特に不安や悩みはない
18. 特に不安や悩みはない	

問14

宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を行う上で、必要と思われることは何ですか。
(当てはまる番号3つまでに○)

1. 子どもの遊び場	4. 子育てについて学習する場
2. 子育てサロンのように親子が気軽に立ち寄って自由に話ができる場所	5. 子育てについての相談窓口
3. 育児サークルなどの子育てで集まれる場	6. 子育て関連情報の提供
4. 子育てについて学習する場	7. 幼稚園等における幼児期の教育
5. 子育てについての相談窓口	8. 認可保育園などにおける定期的な保育
6. 子育て関連情報の提供	9. 一時預かり、ファミリー・サポート・センターなどの一時的な保育
7. 幼稚園等における幼児期の教育	10. 家事支援や経済的支援などの生活支援
8. 認可保育園などにおける定期的な保育	11. その他()
9. 一時預かり、ファミリー・サポート・センターなどの一時的な保育	
10. 家事支援や経済的支援などの生活支援	
11. その他()	

4 封筒の宛名のお子さんの保護者の方の就労状況についてうかがいます。

問15

宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業, 家族従事者含む)をうかがいます。父親・母親それぞれについてお答えください。

※父子家庭の場合の「母親」の欄, 母子家庭の場合の「父親」の欄の記入は不要です。

※「フルタイム」:週5日程度・1日8時間程度の就労 「パート・アルバイト等」:「フルタイム」以外の就労

父親 (当てはまる番号1つに○)	母親 (当てはまる番号1つに○)
1. フルタイムで就労しており, 育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで就労しているが, 育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており, 育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが, 育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが, 現在は就労していない 6. これまで就労したことがない	1. フルタイムで就労しており, 産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで就労しているが, 産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており, 産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが, 産休・育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが, 現在は就労していない 6. これまで就労したことがない

問18へ

問15-1

問15で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

父親・母親それぞれについて, 週当たりの「就労日数」, 1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は, もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は, 休業に入る前の状況についてお答えください。

父親	母親
週 <input type="text"/> 日 1日 <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	週 <input type="text"/> 日 1日 <input type="text"/> <input type="text"/> 時間

問15-2

問15で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

父親・母親それぞれについて, 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は, もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は, 休業に入る前の状況についてお答えください。

※自営業者などで通勤を要しない方は, 「家を出る時刻」は「勤務に入る時刻」, 「帰宅する時刻」は「勤務を終える時刻」としてお答えください。

父親	母親
家を出る時刻 <input type="text"/> <input type="text"/> 時	家を出る時刻 <input type="text"/> <input type="text"/> 時
帰宅する時刻 <input type="text"/> <input type="text"/> 時	帰宅する時刻 <input type="text"/> <input type="text"/> 時

問16

問15で「1」または「2」(フルタイムで就労している)に○をつけた方にうかがいます。

父親・母親それぞれについて, 今後の就労に関する希望をお答えください。

父親 (当てはまる番号1つに○)	母親 (当てはまる番号1つに○)
1. フルタイムの就労を続けたい。 2. パート・アルバイト等への転換を希望しており, 実現の見込みがある。 3. パート・アルバイト等への転換を希望しているが, 実現は難しいと考えている。 4. 就労をやめて子育てや家事などに専念したい	1. フルタイムの就労を続けたい。 2. パート・アルバイト等への転換を希望しており, 実現の見込みがある。 3. パート・アルバイト等への転換を希望しているが, 実現は難しいと考えている。 4. 就労をやめて子育てや家事などに専念したい

問19へ

問17

問15で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。
父親・母親それぞれについて、今後の就労に関する希望をお答えください。

父親 (当てはまる番号1つに○)	母親 (当てはまる番号1つに○)
1. パート・アルバイト等の就労を続けたい。 2. フルタイムへの転換を希望しており、 実現の見込みがある。 3. フルタイムへの転換を希望しているが、 実現は難しいと考えている。 4. 就労をやめて子育てや家事などに専念 したい	1. パート・アルバイト等の就労を続けたい。 2. フルタイムへの転換を希望しており、 実現の見込みがある。 3. フルタイムへの転換を希望しているが、 実現は難しいと考えている。 4. 就労をやめて子育てや家事などに専念 したい

問19へ

問18

問15で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。父親・母親それぞれについてお答えください。

父親 (当てはまる番号1つに○)	母親 (当てはまる番号1つに○)
1. 子育てや家事などに専念したい 2. できれば子育てや家事などに専念 したいが、就労する必要がある 3. 就労したい	1. 子育てや家事などに専念したい 2. できれば子育てや家事などに専念 したいが、就労する必要がある 3. 就労したい

就労したい時期(当てはまる記号1つに○)

ア. 1年より先、一番下の子どもが
 歳になった頃に就労したい

イ. すぐにも、もしくは1年以内に就労
 したい

希望する就労形態(当てはまる記号1つに○)

a. フルタイム

b. パート・アルバイト等
 週 日 1日 時間程度

就労したい時期(当てはまる記号1つに○)

ア. 1年より先、一番下の子どもが
 歳になった頃に就労したい

イ. すぐにも、もしくは1年以内に就労
 したい

希望する就労形態(当てはまる記号1つに○)

a. フルタイム

b. パート・アルバイト等
 週 日 1日 時間程度

5 封筒の宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育園など、問19-1に示した事業が含まれます。

問19

宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。（当てはまる番号1つに○）

1. 利用している

2. 利用していない

……▶ **問19-5へ**

問19-1

問19で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。（主に利用しているもの1つに○）

1. 幼稚園 (法令による基準を満たし、県の認可を受けた幼稚園。認定こども園の幼稚園部分を含みます。)	2. 幼稚園＋定期的な預かり保育 (預かり保育:通常の就園時間の開始前・終了後に園児を預かる事業) ※預かり保育を、定期的に利用している場合のみ○をつけてください。
3. 認可保育園(公立・私立) (法令による基準を満たし、県・政令市・中核市の認可を受けた保育所。認定こども園の保育所部分を含みます。)	4. 柏市駅前認証保育施設 (認可保育所と同等の基準を満たすものとして市が認証した駅前に立地した保育施設)
5. 柏市認定保育ルーム (一定の基準を満たすものとして、市が独自に認定した保育施設)	6. その他の認可外保育施設
7. 家庭的保育(保育ママ) (保育者が、その家庭等で子どもを保育する事業、現在柏市内では実施していません)	8. 事業所内保育施設 (企業等が、主に従業員向けに運営する保育施設)
9. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのように保育者が子どもの家庭で保育する事業)	10. ファミリー・サポート・センター (会員登録した地域住民が、その自宅で子どもを預かったり、送り迎えをしたりする事業)
11. その他()	

問19-2

問19で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。問19-1で○をつけた施設等を、現在どのくらい利用していますか。また、希望としては、どのくらい利用したいですか。

現在 :	週	<input type="text"/>	日	,	1日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間	(<input type="text"/>	<input type="text"/>	時から	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時まで)
希望 :	週	<input type="text"/>	日	,	1日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間	(<input type="text"/>	<input type="text"/>	時から	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時まで)

問19-3

問19で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。問19-1で○をつけた施設等の所在地をお答えください。（当てはまる番号1つに○）

1. 柏市内	2. 他の市区町村(市区町村名)
--------	-------------------

問19-4

問19-1で「3. 認可保育園(公立・私立)」「4. 柏市駅前認証保育施設」「5. 柏市認定保育ルーム」「6. その他の認可外保育施設」に○をつけた方にうかがいます。現在利用している施設等への入園を検討する際、幼稚園の定期的な預かり保育について知っていましたか。（当てはまる番号1つに○）

1. 知っていた	→	「幼稚園＋定期的な預かり保育」を利用しなかった理由 ()
2. 知らなかった	→	もし知っていたら、「幼稚園＋定期的な預かり保育」を利用したか ア. 利用した イ. 利用しなかった (理由:)

6 封筒の宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況等についてうかがいます。

問21

宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業などを利用していますか。
(当てはまる番号1つに○)

※地域子育て支援拠点事業：親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、
柏市内には「地域子育て支援センター」(認定こども園・幼稚園・保育園に併設)、「子育て広場」
(しこだ・豊四季台・高柳児童センター)があります。

1. 利用している	① 地域子育て支援拠点事業 (地域子育て支援センター、子育て広場) 1週あたり <input type="text"/> 回 もしくは 1か月当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 回程度
	② 園庭開放や母と子のつどい、近隣センター等で行われている 子育てサロン、幼稚園の3歳未満児対象事業、児童センター、民 間の子育て広場事業など 1週あたり <input type="text"/> 回 もしくは 1か月当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 回程度
2. 利用していない	利用していない理由(当てはまるものすべてに○) ア. このような事業があることを知らなかった イ. 自宅の近所がない ウ. 必要性を感じない エ. その他()

問22

問21の ① 及び ② のような地域子育て支援拠点事業などについて、今は利用していないができれば今後
 利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。(当てはまる番号1つに○)

1. 利用していないが、今後利用したい (今は自宅の近所では実施されていないが、仮に開設されたとした場合を含む)	⇒ 1週あたり <input type="text"/> 回 もしくは 1か月当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	⇒ 1週あたり更に <input type="text"/> 回 もしくは 1か月当たり更に <input type="text"/> <input type="text"/> 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない	

問23

子育てに関して、どのような情報提供や相談・支援を受けたいと思われませんか。
(当てはまる番号すべてに○)

1. 幼稚園や保育園等への入園・入所等に関する情報(教育・保育内容、空き状況など)	4. 子どもの心身の健康や発達
2. 身近な場所で実施されている子育て支援に関する情報	6. 家庭教育の方法(しつけ、コミュニケーションなど)
3. 保護者同士の子育て仲間づくり	8. 父親の育児参加
5. 子どもの生活習慣や遊び方	
7. 妊娠期を含む母親の心身の健康	
9. その他()	

問23-1

子育てに関する情報をどこから得たいですか。(当てはまる番号すべてに○)

1. 子育て情報誌・紙(市全体をまとめた)	2. 子育て情報誌・紙(身近な地域に関する)
3. インターネット(パソコン)	4. インターネット(携帯端末)
5. 子育て仲間	6. 近所の人
7. 幼稚園、保育園等	8. 保健所
9. 地域子育て支援センター、母と子のつどい、子育てサロン等	
10. 民生委員・児童委員、主任児童委員	
11. 柏市民健康づくり推進員(こんにちは赤ちゃん事業)	
12. その他()	

問23-2

子育てに関して、子どもや保護者からの相談に応じ、必要な情報の提供・助言をしたり、様々な支援を
 円滑に利用できるよう調整・案内したりするような事業(=利用者支援事業)が身近な場所(地域子育て
 支援拠点など)にあった場合、利用したいと思いませんか。
(当てはまる番号1つに○)

1. 利用したい	2. 特に利用したいと思わない
----------	-----------------

7 封筒の宛名のお子さんの土曜・休日や長期休業期間中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問24

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

土曜（当てはまる番号1つに○）	日曜・祝日（当てはまる番号1つに○）												
1. 利用希望はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に数日利用したい	1. 利用希望はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に数日利用したい												
↓	↓												
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">利用したい時間帯</th> </tr> <tr> <td>□□</td> <td>時から □□</td> </tr> <tr> <td></td> <td>時まで</td> </tr> </table>	利用したい時間帯		□□	時から □□		時まで	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">利用したい時間帯</th> </tr> <tr> <td>□□</td> <td>時から □□</td> </tr> <tr> <td></td> <td>時まで</td> </tr> </table>	利用したい時間帯		□□	時から □□		時まで
利用したい時間帯													
□□	時から □□												
	時まで												
利用したい時間帯													
□□	時から □□												
	時まで												

問25

宛名のお子さんが幼稚園を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど幼稚園の長期休業期間中の教育・保育の事業の利用希望はありますか。

（当てはまる番号1つに○）

※幼稚園の預かり保育の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用希望はない 2. 休業期間中、ほぼ毎日利用したい 3. 休業期間中、週に数日利用したい	↓						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">利用したい時間帯</th> </tr> <tr> <td>□□</td> <td>時から □□</td> </tr> <tr> <td></td> <td>時まで</td> </tr> </table>	利用したい時間帯		□□	時から □□		時まで	
利用したい時間帯							
□□	時から □□						
	時まで						

問26-5

問26-4で「2. 仕事を休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由は何ですか。（当てはまる番号すべてに○）

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | 4. その他() |

問26-6

病児・病後児保育施設についてお聞きます。現在柏市内には、病気の回復期にある児童を預かる病後児保育施設が1か所（柏駅近く）ありますが、今後新たな施設が必要だと思いますか。（当てはまる番号1つに○）

- | |
|----------------------------------|
| 1. 病児（病期中）と病後児（回復期）の両方に対応した施設が必要 |
| 2. 病児（病期中）のみに対応した施設が必要 |
| 3. 病後児（回復期）のみに対応した施設の増設が必要 |
| 4. 必要ない |

9 封筒の宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊に伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問27

宛名のお子さんについて、就労以外の理由(冠婚葬祭、リフレッシュ、保護者の方の通院等)や不定期の就労で、不定期に利用している事業はありますか。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

対応方法(当てはまる番号すべてに○)	日数
1. 幼稚園の預かり保育(不定期に利用する場合のみ) (通常の就園時間の開始前・終了後に園児を預かる事業)	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
2. 認可保育園の「一時保育」 (保育園で一時的に子どもを預かる事業)	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
3. ファミリー・サポート・センター (会員登録した地域住民が子どもを預かる事業)	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
4. 子育て短期支援事業(ショートステイ) (児童養護施設等で休日・夜間に子どもを保護する事業)	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
5. ベビーシッター	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
6. その他()	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
7. 利用していない	

問28

宛名のお子さんについて、就労以外の理由(冠婚葬祭、リフレッシュ、保護者の方の通院等)や不定期の就労で、年間何日くらい事業(問27の1～6の事業)を利用する必要があると思いますか。

	利用の理由(当てはまるものすべてに○)	日数
1. 利用したい	ア. 買い物, 子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
	イ. 親のリフレッシュ	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
	ウ. 冠婚葬祭, 学校行事等	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
	エ. 子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
	オ. 不定期の就労	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
	カ. その他()	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
2. 利用する必要はない		

問29

この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、どのように対応されましたか。

	対応方法(当てはまるものすべてに○)	日数
1. あった	ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
	イ. 子育て短期支援事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間子どもを保護する事業)	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
	ウ. イ以外の保育事業(認可外保育施設, ベビーシッター等)を利用した	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番させた	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
	カ. その他()	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度
2. なかった		

10 封筒の宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

※ご回答いただく時点で、宛名のお子さんが5歳以上である方のみお答えください。
 (それ以外の方 ……▶ 問33へ)

問30

宛名のお子さんについて、小学校に上がった後、放課後(平日の授業終了後)の時間を、どのような場所
 で、どのくらい過ごさせたいと思いますか。低学年(1~3年生)、高学年(4~6年生)のそれぞれにつ
 いてお答えください。

※こどもルームの利用には、一定の利用者負担が発生します。

放課後に過ごす場所 (当てはまる番号すべてに○)	過ごさせたい日数等	
	低学年(1~3年生)	高学年(4~6年生)
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日程度	週 <input type="text"/> 日程度
2. 祖父母・親戚宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日程度	週 <input type="text"/> 日程度
3. 習い事(ピアノ教室, スポーツクラブ, 学習塾など)	週 <input type="text"/> 日程度	週 <input type="text"/> 日程度
4. 部活動	—	週 <input type="text"/> 日程度
5. 放課後こども教室(※)	週 <input type="text"/> 日程度	週 <input type="text"/> 日程度
6. 児童センター	週 <input type="text"/> 日程度	週 <input type="text"/> 日程度
7. こどもルーム(※)	週 <input type="text"/> 日程度 →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで	週 <input type="text"/> 日程度 →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
8. その他(校庭, 近隣センター, 図書 館, 公園など)	週 <input type="text"/> 日程度	週 <input type="text"/> 日程度
9. わからない	—	—

※「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校などで学習・スポーツ・文化芸術
 活動などを体験する取組みです。

※「こどもルーム」…地域によって学童保育、放課後児童クラブなどと呼ばれています。保護者が就労等により
 昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するもの。

問31

問30で「7. こどもルーム」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜、日曜・祝
 日、長期休業期間(夏休み、冬休み等)中に、こどもルームの利用希望はありますか。
 (当てはまる番号1つに○)

土曜の 利用希望	1. 低学年の間は利用したい 2. 高学年になっても利用したい 3. 利用する必要はない	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
日曜・祝日の 利用希望	1. 低学年の間は利用したい 2. 高学年になっても利用したい 3. 利用する必要はない	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
長期休業期間中の 利用希望	1. 低学年の間は利用したい 2. 高学年になっても利用したい 3. 利用する必要はない	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで

問32

宛名のお子さんが小学校就学後に就労する予定がある(現在就労していて、継続する場合も含む)方
 のうち、問30で「7. こどもルーム」に○をつけなかった方にうかがいます。こどもルームの利用を希望さ
 れない理由は何ですか。(当てはまる番号1つに○)

1. 利用する必要がない(親族がみてるなど)
2. 利用したいが、経済的な理由で利用できない
3. 利用したいが、時間帯の条件が合わない
4. 利用したいが、利用要件(就労要件等)に当てはまらない
5. その他 ()

11 育児休業の取得状況などについてうかがいます。

問33

宛名のお子さんが生まれたとき、父親・母親はそれぞれ育児休業を取得されましたか。

父親 (当てはまる 番号1つに ○)	1. 取得した (取得中である)	取得後の復帰状況 (当てはまる番号1つに○)	
	2. 取得していない	ア. 取得後、職場に復帰した	
		イ. 現在も育児休業中である	問33-5へ
3. 就労して いなかった	ウ. 育児休業中に離職した	問34へ	
		取得していない理由(下から番号を選んでご 記入ください。(当てはまる番号すべて))	
		{ }	問34へ
			問34へ

母親 (当てはまる 番号1つに ○)	1. 取得した (取得中である)	取得後の復帰状況 (当てはまる番号1つに○)	
	2. 取得していない	ア. 取得後、職場に復帰した	
		イ. 現在も育児休業中である	問33-5へ
3. 就労して いなかった	ウ. 育児休業中に離職した	問34へ	
		取得していない理由(下から番号を選んでご 記入ください。(当てはまる番号すべて))	
		{ }	問34へ
			問34へ

1. 職場に育児休業を取得しにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に復帰するのが難しかった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育園などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業を取得した
9. 配偶者が就労していない、親族にみてもらえるなど、育児休業を取得する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他()

問33-1

問33で「ア. 取得後、職場に復帰した」に○をした方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初め(4月)の保育園等への入園の時期に合わせましたか。父親・母親それぞれについてお答えください。

※年度初めでの認可保育園入園を希望して、1～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めで入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかった場合も「1.」を選択してください。

父親 (当てはまる番号1つに○)	母親 (当てはまる番号1つに○)
1. 年度初めの入園の時期に合わせた 2. 特に合わせていない	1. 年度初めの入園の時期に合わせた 2. 特に合わせていない

問33-2

問33で「ア. 取得後、職場に復帰した」に○をした方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、宛名のお子さんが何歳何か月のときですか。また、希望としては、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。父親・母親それぞれについてお答えください。

父親	母親
復帰の時期 □ 歳 □□ か月のとき	復帰の時期 □ 歳 □□ か月のとき
希望 □ 歳 □□ か月まで	希望 □ 歳 □□ か月まで

問33-3

問33で「ア. 取得後、職場に復帰した」に○をした方にうかがいます。お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望としては、お子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。父親・母親それぞれについてお答えください。

父親	母親
□ 歳 □□ か月まで	□ 歳 □□ か月まで

問33-4

問33-2で復帰時期と希望が異なる方にうかがいます。父親・母親それぞれについて、希望の時期に職場に復帰しなかった理由をお答えください。

(1) 「復帰の時期」が「希望」より早い方

父親 (当てはまる番号すべてに○)	母親 (当てはまる番号すべてに○)
1. 希望する保育園に入るため 2. 配偶者や家族の希望があった 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 4. 人事異動や業務の節目の時期だった 5. その他()	1. 希望する保育園に入るため 2. 配偶者や家族の希望があった 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 4. 人事異動や業務の節目の時期だった 5. その他()

(2) 「復帰の時期」が「希望」より遅い方

父親 (当てはまる番号すべてに○)	母親 (当てはまる番号すべてに○)
1. 希望する保育園に入れなかった 2. 自分や子どもなどの体調不良 3. 配偶者や家族の希望があった 4. 職場の受入れ態勢が整って いなかった 5. 子どもをみてくれる人がいなかった 6. その他()	1. 希望する保育園に入れなかった 2. 自分や子どもなどの体調不良 3. 配偶者や家族の希望があった 4. 職場の受入れ態勢が整って いなかった 5. 子どもをみてくれる人がいなかった 6. その他()

問33-5

問33で「イ. 現在も育児休業中である」に○をした方にうかがいます。もし、宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育園等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、利用できる保育園等があっても1歳になる前に復帰しますか。父親・母親それぞれについてお答えください。

父親 (当てはまる番号1つに○)	母親 (当てはまる番号1つに○)
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

12 子育てあるいは子育て支援全般についてうかがいます。

問34

柏市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い			満足度が高い
1 (大変不満)	2 (やや不満)	3 (普通)	4 (ほぼ満足)
	5 (大変満足)		

問35

最後に、どんなことでも構いませんので、子育ての環境や支援に関して、あなたの声を聞かせてください。

(右のように、子育てを取り巻く状況は、それぞれのご家庭によって様々です。それぞれのお立場でお感じになられたことを、ご自由にご記入ください。)

「近所づきあい・子育て仲間の有無」
 「就労状況」「家族との関係」
 「子どもの発達状況や障害の有無」
 「配偶者の有無」「家庭の経済状況」
 「子育て経験の有無」……

お忙しい中、調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。
 柏市の子どもたちの未来のために役立たせていただきます。
 切手は貼らずに同封の封筒に入れ、封をして、ご投函ください。

別紙

お子さんを預かる施設・事業の概要

※[利用料]については、減免制度があるものがあります。

問番号	種類	内容・現在の利用料(平成25年4月1日現在)
問19-1 問20	幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して幼児期の学校教育を行う施設です。都道府県の認可が必要です。 ※柏市内の幼稚園は、すべて私立です。 [利用料] 各幼稚園によって入園料や毎月の保育料は異なります。なお、世帯の所得に応じて、助成があります。
問19-1 問19-4 問20 問27	幼稚園の預かり保育	幼稚園において、通常就園時間の開始前・終了後に園児を預かる事業です。保護者の就労等を理由とする「定期的」な利用のほか、冠婚葬祭やリフレッシュ、保護者の通院など理由を問わない「不定期」の利用もできます。 [利用料] 各幼稚園により異なります。
問19-1 問20	認可保育園(公立・私立)	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設です。都道府県または政令市もしくは中核市の認可が必要です。 [利用料] 世帯の所得や保育年齢により異なります。
問20	認定こども園	幼稚園と保育園の両方の機能を併せ持つ施設です。幼稚園として、あるいは保育園としての基準を満たした上で、県の認定が必要です。 ※柏市内に認定こども園は3園あります。 [利用料] 幼稚園部分: 園によって、入園料や毎月の保育料は異なります。 なお、世帯の所得に応じて、助成があります。 保育園部分: 世帯の所得や保育年齢により異なります。
問19-1	柏市駅前認証保育施設	認可保育園と同等の基準を満たすものとして、柏市が認証した保育施設です。駅前に立地しており、現在5施設あります(柏駅、南柏駅、新柏駅、増尾駅、柏の葉キャンパス駅の近辺)。 [利用料] 各施設により異なります。
問19-1	柏市認定保育ルーム	一定の基準を満たすものとして、柏市が独自に認定した保育施設です。 [利用料] 各施設により異なります。
問20	自治体の認証・認定保育施設	都道府県または政令市もしくは中核市の認可を受けた認可保育所ではありませんが、市町村が独自に認証・認定した保育施設です。柏市においては、「柏市駅前認証保育施設」「柏市認定保育ルーム」が該当します。
問19-1 問20	家庭的保育(保育ママ)	保育者が自分の家庭等で子どもを保育する事業です。子ども・子育て支援新制度においては、定員が5人以下となります。 ※現在柏市内では実施していません。
問19-1 問20	事業所内保育施設	企業等が、主に従業員向けに運営する保育施設です。子ども・子育て支援新制度においては、従業員でなくても利用できるケースが考えられます。
問19-1 問20	居宅訪問型保育	ベビーシッターのように、保育者が子どもの家庭において保育する事業です。
問20	小規模な保育施設	子ども・子育て支援新制度において、新たに制度化される予定の事業です。市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人で、0～2歳児を預かる保育施設です。

IV.調査票

問19-1 問20 問26-1 問27	ファミリー・サポート・センター	<p>会員登録した地域住民が、協力会員(預かる会員)宅で子どもを預かったり、送り迎えをしたりする事業です。預かる会員と預ける会員による相互扶助活動です。柏市においては、柏市社会福祉協議会が運営しています。</p> <p>[利用料] 平日:700円/時間 土日祝日等:800円/時間</p>
問26-1	病児・病後児保育	<p>子どもが病気などのため保育園等に預けられない場合で、保護者が就労などにより家庭での育児が難しいときに預かる事業です。柏市内には、病後児保育(病気の回復期にある子どもを預かる事業)を行う施設が1か所あります。</p> <p>[利用料] 柏市民:2,400円/日 柏市民以外:3,600円/日 ※4時間以内は半額</p>
問27	一時保育	<p>認可保育園において、一時的に子どもを預かる事業です。冠婚葬祭やリフレッシュ、保護者の通院など理由を問わず利用できます。</p> <p>[利用料] 園によって異なります。 参考(公立保育園の場合) 3歳未満:2,300円/日(1,150円/半日) 3歳以上:1,100円/日(500円/半日)</p>
問27 問29	子育て短期支援事業(ショートステイ)	<p>保護者が病気、出産、育児が困難になったなどの理由で一時的に子育てが難しくなったときに、宿泊や日帰りで子どもを保護する事業です。事前に登録が必要です。柏市で申請する場合、松戸市内にある児童養護施設「晴香園」の利用となります。</p> <p>[利用料] 宿泊の場合 2歳未満:5,500円/1泊 2歳以上:2,850円/1泊 日帰りの場合 2歳未満:2,750円/日 2歳以上:1,400円/1泊 夜間の場合 2歳未満: 800円/日 2歳以上: 800円/1泊</p>
問30	こどもルーム	<p>原則として柏市立小学校に通う1～3年生の保育が必要な子どもに、指導員の下、生活の場を提供する施設です。</p> <p>[利用料] 10,000円/月</p>

放課後の過ごし方に関する調査 (小学3年生対象)

アンケートにご協力をお願いします。

ご記入がすみましたら、お手数ですが、
同封の返信用封筒に入れ、封をして、

12月2日(月)までにこどもルームの指導員にご提出願います。

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

柏市 こども部こども政策室 担当 齊藤, 鶴飼, 原口
電話 04-7168-1034 FAX 04-7167-1383

【ご協力のお願い】

柏市では、子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号)に基づく新たな制度(以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。)の下で、子ども・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的な取り組みを推進していくこととしています(平成27年度から実施予定)。

この計画では、幼稚園や保育園、認定こども園などの施設や各種の子育て支援事業の「量の見込み」を定める必要がありますが、こどもルームについてもその対象となっております。また、児童福祉法の改正により、現在「おおむね10歳未満の小学生」とされている対象児童が、平成27年4月以降「小学生」(1～6年生)に変更になる予定です。そこで、現在こどもルームを利用されている小学校3年生を対象に、4年生以降の放課後の過ごし方等に関する調査を行います。

子ども・子育て支援新制度が目指すこと

- 家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現すること
- 乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれるような環境を、社会全体の責任として整備すること
- 保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を行うこと

ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理され、調査の目的以外に使用することは一切ありません。

なお、ここで回答していただいた内容(施設や事業の利用希望等)は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。あくまでも現時点での利用希望をお聞きするものですので、将来の利用希望を変更していただいて構いません。

ご多忙のこととは存じますが、皆様のご回答を基に子ども・子育て支援の充実を図って参りますので、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年11月
柏市長 秋山浩保

子ども・子育て支援新制度のことをもっと詳しく知りたい方は、
柏市ホームページ「子ども・子育て支援新制度」のページをご覧ください。

【ホームページURL】 <http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/070900/p015028.html>

【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートには、**お子さんの保護者の方**が記入してください。無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません。
- お答えは、あてはまる**回答の数字を○で囲む場合と**，“□”の中に**数字を記入**する場合があります。「その他」にあてはまるときは、「その他」の数字に○を付け、()がある場合は具体的な内容を記入してください。
 “□”に数字をご記入いただく質問は、**1枠に1字**をご記入ください。
 “□□時”に数字をご記入いただく質問は、**24時間制**でご記入ください。 例)09時, 18時

問1

お子さんが通われている小学校はどちらですか。(当てはまる番号1つに○)

- | | | |
|---------------|-------------|---------------|
| 1. 柏第一小学校 | 2. 柏第二小学校 | 3. 柏第三小学校 |
| 4. 柏第四小学校 | 5. 柏第五小学校 | 6. 柏第六小学校 |
| 7. 柏第七小学校 | 8. 柏第八小学校 | 9. 豊小学校 |
| 10. 旭小学校 | 11. 旭東小学校 | 12. 高田小学校 |
| 13. 名戸ケ谷小学校 | 14. 光ケ丘小学校 | 15. 酒井根小学校 |
| 16. 酒井根東小学校 | 17. 酒井根西小学校 | 18. 中原小学校 |
| 19. 土小学校 | 20. 増尾西小学校 | 21. 土南部小学校 |
| 22. 逆井小学校 | 23. 藤心小学校 | 24. 富勢小学校 |
| 25. 富勢西小学校 | 26. 富勢東小学校 | 27. 田中小学校 |
| 28. 花野井小学校 | 29. 田中北小学校 | 30. 西原小学校 |
| 31. 松葉第一小学校 | 32. 松葉第二小学校 | 33. 十余二小学校 |
| 34. 風早南部小学校 | 35. 風早北部小学校 | 36. 手賀西小学校 |
| 37. 手賀東小学校 | 38. 高柳小学校 | 39. 大津ケ丘第一小学校 |
| 40. 大津ケ丘第二小学校 | 41. 高柳西小学校 | 42. 柏の葉小学校 |

問2

この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(当てはまる番号1つに○)

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問3

この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(当てはまる番号1つに○)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問4

お子さんの祖父母等の親族の居住についてお答えください。(当てはまる番号1つに○)

1. 祖父母等の親族と同居している(二世帯・同一敷地内住宅の居住を含む)
 2. 祖父母等の親族が近く(概ね30分以内程度で行き来できる範囲)に住んでいる
 3. その他()

問5

お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(当てはまる番号1つに○)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母

問6・問7に関する補足説明(ご回答いただく前にお読みください)

- 現在、柏市のこどもルームの入所対象者は、原則として小学校1年生から3年生までとなっています。4年生以上については、入所を希望するこどもルームの定員に余裕がある場合などに、受け入れていきます。
- そのような中、児童福祉法がこのたび改正され、平成27年4月から学童保育の対象が「おおむね10歳未満の小学生」から「小学生」(1～6年生)に変更になる予定です。
- 一方で、子どもたちの放課後の過ごし方は、年齢が上がるにつれて多様化していきます。高学年になると、小学校の部活が始まったり、塾や習い事が増えたり、あるいは、友だち同士で自由に遊ぶことを好むようにもなります。
- そのような状況を反映して、4年生以上の子どもがこどもルームに入所したとしても、週当たりの利用日数が非常に少なかったり、年度途中で退所したりするケースが少なくありません。また、保育時間については、午後7時までの利用はさほど多くありません。
- そこで、今後のこどもルームのあり方について考えるために、4年生以上の入所希望の傾向について把握する必要があります。
その際には、放課後の過ごし方の多様化を踏まえて、4年生以降におけるこどもルームの必要性を確認することが大事になると考えます。
- そのため、問6・問7では、現在の4年生以上の入所条件(定員に余裕がある場合などの受け入れ)にとられず、「小学4年生以上の入所枠がある」と“仮定”した場合についてお聞きします。

問6

お子さんについて、小学校4年生以降、放課後(平日の授業終了後)の時間を、どのような場所で、どのくらい過ごさせたいと思いますか。現在の4年生以上の入所条件(定員に余裕がある場合などの受け入れ)にとられず、「小学4年生以上の入所枠がある」と“仮定”した場合についてお答えください。

放課後に過ごす場所 (当てはまる番号すべてに○)	過ごさせたい日数等
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日程度
2. 祖父母・親戚宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日程度
3. 習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)	週 <input type="text"/> 日程度
4. 部活動	週 <input type="text"/> 日程度
5. 放課後こども教室(※)	週 <input type="text"/> 日程度
6. 児童センター	週 <input type="text"/> 日程度
7. こどもルーム	週 <input type="text"/> 日程度 →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
8. その他(校庭、近隣センター、図書館、公園など)	週 <input type="text"/> 日程度
9. わからない	—

※ 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校などで学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組みです。

問7

お子さんについて、小学校4年生以降、土曜、日曜・祝日、長期休業期間(夏休み、冬休み等)中に、こどもルームの利用希望はありますか。現在の4年生以上の入所条件(定員に余裕がある場合などの受け入れ)にとらわれず、「小学4年生以上の入所枠がある」と仮定した場合についてお答えください。
(当てはまる番号1つに○)

土曜の利用希望	1. 利用したい 2. 利用する必要はない	利用したい時間帯 □□時から□□時まで
日曜・祝日の利用希望	1. 利用したい 2. 利用する必要はない	利用したい時間帯 □□時から□□時まで
長期休業期間中の利用希望	1. 利用したい 2. 利用する必要はない	利用したい時間帯 □□時から□□時まで

問8

最後に、どんなことでも構いませんので、子育ての環境や支援に関して、あなたの声を聞かせてください。特に、問6で○をつけた特段の理由がありましたら、それもお書きいただくと大変参考になります。

(右のように、子育てを取り巻く状況は、それぞれのご家庭によって様々です。それぞれのお立場でお感じになられたことを、ご自由にご記入ください。)

「近所づきあい・子育て仲間の有無」
「就労状況」「家族との関係」
「子どもの発達状況や障害の有無」
「配偶者の有無」「家庭の経済状況」
「子育て経験の有無」.....

次ページの間9は、「子どもが放課後に過ごせるような場所」についての質問です。こちらは、参考までにお聞きするものです。ご協力いただければ幸いです。(なお、問6で「7. こどもルーム」に○をつけた方にうかがう質問です。)

問9

問6で「7. こどもルーム」に○をつけた方にうかがいます。
 もし次のような「子どもが放課後に過ごせるような場所」が身近にあるとした場合、お子さんが小学校4年生以降に放課後を過ごす場所として考えられますか。
 (当てはまる番号1つに○)

※ 放課後の過ごし方については、子どもの年齢が上がるにつれて多様になっていきます。そのような状況を踏まえ、あくまでも仮定の話ですが、子どもが安全に過ごせる場所として、次のような場所があった場合についてお聞きする質問です。なお、こどもルームの代替というわけではありませんので、ご注意ください。

	「子どもが放課後に過ごせるような場所」	参考:こどもルーム
対象者	参加を希望する小学校児童	保護者が就労等の理由で放課後の保育が必要な小学校児童
開設時間	平日の授業終了後からおおむね午後5時くらいまでの間	放課後～午後7時
利用料	無料(保険料や活動の実費を負担する場合あり)	月額1万円
内容	・自由な遊びや自主学習, 体験・交流活動など(子どもたちが自主的に活動する居場所の提供とその見守り → 「預かる」場ではない) ・安全管理のための見守りなど, 地域住民の協力を得て運営	・指導員の下, 子どもの生活の場を提供 ・児童福祉法に規定された「保育事業」

1. 考えられる	2. 考えられない
----------	-----------

お忙しい中、調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。
 柏市の子どものための未来のために役立たせていただきます。
 同封の封筒に入れ、封をして、こどもルームの指導員にご提出願います。

柏市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査 報告書

平成26年4月

発行 柏市こども部子育て支援課
〒277-8505 千葉県柏市柏5丁目10-1
電話 04-7168-1034(直通)
